

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和4年度第1・四半期

(令和4年4～6月)

目 次



未来推進フォーラム
(令和4年5月11日開催)

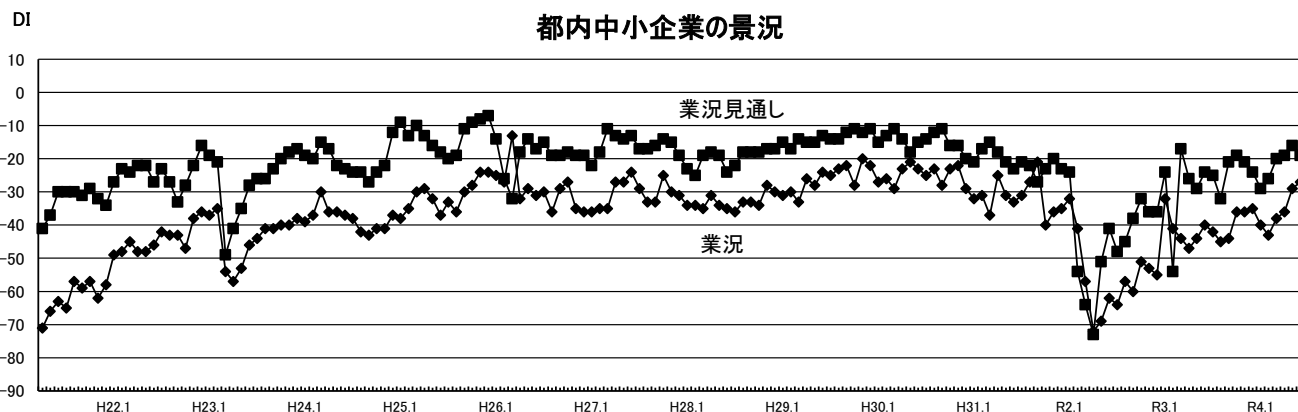
都内中小企業の景況（令和4年4～6月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和4年4～6月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製造業	4
卸売業	9
小売業	14
サービス業	19
建設業	23
情報通信業	27
日銀短観	31
東京都と品川区の企業倒産動向	31
特別調査「企業活動への影響および円安・原材料 価格変動による影響について」	32
中小企業景況調査 比較表・転記表	37

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和4年4～6月期）

業況：全体で大幅に改善。卸売業、製造業、サービス業で大幅に改善、小売業でやや改善。
見通し：小売業、サービス業、卸売業で大幅に改善、製造業でやや悪化の見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲27（前期は▲38）と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比8ポイント増の▲19と、大幅に改善する見通し。

	前期 (R4.3)	今期 (R4.6)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲32	▲20	12	▲24
卸売業	▲41	▲22	19	▲15
小売業	▲50	▲47	3	▲29
サービス業	▲31	▲22	9	▲11
全体	▲38	▲27	11	▲19

令和4年6月の都内中小企業の業況 DI は、前期から11ポイント増の▲27と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比8ポイント増の▲19と、大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、卸売業（▲22）は19ポイント増、製造業（▲20）は12ポイント増、サービス業（▲22）は9ポイント増といずれも大幅に改善した。小売業（▲47）は3ポイント増とやや改善した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（46）は13ポイント増、小売業（24）は13ポイント増、製造業（62）は11ポイント増といずれも大幅に上昇した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（12）は9ポイント増、卸売業（24）は7ポイント増と大幅に上昇した。小売業（3）は5ポイント増、サービス業（▲2）は3ポイント増とやや上昇した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、製造業を除いた業種で大幅に改善すると見込まれている。小売業（▲29）は18ポイント増、サービス業（▲11）は11ポイント増、卸売業（▲15）は7ポイント増と大幅に改善し、製造業（▲24）は4ポイント減とやや悪化する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

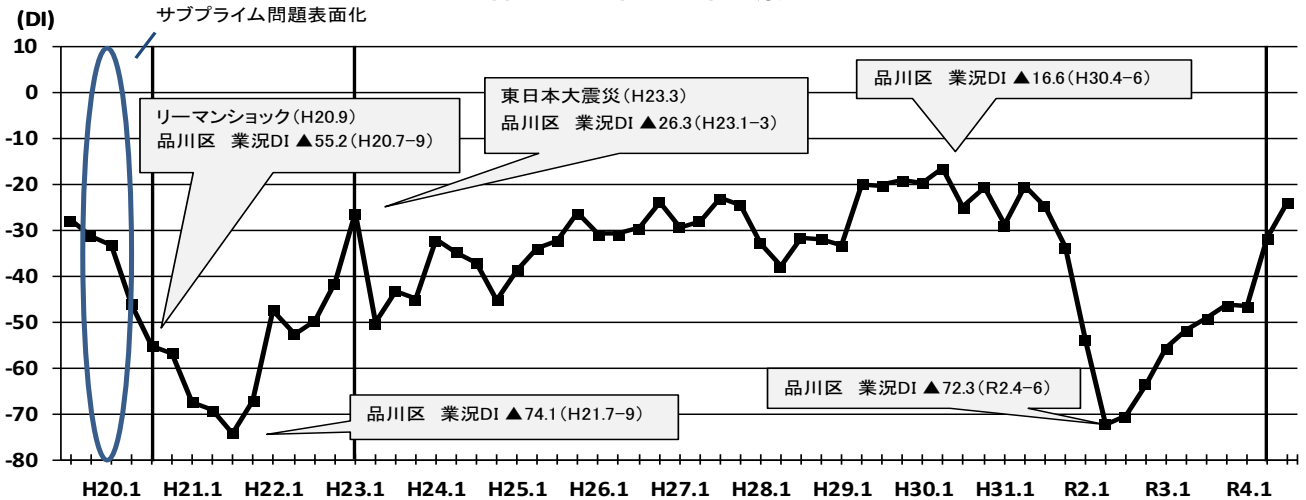
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和4年4～6月期）

業況：全体の景況感はかなり改善。小売業、卸売業、建設業で改善、サービス業は悪化。
見通し：情報通信業を除いた業種では改善、情報通信業はやや悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和4年4～6月期）の業況DIは▲32と前期より15ポイント増加となり、令和元年10～12月期と同水準まで改善した。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R3. 10～12)	前期 (R4. 1～3)	今期 (R4.4～6)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲61	▲47	▲48	▲32
卸売業	▲57	▲59	▲50	▲44
小売業	▲44	▲72	▲32	▲30
サービス業	▲35	▲22	▲26	▲19
建設業	▲36	▲38	▲36	▲18
情報通信業			9	3
全体	▲46	▲47	▲32	▲24

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、大幅に改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においても、大幅に改善する見通しとなっている。業種別にみると、今期は小売業で極端に改善し、卸売業で大幅に改善した。建設業ではやや改善し、製造業では前期並となった。サービス業はやや悪化した。来期は建設業、製造業、サービス業、卸売業で大幅に改善し、小売業ではやや改善、情報通信業では大幅に悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、6月（速報）は生産、出荷、在庫は上昇、在庫率は低下となった。製造工業生産予測調査では、7月は前月比3.8%の上昇、8月は6.0%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている6月の消費者物価指数（2020年=100）は101.8（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で2.4%上昇した。

品川区の今期の特徴点

景気予報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



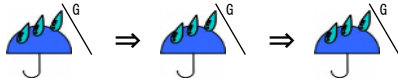
業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

製 造 業



業況は前期並となった。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小した。販売価格は上昇に転じ、原材料価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰に転じた。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

卸 売 業



業況はかなり改善した。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は上昇傾向が極端に強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさが極端に和らいだ。

小 売 業



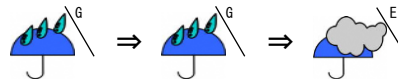
業況は極端に改善した。売上額は増加に転じ、収益は減少幅が極端に縮小した。販売価格、仕入価格はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

サービスマ業



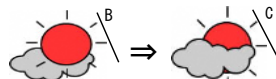
業況は低調感がやや強まった。売上額は前期並となり、収益は減少幅がやや縮小した。料金価格、材料価格はともに上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

建 設 業



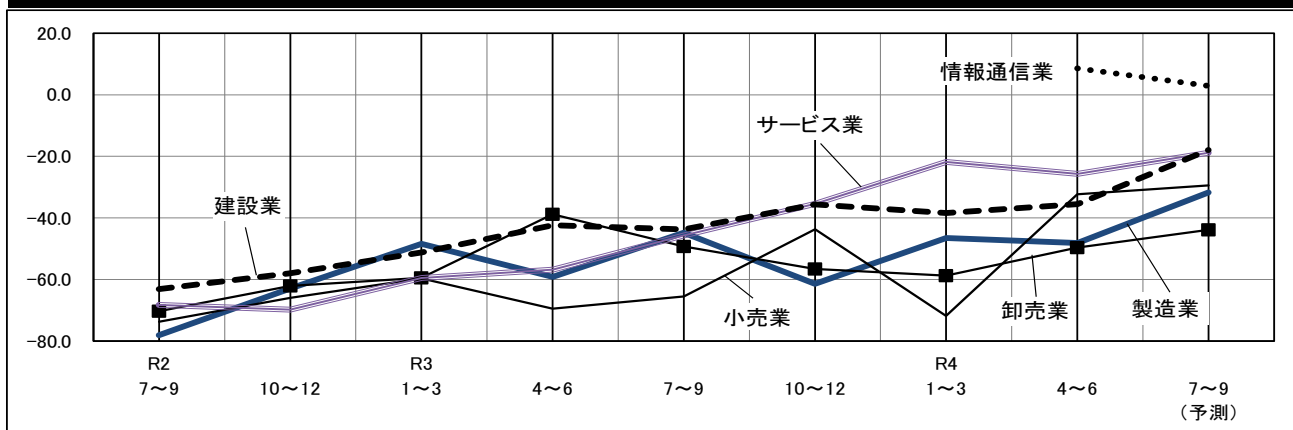
業況はやや改善した。売上額は減少幅がやや縮小し、施工高は減少幅がかなり縮小した。収益は減少幅がやや縮小した。請負価格は前期並となり、材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰から品薄に転じた。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

情報通信業



業況は好調感があり、売上額、収益もともに好調さがみられる。システム提供価格、人件費はともに上昇となっている。資金繰りはやや厳しい状況となっている。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△47→△48)は前期並となった。売上額(△35→△30)、収益(△39→△36)はともに減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は28ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△2→4)は上昇に転じ、原材料価格(58→80)は上昇傾向が極端に強まった。在庫(△1→2)は過剰に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△31→△25)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(2→1)は前期並となった。今期借入れをした企業は25%で前期の27%から2ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

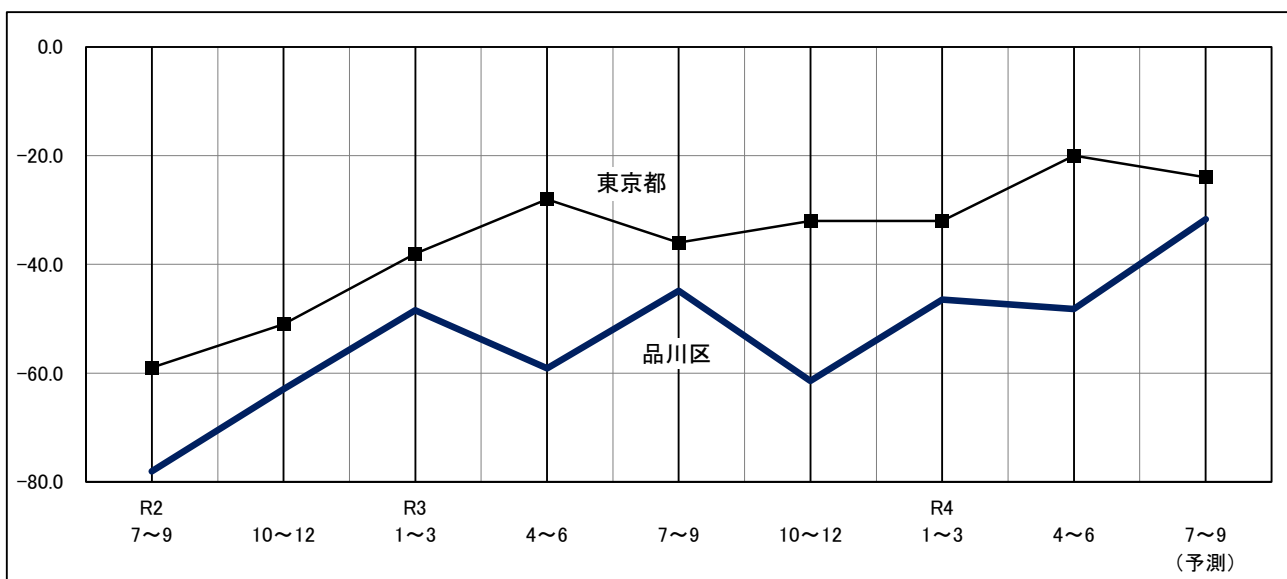
経営上の問題点は、1位は「原材料高」が63%、2位は「売上の停滞・減少」が61%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が30%となった。前期2位だった「原材料高」は、今期1位と順位を上げ、令和2年7～9月期以降で最も高い割合となっている。(40ページ参照)

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が53%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「新製品・技術を開発する」が25%となった。前期4位だった「新製品・技術を開発する」は、今期3位と順位を上げた。

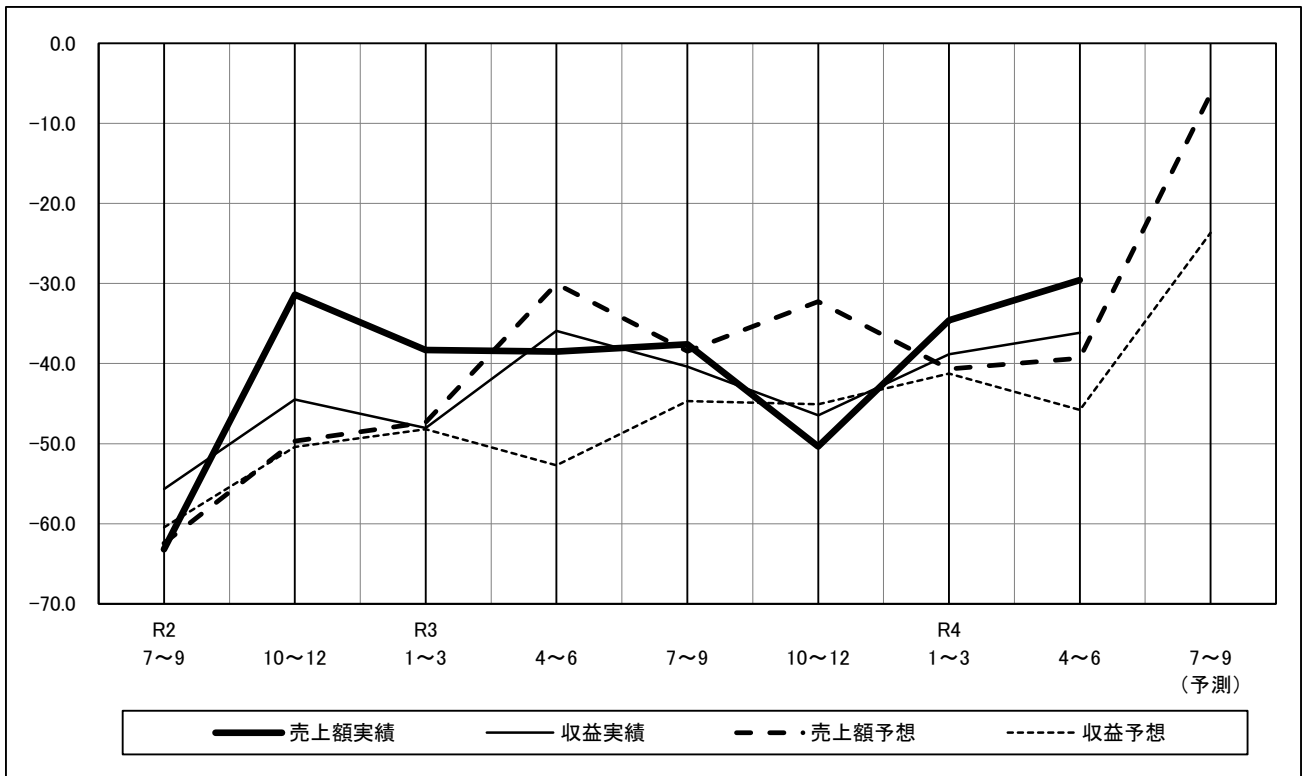
来期の見通し

業況(△48→△32)はかなり改善する見込み。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

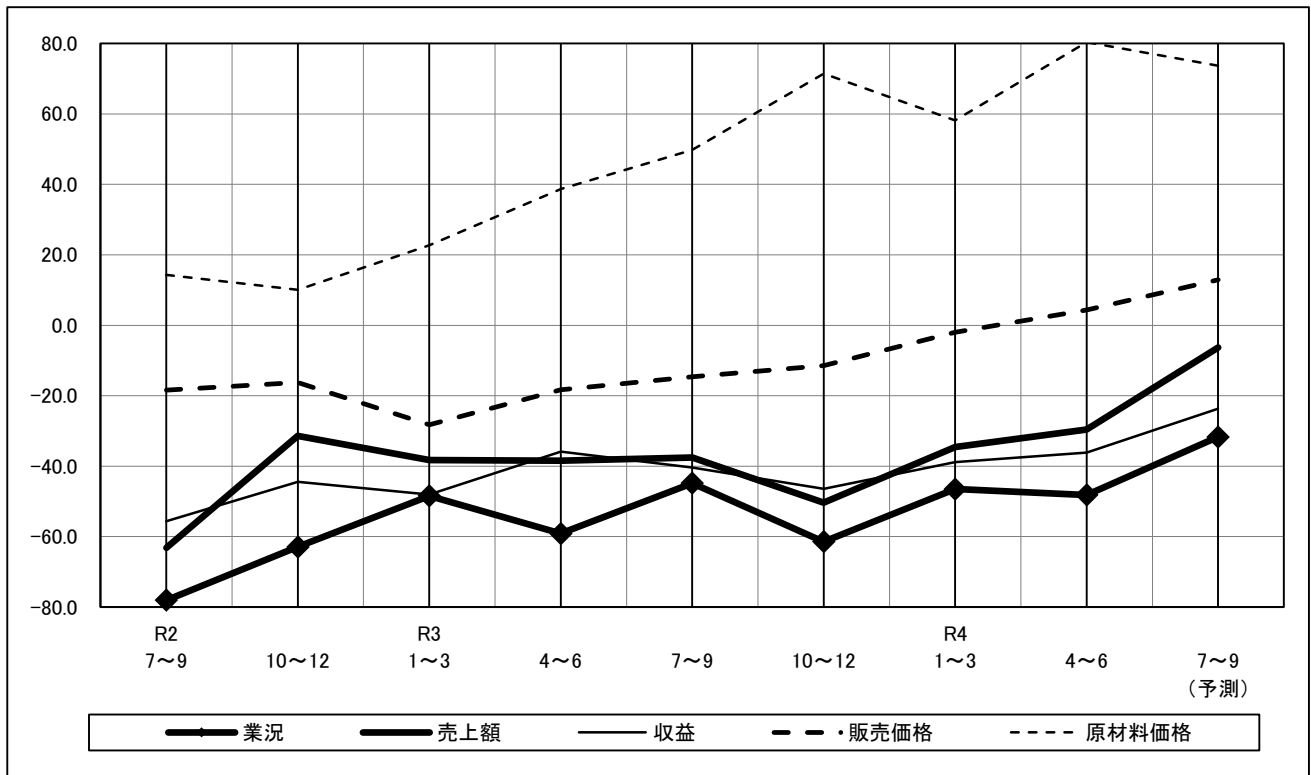
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



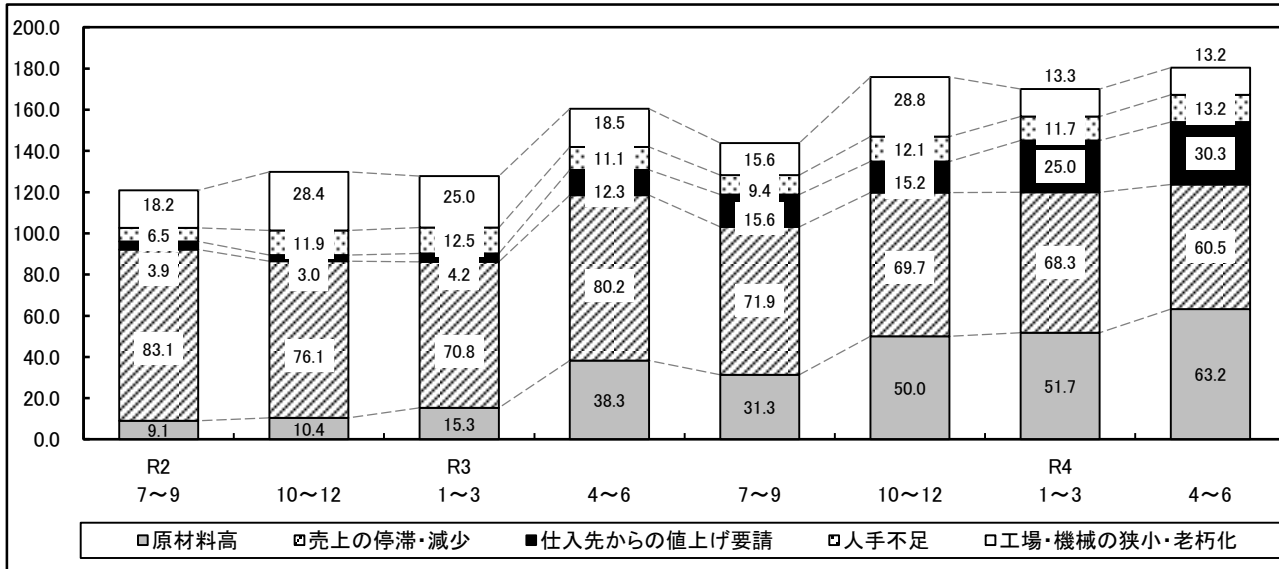
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

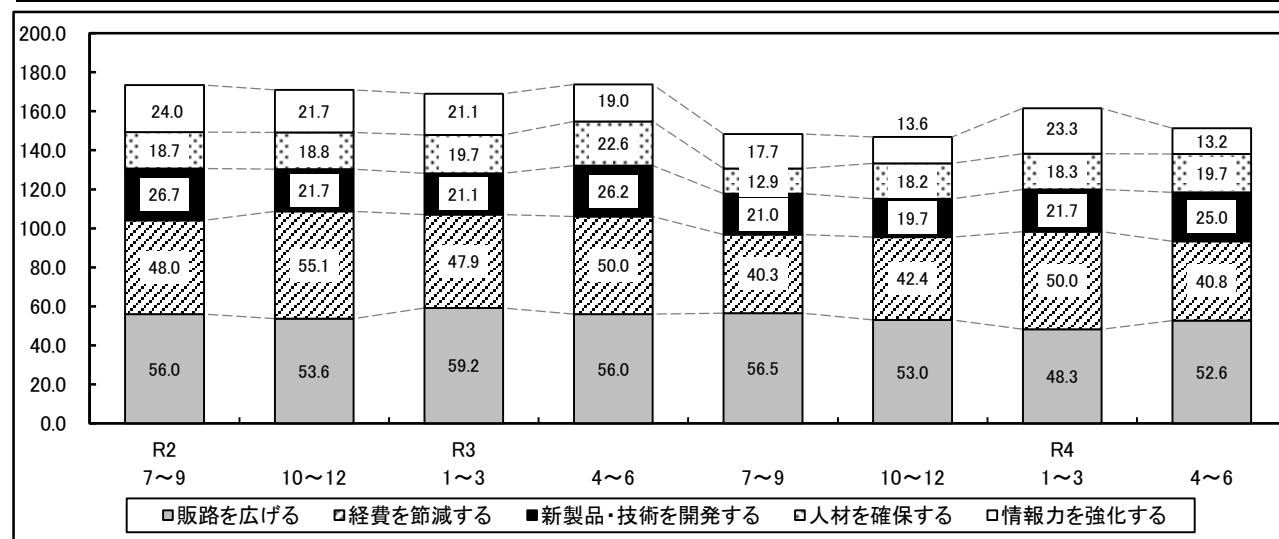


〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	71.9 %	売上の停滞・減少	69.7 %	売上の停滞・減少	68.3 %	原材料高	63.2 %
第2位	原材料高	31.3 %	原材料高	50.0 %	原材料高	51.7 %	売上の停滞・減少	60.5 %
第3位	利幅の縮小	15.6 %	工場・機械の狭小・老朽化	28.8 %	仕入先からの値上げ要請	25.0 %	仕入先からの値上げ要請	30.3 %
	仕入先からの値上げ要請	15.6 %						
	工場・機械の狭小・老朽化	15.6 %						
第4位	人手不足	9.4 %	利幅の縮小	16.7 %	利幅の縮小	13.3 %	人手不足	13.2 %
	同業者間の競争の激化	9.4 %			人件費以外の経費増加	13.3 %	工場・機械の狭小・老朽化	13.2 %
	人件費の増加	9.4 %			工場・機械の狭小・老朽化	13.3 %		
第5位	合理化の不足	7.8 %	仕入先からの値上げ要請	15.2 %	人手不足	11.7 %	人件費以外の経費増加	11.8 %

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	販路を広げる	56.5 %	販路を広げる	53.0 %	経費を節減する	50.0 %	販路を広げる	52.6 %
第2位	経費を節減する	40.3 %	経費を節減する	42.4 %	販路を広げる	48.3 %	経費を節減する	40.8 %
第3位	新製品・技術を開発する	21.0 %	新製品・技術を開発する	19.7 %	情報力を強化する	23.3 %	新製品・技術を開発する	25.0 %
第4位	情報力を強化する	17.7 %	人材を確保する	18.2 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	人材を確保する	19.7 %
第5位	人材を確保する	12.9 %	提携先を見つける	15.2 %	人材を確保する	18.3 %	情報力を強化する	13.2 %
	教育訓練を強化する	12.9 %					教育訓練を強化する	13.2 %

(1) 電気機械器具

業況(△37→△69)は低調感が極端に強まった。売上額(△23→△30)は減少幅がかなり拡大し、収益(△23→△47)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(15→27)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(72→93)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△25→△13)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△42→△26)はかなり改善した。売上額(△17→△1)、収益(△28→△18)はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格(14→16)は上昇傾向がやや強まり、原材料価格(73→81)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△19→△4)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は好転すると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△53→△46)はかなり改善した。売上額(△47→△40)、収益(△48→△39)はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格(△10→6)は上昇に転じ、原材料価格(25→80)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△45→△40)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△78→△83)は低調感がやや強まった。売上額(△100→△72)、収益(△100→△64)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△32→△36)は下降傾向がやや強まり、原材料価格(30→56)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△80→△52)は厳しさが極端に和らいだ。

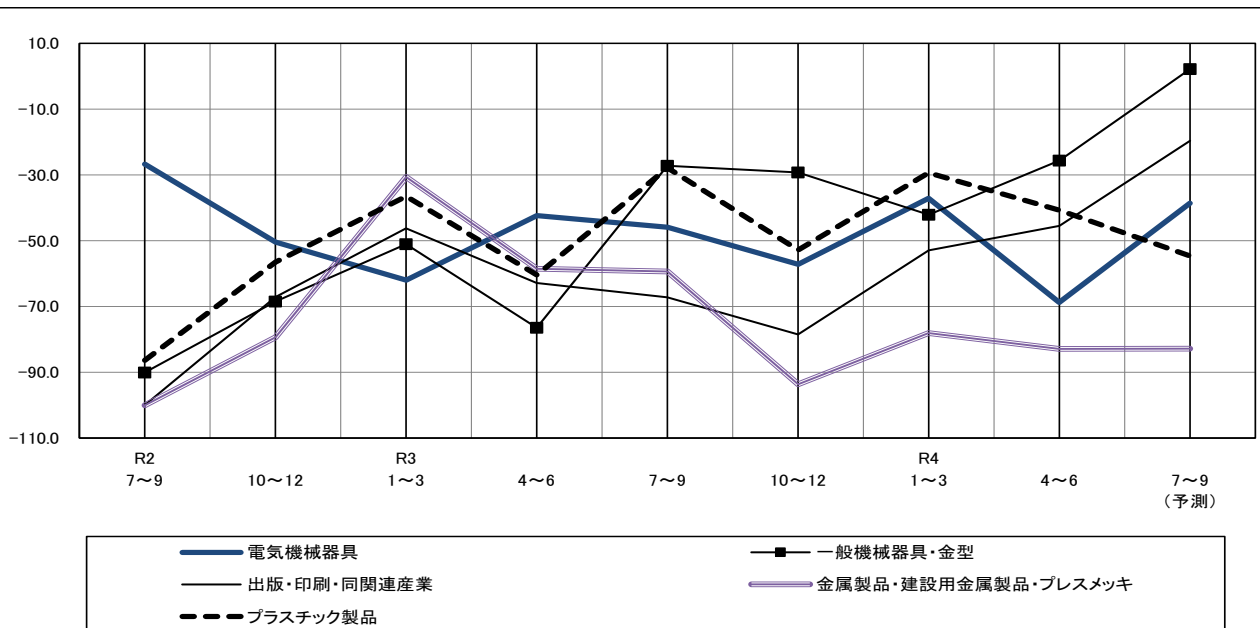
来期の業況は今期並になると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△29→△41)は低調感がかなり強まった。売上額(1→△33)は増加から減少に転じ、収益(△6→△30)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(△18→2)は上昇に転じ、原材料価格(72→94)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△15→△34)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

＜電気機械器具＞

1. 材料高。取引先への値上げ要求が思うように進まない。受注の低迷。
2. コロナ禍で止まっていた物件等が少しずつ動き出してきたが、エネルギー、原材料高騰による原価上昇を販売価格に転嫁できていない。
3. 部品等の納品が大幅に遅れるため、受注を受けても売上が読めない。
4. 輸入が多いので円安の影響大。
5. 得意先に値上げを認めてもらったが、まだ資金仕入単価の値上げ要請が続き、困っている。
6. 需要は増えているが增收増益まではいかない。
7. 部材納期が長く、納品が遅くなっている。納期未定のもが多く、生産不可能なものがある。

＜一般機械器具・金型＞

1. 材料価格が高騰しているが、本当の理由は良くわからない。
2. 下請企業が廃業すると次が見つかりにくく、価格も高くなり、製品が作りにくくなっている。
3. ユーザー企業の投資が盛んであり、その恩恵がある。事業承継に伴いベテラン社員が退職するため人材の確保が急務。世間の情勢は不確かであるため多角的な備えが必要。予断を許す状況ではないと考えている。
4. 同業他社でも長納期の傾向にあり、長期の受注残が増加している。
5. 電装品納期不透明による売上への影響大。
6. 新型コロナウイルス感染症等の影響はあまりなく、3月末には利益が少し出た。製品を作るにあたって部品の一部が入らないため、今年度は状況がどうなるか心配している。
7. 原材料の高騰で困っている。機械を買い替える資金がない。
8. 受注は比較的良好。部品調達の長納期化により、ほぼ完成している装置が出荷できず、売上計上が先送りされ、在庫も積み上がっている。
9. コロナ禍による業界の落ち込みにより売上は減少傾向である。
10. 受注増の中、採用ができず人手不足（技術職）。
11. 停滞状況が続いている。
12. 原材料の値上げのスピードが早く、製品単価の値上げが追いつかない。

13. 人材採用と下請確保が難点。
14. 販路拡大と共に工場生産規模を強化する。労働条件の改善と人材確保。
15. 生産性向上のためのICT、IoT、AIロボット等のデジタル技術の導入、活用ができず、業種管理、生産管理、原価管理がうまくいかない。急な納期変更があった場合、無駄な作業が増えているのが現状である。
16. エンジニア不足により成果報酬型の採用経費の増大が負担になっている。新製品開発のため資金調達が必要。
17. 商材高、協力店の高齢化による工場撤退。

＜出版・印刷・同関連産業＞

1. 売上減少から回復せず、近い将来廃業を考えている。
2. 全体的に需要が減り、仕事の量が少なくなってきた。
3. ほとんどの材料値上げがあり、利幅の縮小。
4. 新型コロナウイルス感染症が収まれば受注も良くなると思う。
5. 需要が減り減収減益が続いている。
6. 用紙、アルミ代、油等の値上がりに対し、全てを価格転嫁できない。全ての機械を稼働するほど仕事が無いこと。
7. 販売単価は上がらず、光熱費等物価高が続いている。

＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. 大企業の進出により売上は減少傾向。
2. 新規案件の見積が例年に比べ減っている。
3. 受注が減少。減収減益により会社継続が困難。
4. 受注減、収益減。
5. 材料費の上昇。

＜プラスチック製品＞

1. 4～6月前年比マイナス。7月以降は増加見込みも10月以降は不透明。電気代などの値上がり対応が課題。
2. プラスチック業は材料そのものが減産されている。業界としても使用用途が少なくなりつつある。
3. 輸入材が全く入荷せず代用品も不足して製品が製造できない状況。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 59 \rightarrow \Delta 50$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 43 \rightarrow \Delta 20$) は減少幅が極端に縮小し、収益 ($\Delta 46 \rightarrow \Delta 28$) は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 28 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (15→35) は上昇傾向が極端に強まり、仕入価格 (58→69) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 (6→8) は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 38 \rightarrow \Delta 18$) は厳しさが極端に和らぎ、借入難易度 ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 2$) はかなり改善した。今期借入れをした企業は 31% で前期から変動がなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

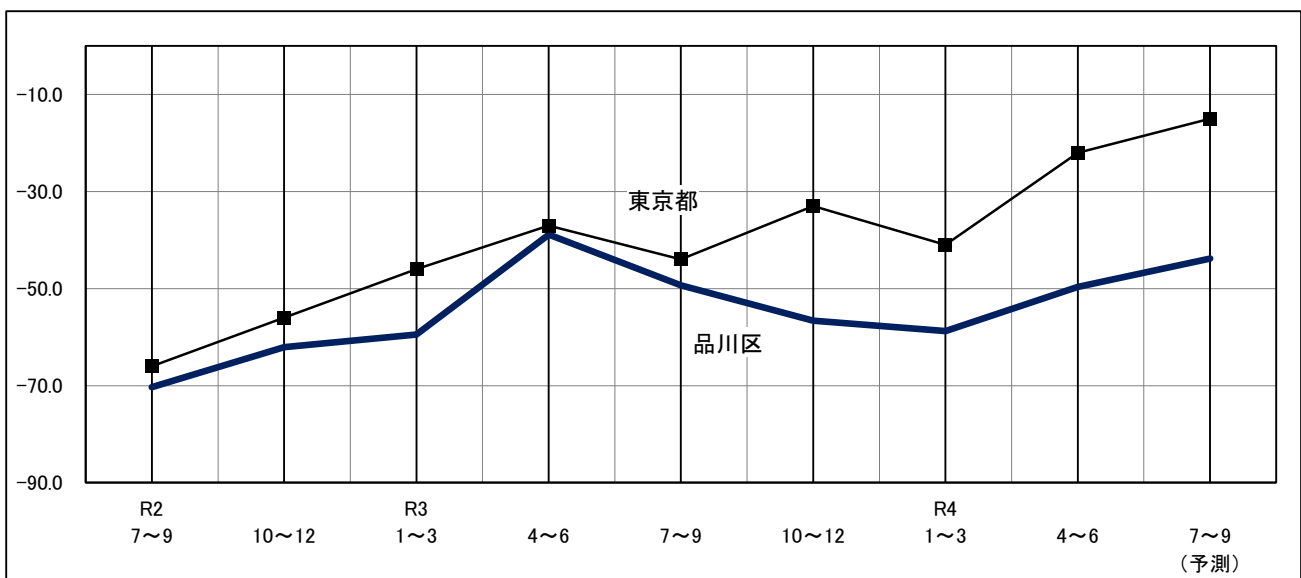
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が 59%、2位は「仕入先からの値上げ要請」が 40%、3位は「為替レートの変動」が 33% となった。前期 5 位だった「為替レートの変動」は、今期 3 位と順位を上げ、令和 2 年 7~9 月期以降で最も高い割合となっている。(42 ページ参照)

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が 63%、2位は「経費を節減する」が 44%、3位は「情報力を強化する」が 33% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

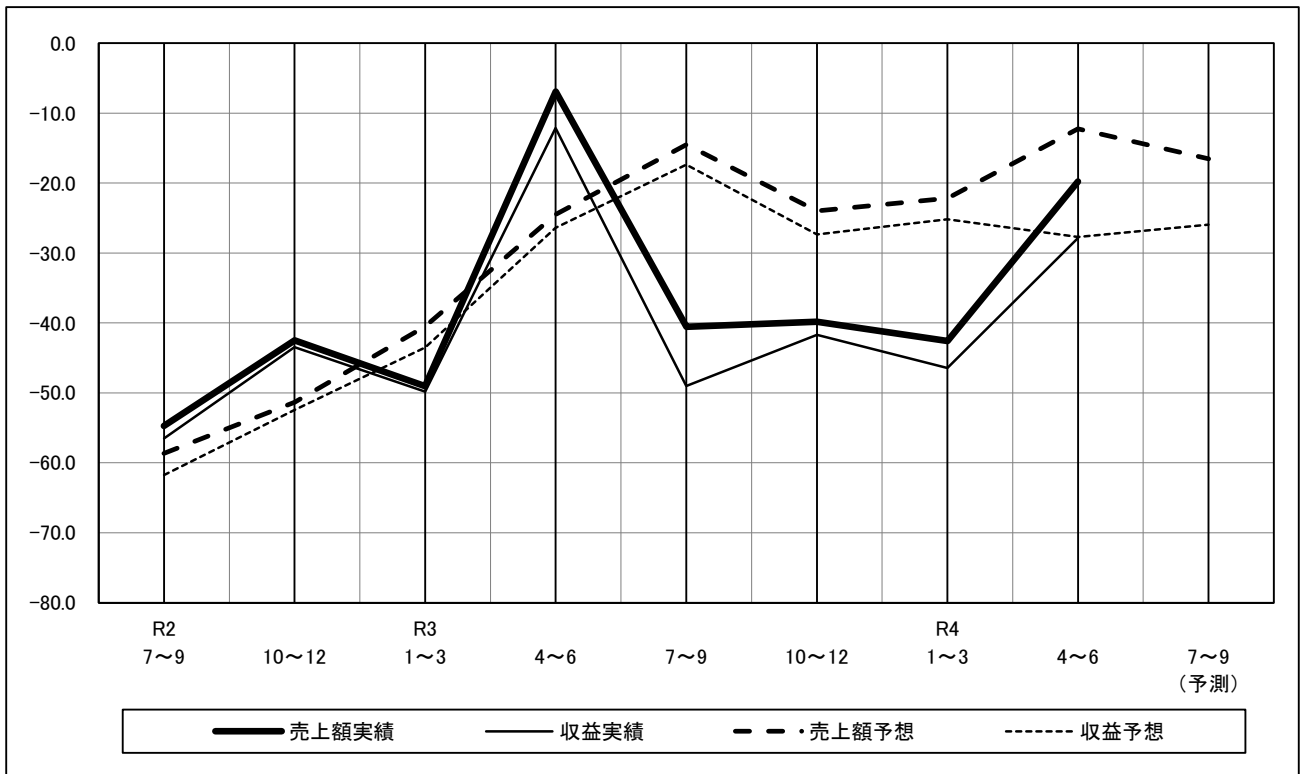
来期の見通し

業況 ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 44$) はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。

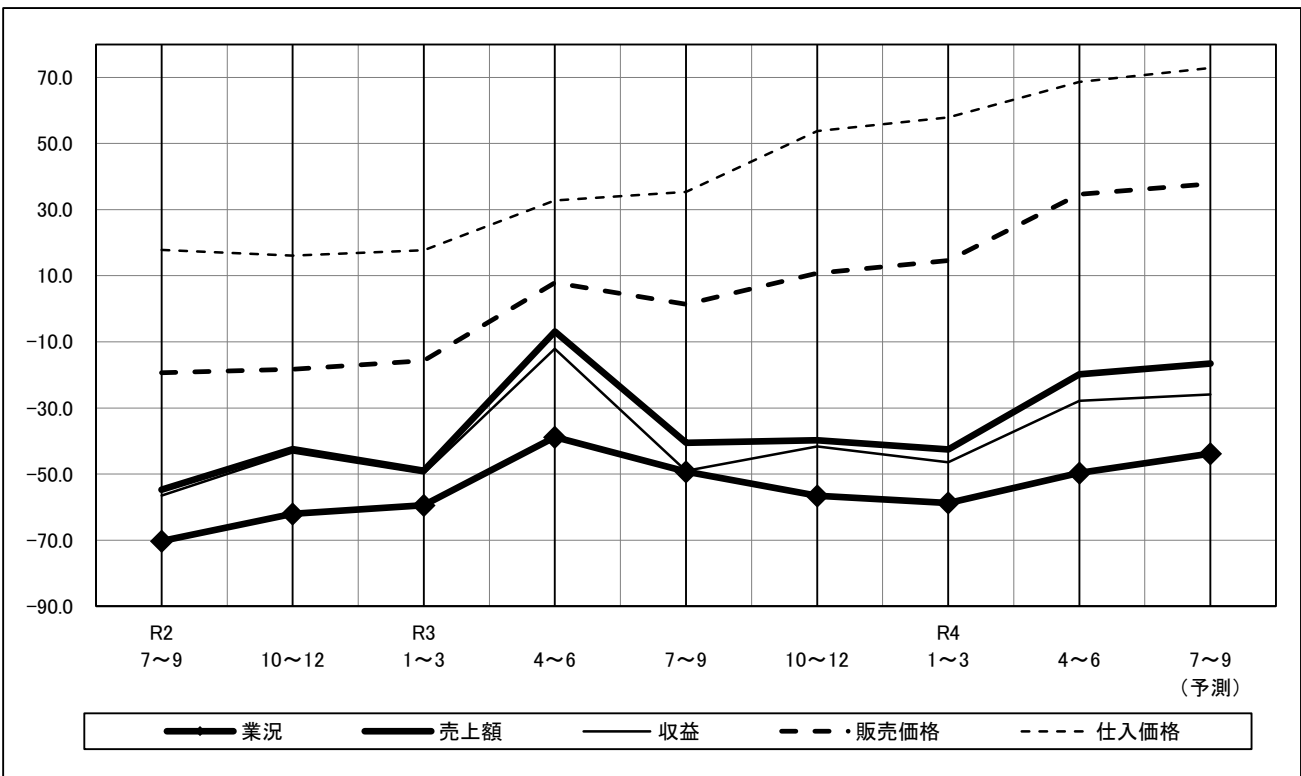
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き (実績) と来期の予測



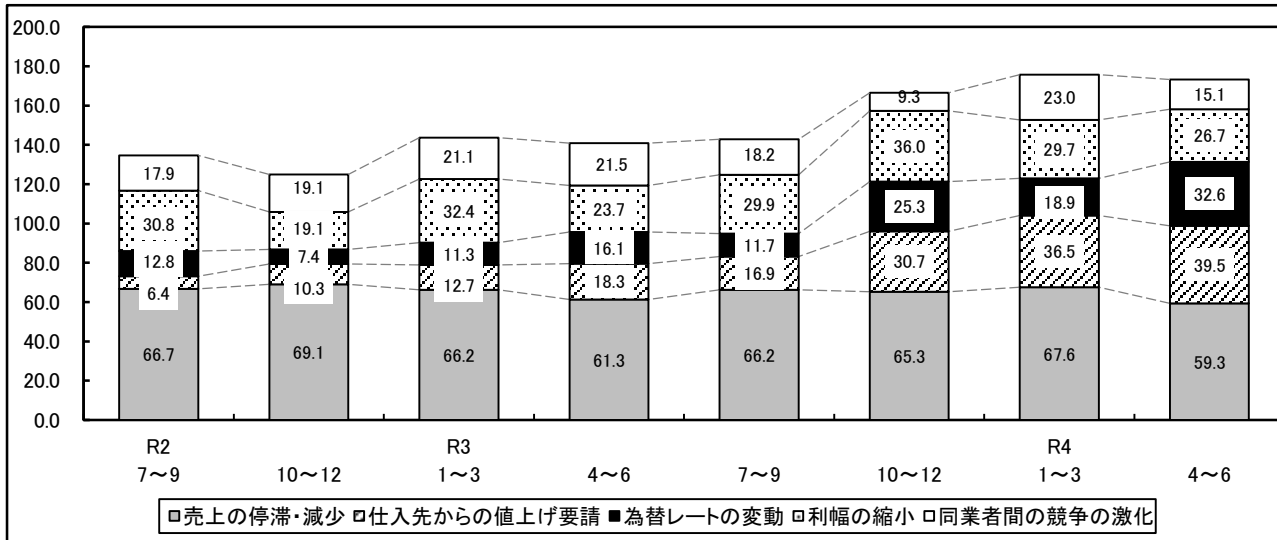
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

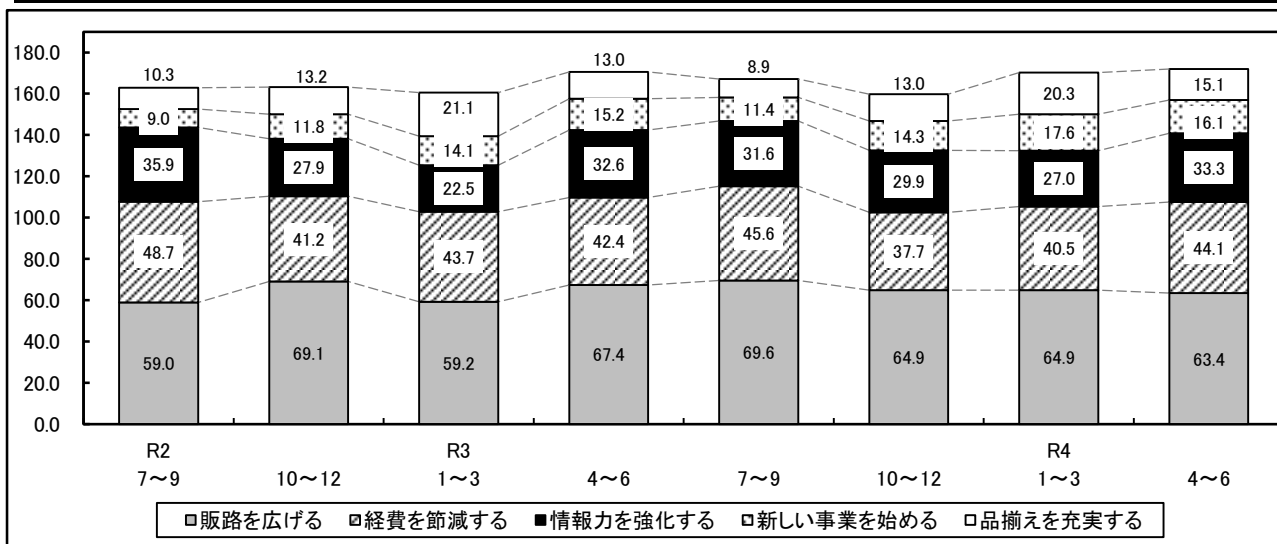


〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	66.2 %	売上停滞・減少	65.3 %	売上停滞・減少	67.6 %	売上停滞・減少	59.3 %
第2位	利幅の縮小	29.9 %	利幅の縮小	36.0 %	仕入先からの値上げ要請	36.5 %	仕入先からの値上げ要請	39.5 %
第3位	取引先の減少	26.0 %	仕入先からの値上げ要請	30.7 %	利幅の縮小	29.7 %	為替レートの変動	32.6 %
第4位	同業者間の競争の激化	18.2 %	為替レートの変動	25.3 %	同業者間の競争の激化	23.0 %	利幅の縮小	26.7 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	16.9 %	取引先の減少	22.7 %	取引先の減少	18.9 %	同業者間の競争の激化	15.1 %
					為替レートの変動	18.9 %		

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



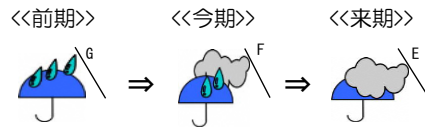
	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	販路を広げる	69.6 %	販路を広げる	64.9 %	販路を広げる	64.9 %	販路を広げる	63.4 %
第2位	経費を節減する	45.6 %	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	44.1 %
第3位	情報力を強化する	31.6 %	情報力を強化する	29.9 %	情報力を強化する	27.0 %	情報力を強化する	33.3 %
第4位	人材を確保する	12.7 %	人材を確保する	23.4 %	品揃えを充実する	20.3 %	新しい事業を始める	16.1 %
第5位	新しい事業を始める	11.4 %	新しい事業を始める	14.3 %	新しい事業を始める	17.6 %	品揃えを充実する	15.1 %
					人材を確保する	17.6 %		

卸売業 業種別コメント

1. 円安の影響で海外の顧客の購買意欲が上昇している。今後の期待が予想されている。
2. 価格の高騰により、適正価格での仕入が難しい。また売買においても、需要と供給面でギャップが生じているため、売上と収益の両方で伸び悩んでいる。
3. 現在は値上げ前の駆け込み需要があるが、7月以降は40%近い値上げのため大きく売上ダウンすると考える。この円安が続けば再値上げとなる。ただし、問屋が在庫を持っているので店頭での値上げは8月末頃。
4. 円安により輸入商品のコストが上がってきている。今後は価格の変更等の対応を進めていくが、現状はまだ景気状況も安定せず急な価格変更は売上減少に影響するため利益調整による対応をしており、利益減少の要因となっている。
5. 円安による仕入価格の上昇が続いている。
6. 少しずつ上向いてはいるものの輸入品の値上げが止まらない。また国産商品の不足から高値で買うことになり、利幅減少になっている。今後も営業は厳しいと考えている。政府の資金面での補助金の利用や、これ以上の借入は自分の首をしめていくだけのような気がするので、借入する予定はない。
7. 飲食店での滞在時間の減少により、飲酒量が減っている。
8. 極度の円安により、海外仕入の決済金、流通費用が値上がりし続けている。コロナ禍以降、飲食店でのアルコール消費量が減少したまま一向に回復の兆しが見られない。
9. 値上げが続いている。国内の回復が遅いので海外に販路を作る。
10. コロナ禍によるイベントの中止が大きく影響している。
11. 現状は主要取引先より安定的に受注を確保しているが、将来的に仕入単価が大幅上昇する事ははっきりしているため、売上高が大きく下がる恐れがある。付加価値の高い商品への移行を図っている。
12. 仕入品の2次3次の値上げ（化学品）。
13. 需要の減少にともない、売上高が多少減少。
14. 円安で仕入価格の値上げ要請がある。今後受注の減少を懸念。
15. 円安による収益の悪化、不安定化。
16. 過去に経験したことがない仕入価格の値上げが続いている。販売価格に転嫁しているものの、受注に結びつかない状況。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、取引先の廃業・倒産も見受けられる。
17. コロナの影響等により、販売量が減っている。
18. 売上の蓄えができています。
19. 円安の影響により仕入価格が上がり販売価格への上乗せが十分ではないため、利益が厳しい状況である。
20. 材料値上げによる利益減。取引先の業務停滞による売上減少。
21. 日本国内の景気が落ち込んでいるため、しばらくは受注が減少し、業績は上向かない。
22. 通販大手の価格設定が安いいため、そこに商品価格を合わせると利益が減ってしまう。
23. 仕入商品の値上げに対し、納入価格の改定が進まない。年間単価契約だと価格改定は1年遅れとなる。
24. 増収増益が続いている。
25. 主要取引先から安定して受注を確保している。
26. コロナ禍の中、売上利益は低レベルで安定している。来期～来々期は受注が増える見込み。
27. 主要取引先から安定して受注を確保している。
28. 国内外、製造業全般不振の影響があり、当面は売上、収益等厳しいと思われる。新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響がいつまで続くか読めないことも厳しい。
29. 様々な情勢により、商品不足ではあるものの徐々に改善されつつあり、このままの状況を保てるのではないかと考えている。
30. 円安により仕入価格の上昇、値上げによる売上数の減少により売上利益の減少が続いている。人材不足のため3名採用を予定していたが、人数を減らしての採用になりそう。
31. コロナ収束の遅れから新製品開発が遅滞、販売に影響がある。円安による仕入単価の上昇、利益を圧迫している。
32. 需要が増え、増収増益を見込んでいるが、為替レートによる影響が不要。
33. 仕入先からの値上げに連動して、販売先への価格改定（値上げ）とのタイムラグによる損失と、世間一般の投資の抑制によって市場の停滞感が強くなってきている。その影響で売上が減少。

34. 受注は安定も仕入価格変動による販売価格への転嫁が課題。
35. 受注減により売上減少傾向。
36. 引合そのものは増えており、売上高には心配していないが、部品・材料の長納期化と仕入価格の上昇により期ズレや利益面での不安はある。また仕入価格の上昇がどこまで販売価格へ転嫁できるか。新年度の価格は提示した後なのでどこまで許容いただけるかは不透明である。
37. 為替レート、円安が利益に影響する。
38. 事務機販売業なのでテレワークにより売上減少。
39. 原油価格高騰による燃油代の値上げ、ヨーロッパからの航路変更による Air 代の値上げ。
40. 増収が見込める見通しだったが、輸出国（ブラジル）の物価高および輸送費の高騰。円安によるコスト（商品原価）は昨年と比較して 50%増にもなる見通し。大幅な減益が見込まれる。
41. インバウンドがなくなった為国内を強化する。
42. 売上は減少傾向。
43. 新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いてきたと思ったら原油高、円安等が原因で商品価格が大幅な値上げとなり、買い控えをするお客が増えたために売上が減少。価格を抑える工夫もしているが、その分販売単価も下がってしまうので、厳しいことに変わりはない。
44. 円安と原油高騰の影響が大きくなっていないほどの仕入商品の値上がりの対応に追われ苦慮している。
45. 仕入価格の値上げに対し、売上価格の転嫁が最重要であるが、新型コロナウイルス感染症による売上の停滞、減少が続いている。
46. 仕入価格が上がり、売価にすべて転嫁できていない。
47. 主要取引先から安定して受注確保。
48. 主力製品の仕入チャネルがメーカー指導により変更され、仕入原価が上昇し利幅が縮小した。円安のため、輸入製品の仕入価格が上昇し続けている。
49. 材料不足により生産出来ず、売上が減少している。
50. 仕入価格の上昇と価格への転嫁。
51. 主要取引先が7月で撤退するため相当厳しい状況である。
52. 主要取引先から安定して受注を確保している。
53. 商品卸先であるエステティックサロンの来客数は徐々に増えつつあるように感じているが、コロナ禍前の状態には程遠く、商品の流通が滞っている。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 72 \rightarrow \Delta 32$) は極端に改善した。売上額 ($\Delta 50 \rightarrow 4$) は増加に転じ、収益 ($\Delta 57 \rightarrow \Delta 6$) は減少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 15 ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (9→28)、仕入価格 (65→72) はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫 (4→9) は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 17$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 9$) はかなり改善した。今期借入れをした企業は 17% で前期の 22% から 5 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

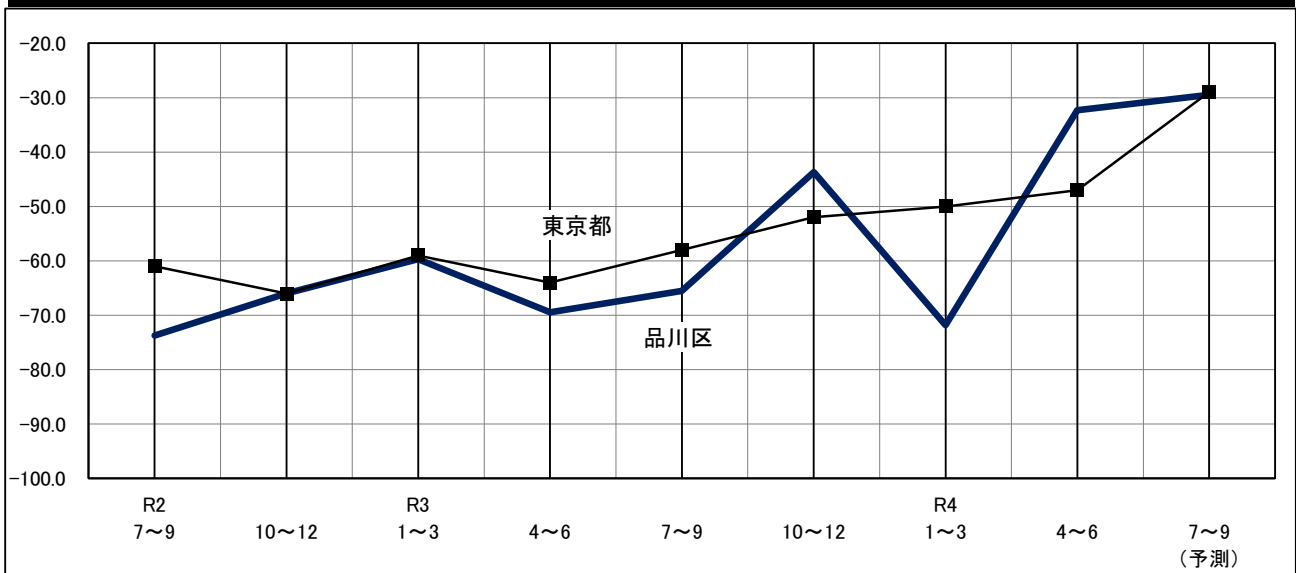
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 57%、2 位は「仕入先からの値上げ要請」が 49%、3 位は「人手不足」が 40% となった。2 位の「仕入先からの値上げ要請」と 3 位の「人手不足」は、令和 2 年 7~9 月期以降で最も高い割合となっている。(44 ページ参照)

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 56%、2 位は「人材を確保する」が 33%、3 位は「品揃えを改善する」が 27% となった。前期 3 位だった「人材を確保する」が今期 2 位と順位を上げ、令和 2 年 7~9 月期以降で最も高い割合となっている。(44 ページ参照)

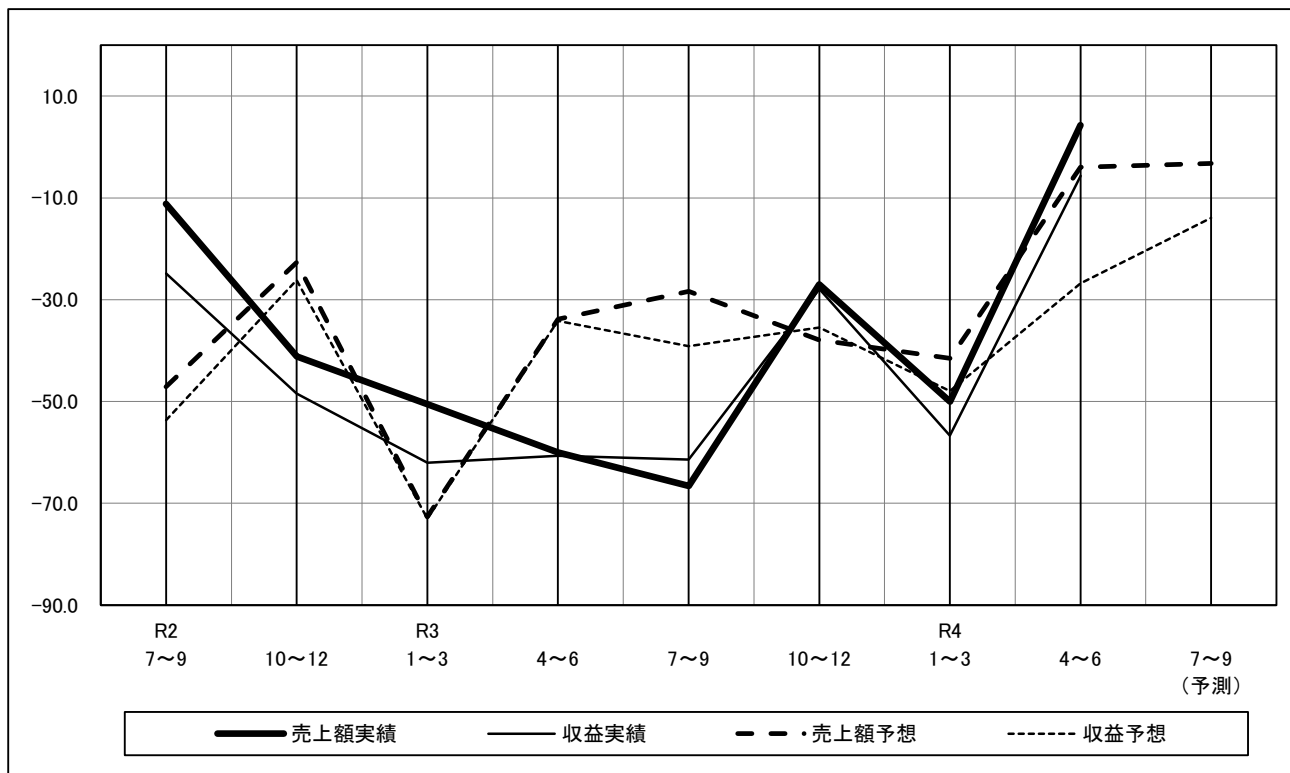
来期の見通し

業況 ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 30$) はやや改善する見込み。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

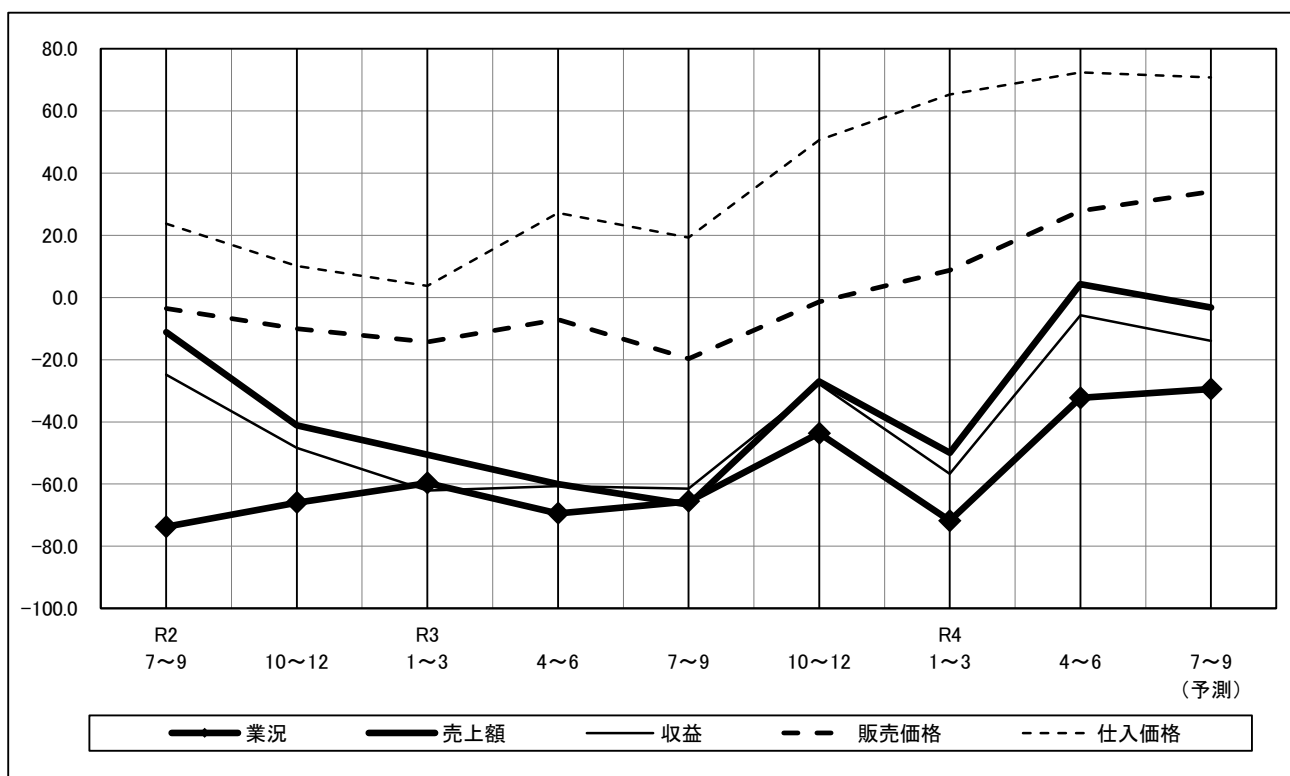
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き (実績) と来期の予測



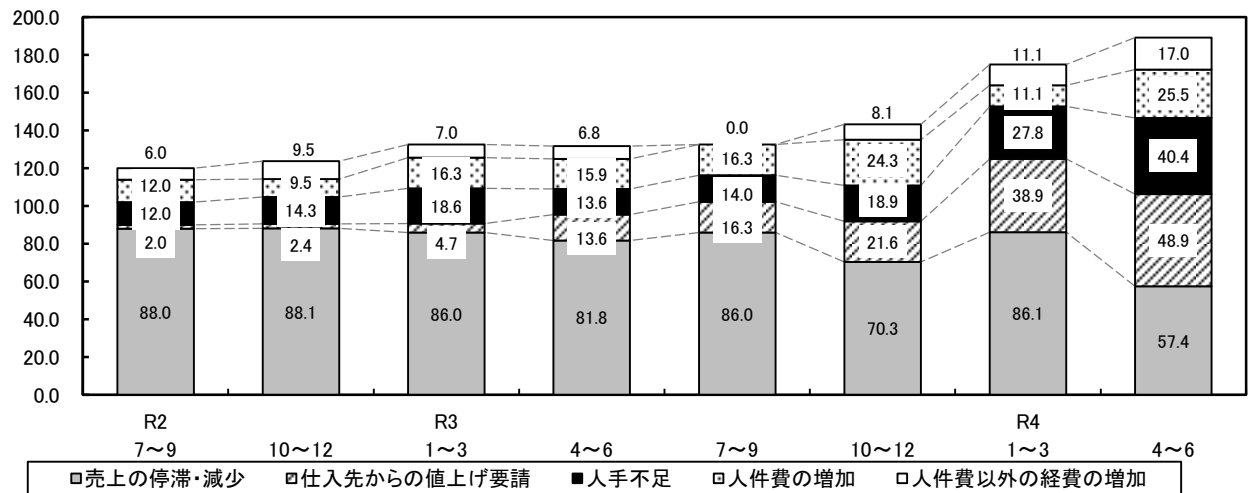
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

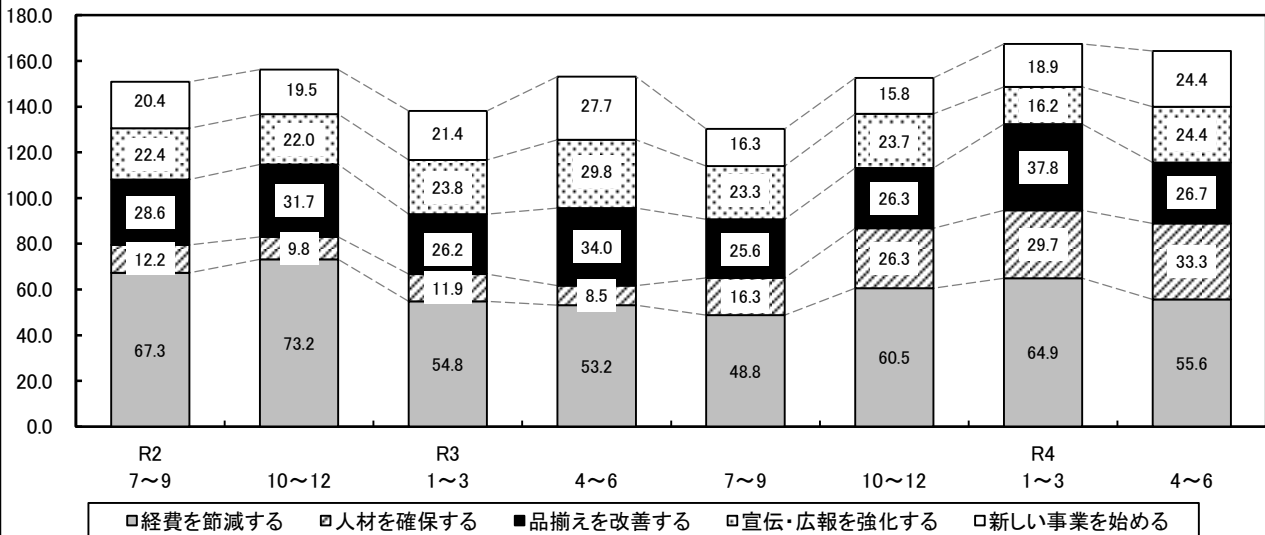


〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	86.0 %	売上の停滞・減少	70.3 %	売上の停滞・減少	86.1 %	売上の停滞・減少	57.4 %
第2位	天候の不順	18.6 %	人件費の増加	24.3 %	仕入先からの値上げ要請	38.9 %	仕入先からの値上げ要請	48.9 %
第3位	利幅の縮小	16.3 %	仕入先からの値上げ要請	21.6 %	人手不足	27.8 %	人手不足	40.4 %
	仕入先からの値上げ要請	16.3 %						
	人件費の増加	16.3 %						
	その他	16.3 %						
第4位	人手不足	14.0 %	人手不足	18.9 %	利幅の縮小	16.7 %	人件費の増加	25.5 %
	取引先の減少	14.0 %						
	商店街の集客力の低下	14.0 %						
第5位	同業者間の競争の激化	11.6 %	商店街の集客力の低下	16.2 %	人件費の増加	11.1 %	人件費以外の経費の増加	17.0 %
					人件費以外の経費の増加	11.1 %		
					商店街の集客力の低下	11.1 %		

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	経費を節減する	48.8 %	経費を節減する	60.5 %	経費を節減する	64.9 %	経費を節減する	55.6 %
第2位	品揃えを改善する	25.6 %	仕入先を開拓・選別する	28.9 %	品揃えを改善する	37.8 %	人材を確保する	33.3 %
第3位	宣伝・広報を強化する	23.3 %	品揃えを改善する	26.3 %	人材を確保する	29.7 %	品揃えを改善する	26.7 %
			人材を確保する	26.3 %				
第4位	仕入先を開拓・選別する	20.9 %	宣伝・広報を強化する	23.7 %	新しい事業を始める	18.9 %	宣伝・広報を強化する	24.4 %
					売れ筋商品を取扱う	18.9 %	新しい事業を始める	24.4 %
第5位	新しい事業を始める	16.3 %	新しい事業を始める	15.8 %	宣伝・広報を強化する	16.2 %	仕入先を開拓・選別する	15.6 %
	人材を確保する	16.3 %	店舗・設備を改装する	15.8 %				
			売れ筋商品を取扱う	15.8 %				

(1) 飲食料品

業況(△59→△23)は極端に改善した。売上額(△74→△20)、収益(△74→△17)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△4→13)は上昇に転じ、仕入価格(79→61)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△29→△29)は前期並となった。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△78→△39)は極端に改善した。売上額(△58→17)、収益(△58→2)はともに増加に転じた。販売価格(11→39)、仕入価格(66→88)はともに上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△18→△8)は厳しさがかなり和らいだ。

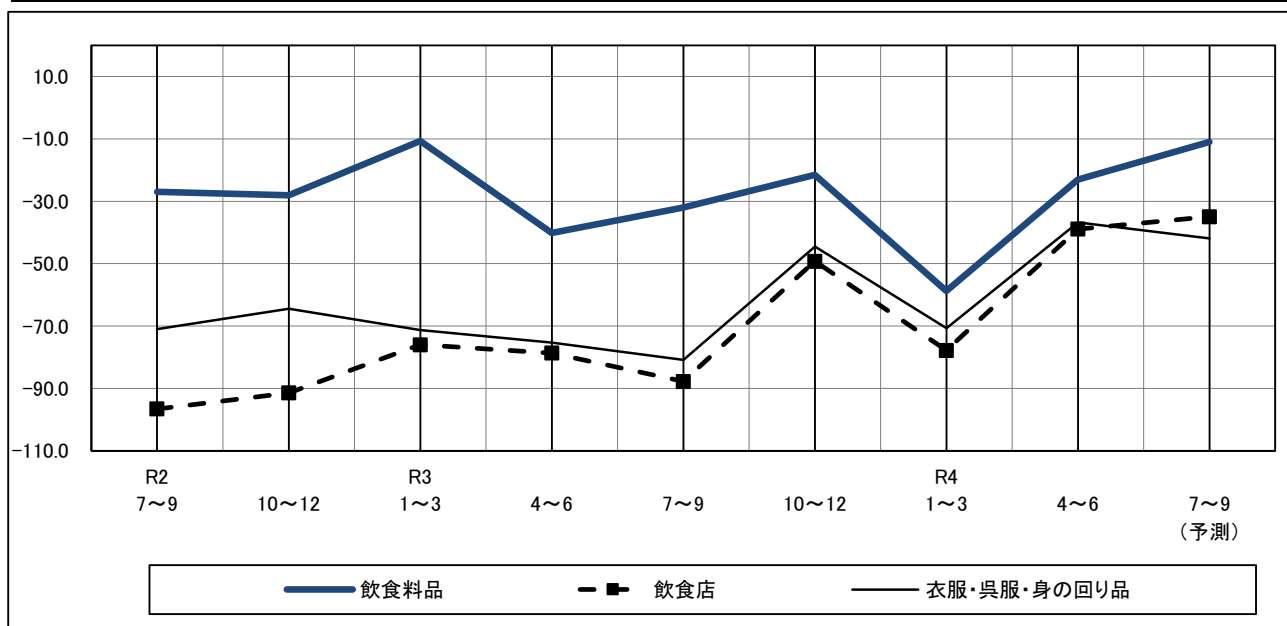
来期の業況はやや改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△71→△37)は極端に改善した。売上額(△29→△18)、収益(△45→△30)はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格(11→15)は上昇傾向がやや強まり、仕入価格(55→54)は前期並となった。資金繰り(△34→△23)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食料品>

1. かつてない最悪な状態。円安が大きなデメリットで中小企業では耐えられない。仕入原価が高騰のため損益に大きな悪影響が出ており、本当に困惑している。
2. まだまだ来店者が増えない。
3. 生活様式の変化、世帯の構成の変化により商材の消費量の減少に歯止めがかからない。

<飲食店>

1. 仕入価格の上昇により利益が減少。しかし販売価格に転嫁できない。
2. 仕入価格高騰により、販売価格引き上げの交渉を行っている。
3. 人件費、材料費の高騰、人手不足、コロナ禍の人流の変化により厳しい状態である。
4. 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきて、少しずつお客様が戻ってきてきている。
5. 材料代を始め、様々な値上がりが心配。
6. 経費削減に努めているが、食品材料費や仕入、ガソリン経費が値上がりをしているので利益が減っている。値段改正により打破できるかどうか。原価高騰はかなり経営にも響く。
7. 食材の値上がりが止まらない。
8. 新型コロナウイルス感染症が落ちついてきた事もあり、退職（転職）を考えていた従業員の動きが活発になった。人手が足りず思うような営業ができない。
9. 人員不足により生産性が低下している。原材料費が上昇しており利益獲得が困難。
10. 売上は回復傾向。原材料はほぼ全般で高騰。
11. 仕入とエネルギーの値上げの影響が大きい。
12. 季節メニューの多様化とグランドメニューの定期変更、広告宣伝などで集客に力を入れている。また仕入原価が上昇しているため経費削減に努めているが利幅が縮小している。

<衣服・呉服・身の回り品>

1. コロナは収束しつつあるようだが、テレワーク等による労働条件が変わったことにより、路面店への影響が特に著しい。
2. コロナ禍により外出控えがあり、和服を着て出かける機会が減っている。
3. 仕入価格値上がりを販売価格へ転嫁できない。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 26$) は低調感がやや強まった。売上額 ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 8$) は前期並となり、収益 ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 9$) は減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 4 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格 (4→15)、材料価格 (36→47) はともに上昇傾向がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 6$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 (5→0) はやや悪化した。今期借入れをした企業は 23% で前期の 35% から 12 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

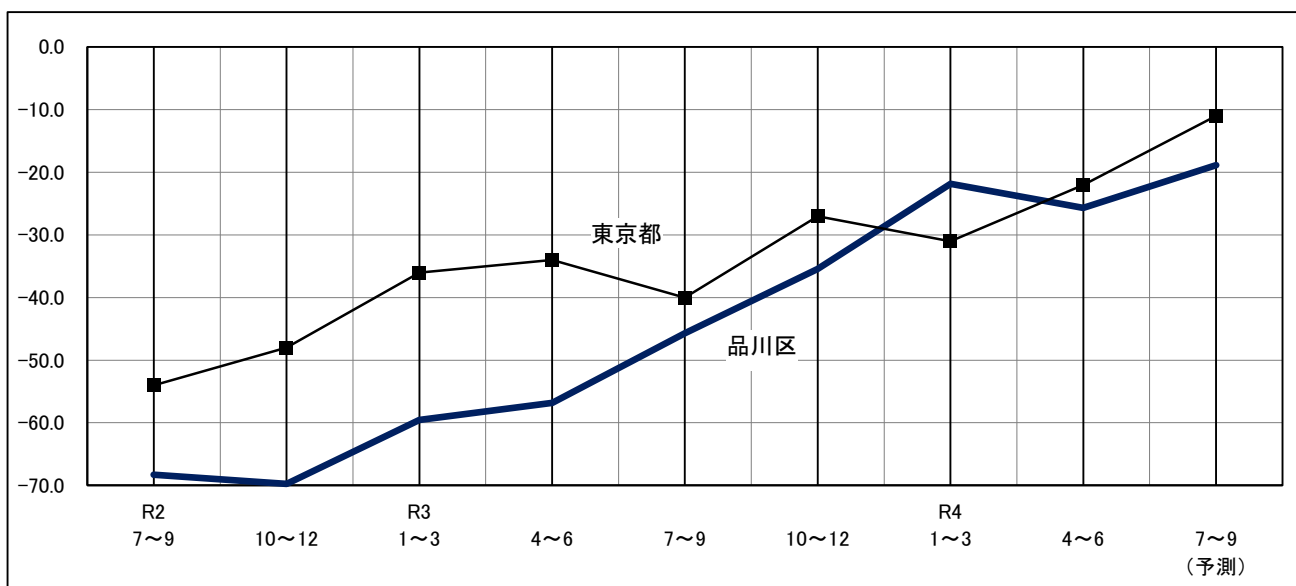
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 46%、2 位は「人手不足」が 43%、3 位は「材料価格の上昇」が 22% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかったが、2 位の「人手不足」は令和 2 年 7~9 月期以降で最も高い割合となっている。(46 ページ参照)

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 48%、2 位は「人材を確保する」が 45%、3 位は「販路を広げる」が 41% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

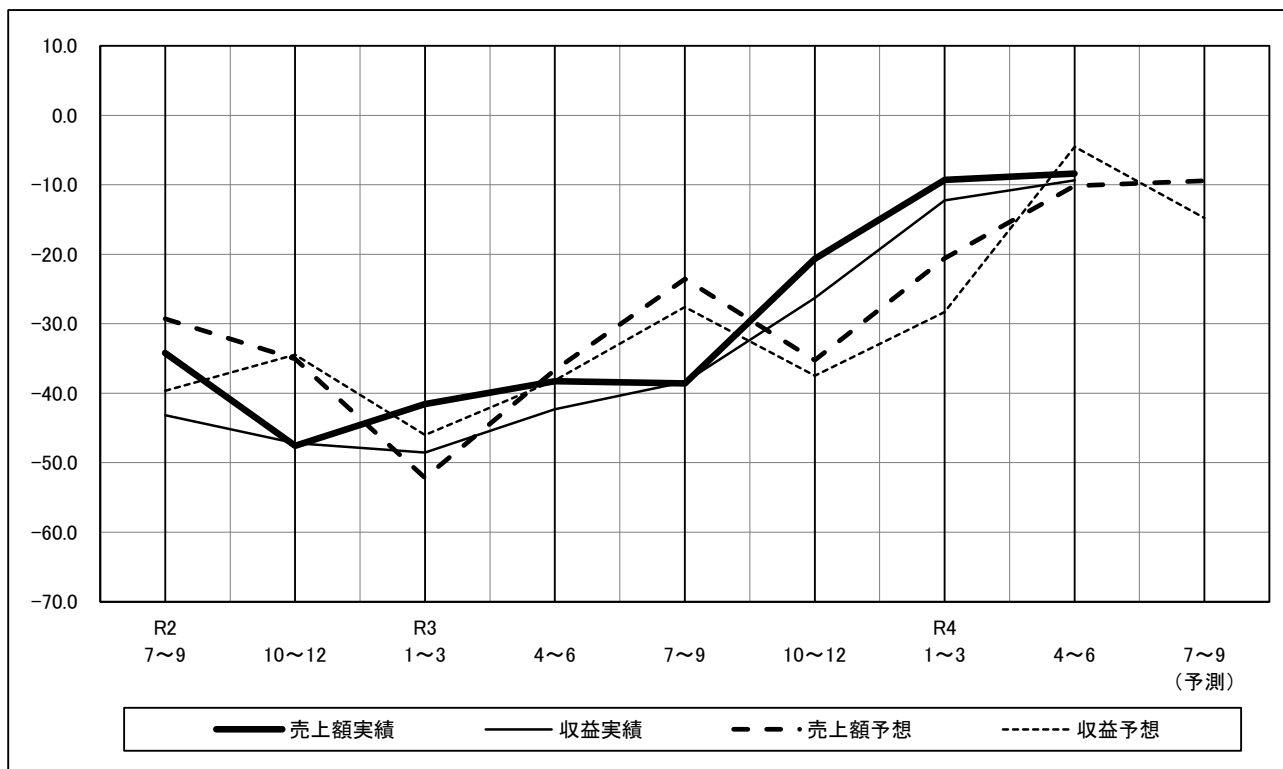
来期の見通し

業況 ($\Delta 26 \rightarrow \Delta 19$) はかなり改善する見込み。売上額は今期並となり、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

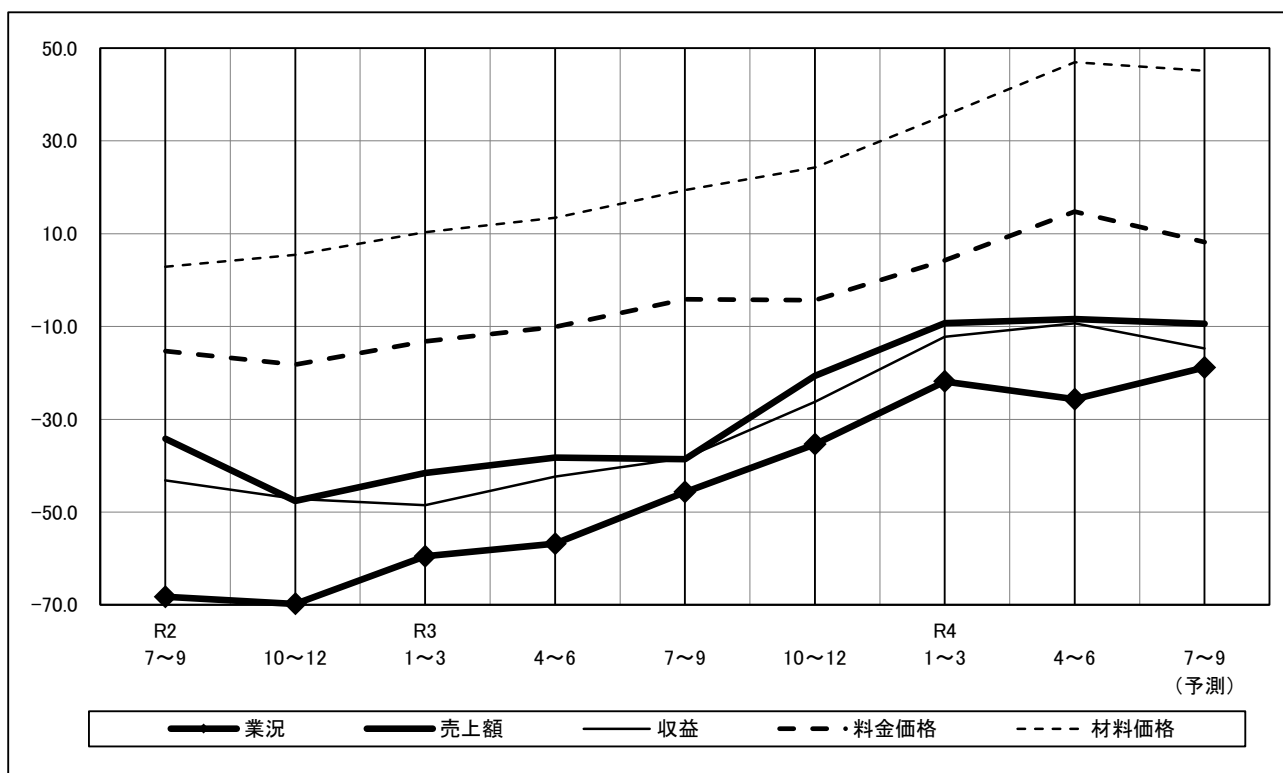
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き (実績) と来期の予測



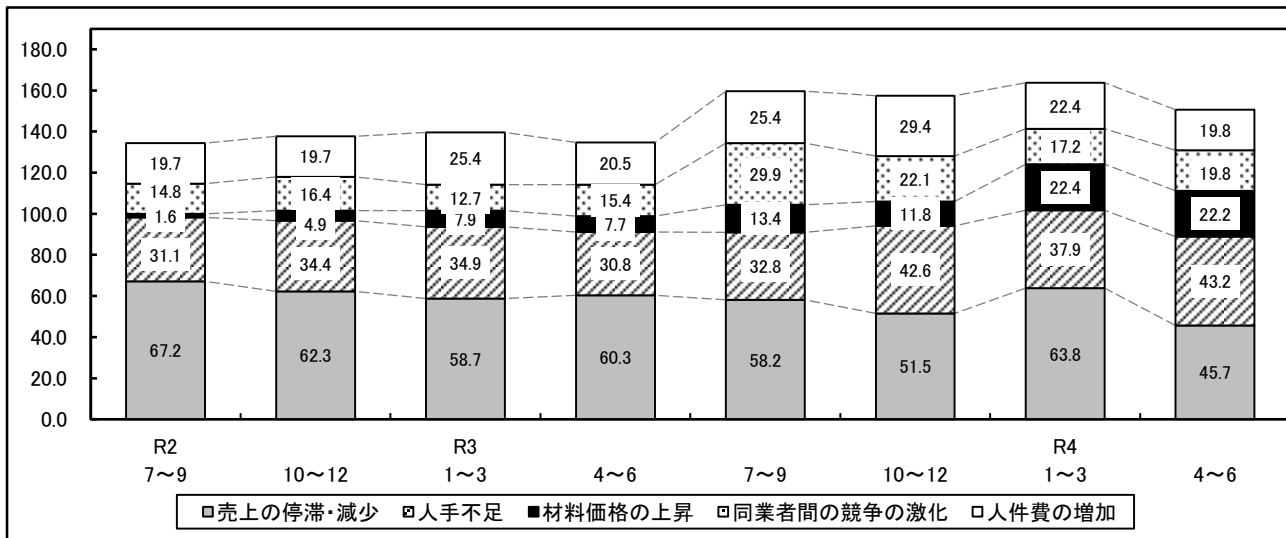
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

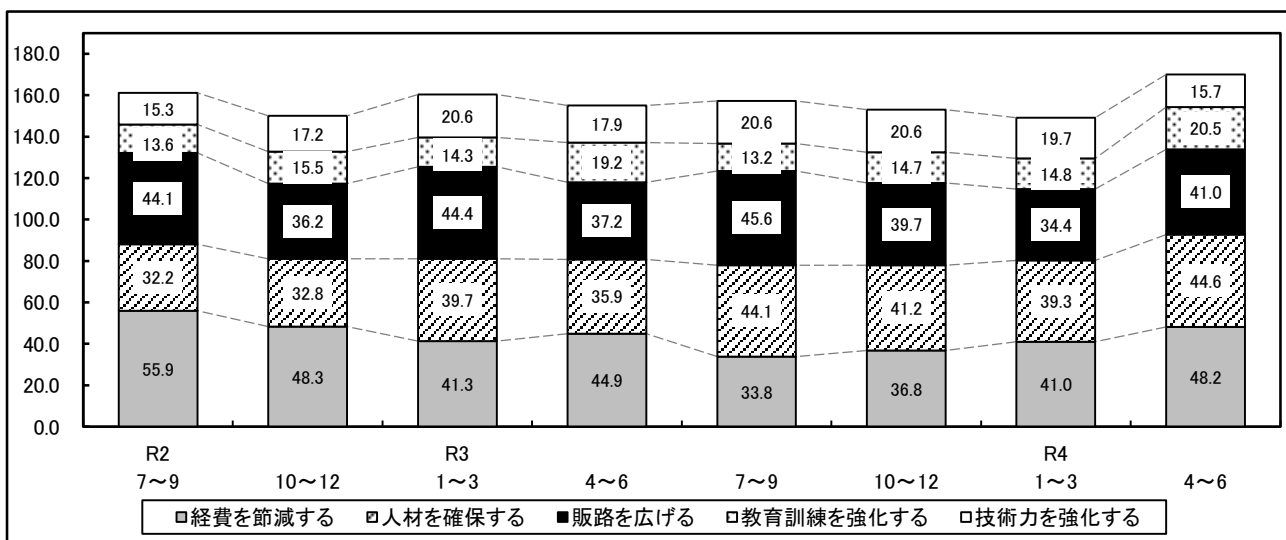


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	58.2 %	売上停滞・減少	51.5 %	売上停滞・減少	63.8 %	売上停滞・減少	45.7 %
第2位	人手不足	32.8 %	人手不足	42.6 %	人手不足	37.9 %	人手不足	43.2 %
第3位	同業者間の競争の激化	29.9 %	人件費の増加	29.4 %	材料価格の上昇 人件費の増加	22.4 % 22.4 %	材料価格の上昇	22.2 %
第4位	人件費の増加	25.4 %	同業者間の競争の激化	22.1 %	利幅の縮小	19.0 %	同業者間の競争の激化 人件費の増加	19.8 % 19.8 %
第5位	材料価格の上昇	13.4 %	技術力の不足	19.1 %	同業者間の競争の激化	17.2 %	利幅の縮小	18.5 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	販路を広げる	45.6 %	人材を確保する	41.2 %	経費を節減する	41.0 %	経費を節減する	48.2 %
第2位	人材を確保する	44.1 %	販路を広げる	39.7 %	人材を確保する	39.3 %	人材を確保する	44.6 %
第3位	経費を節減する	33.8 %	経費を節減する	36.8 %	販路を広げる	34.4 %	販路を広げる	41.0 %
第4位	新しい事業を始める	22.1 %	新しい事業を始める	23.5 %	新しい事業を始める	21.3 %	教育訓練を強化する	20.5 %
第5位	技術力を強化する	20.6 %	技術力を強化する	20.6 %	技術力を強化する	19.7 %	技術力を強化する	15.7 %

サービス業 業種別コメント

1. テレワークによる需要の減少。旅行や外食などの減少によってクリーニングの全体の需要が減っているのでとても厳しい。
2. エネルギー（ガス、電気）の値上がりにより利益が減っている。
3. 経費節減に努めているが、売上が伸ばせず店舗家賃などの固定費が重い。
4. 経費節減して販路を拡大するしかない。
5. 販管費は上がっているが、介護なので価格が決まっており、利益確保が難しい。
6. コスト上昇による減収減益。
7. 入国制限が解除され、観光客も増えてきているため、少し仕事が増えている気がする。
8. 材料費の値上がりによる収益圧迫。
9. 来場者が増え、増収増益が続いているが、材料費が上がっている。
10. 蔓延防止等が解除され、顧客が戻りつつあるが、行動変化で大規模人数での会合はまだまだ以前に比べ少ない。そのため少人数をいかに組み合わせるかが目下の課題となっている。
11. 主力のインターネット車券販売が好調に推移している。
12. 社内クラスターが発生すると企業の存続の危機となってしまいうため、不安を持っている。
13. 見積りに時間がかかり作業の時間が足りない。人手が欲しいが、資金的に難しい。
14. 人手不足で売上減少。
15. 給水インフラを支える事業のため、急激な上昇、下降は無い。
16. 売上高の減少。
17. 新型コロナウイルス感染症の状況に左右されるので、先が見にくい。
18. 新型コロナウイルス感染症も安定してきており、現状維持の状態です。
19. 人手不足にともない、技術力が大きく落ちている。
20. 材料費、仕入費用の値上がりや企業間の競争が激しく取引先も減少している。
21. 円安による仕入製品の価格上昇がある。
22. 新規事業、商品案があってもサンプル製作費や販路拡大が難しい。その辺りを資金繰りで改善を目指す、事業好転が見込めないと借入が難しく、いたちごっこになっている状況。
23. 令和4年7月～9月、非常に売上が厳しい状況。とにかくコストパフォーマンス良く、新規案件取り行います。
24. ブランド力が上がっているため、入学者の希望が多く、ウェイティング（入学待ち）の人がいる。順調ではあるが、事業をもう少し成長させることが課題。
25. 仕入や工事等が半導体不足の影響で進まず、工事費用も上昇し苦勞している。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△38→△36)はやや改善した。売上額(△36→△33)は減少幅がやや縮小し、施工高(△39→△31)は減少幅がかなり縮小した。収益(△35→△30)は減少幅がやや縮小した。

価格・在庫動向

請負価格(△28→△29)は前期並となり、材料価格(58→75)は上昇傾向がかなり強まった。在庫(1→△16)は過剰から品薄に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△30→△24)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△3→2)は好転した。今期借入れをした企業は31%で前期の33%から2ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

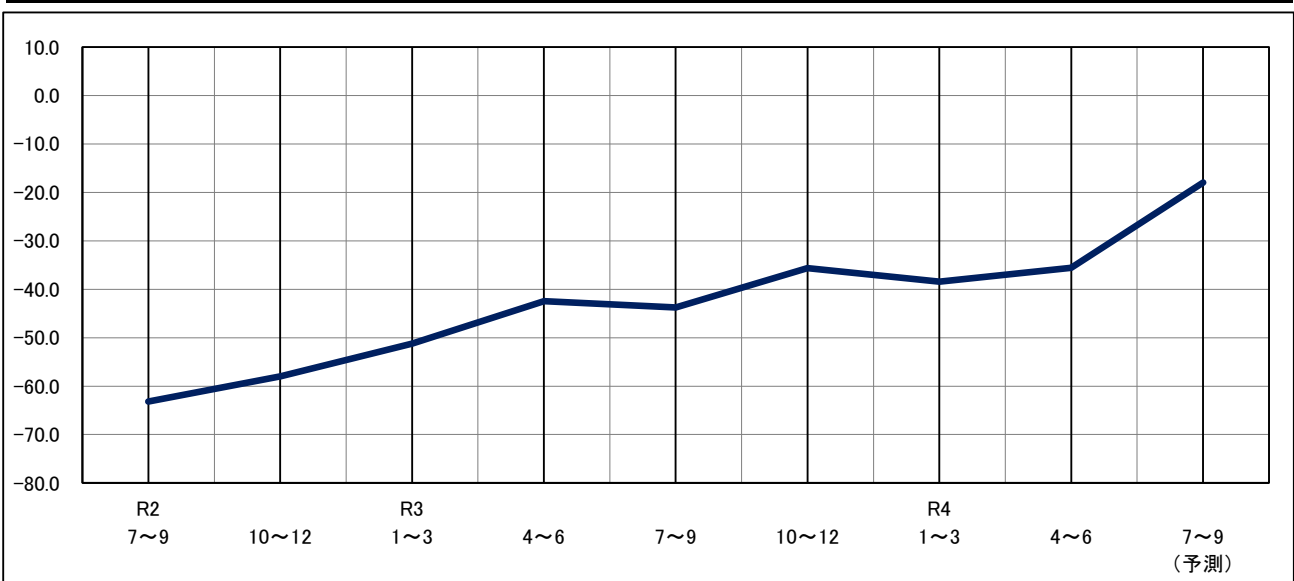
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」が57%、2位は「売上の停滞・減少」が54%、3位は「利幅の縮小」が35%となった。前期4位だった「利幅の縮小」が、今期3位と順位を上げた。「材料価格の上昇」は、令和2年7~9月期以降で最も高い割合となっている。(48ページ参照)

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が47%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「技術力を高める」が31%となった。前期4位だった「技術力を高める」が、今期3位と順位を上げた。

来期の見通し

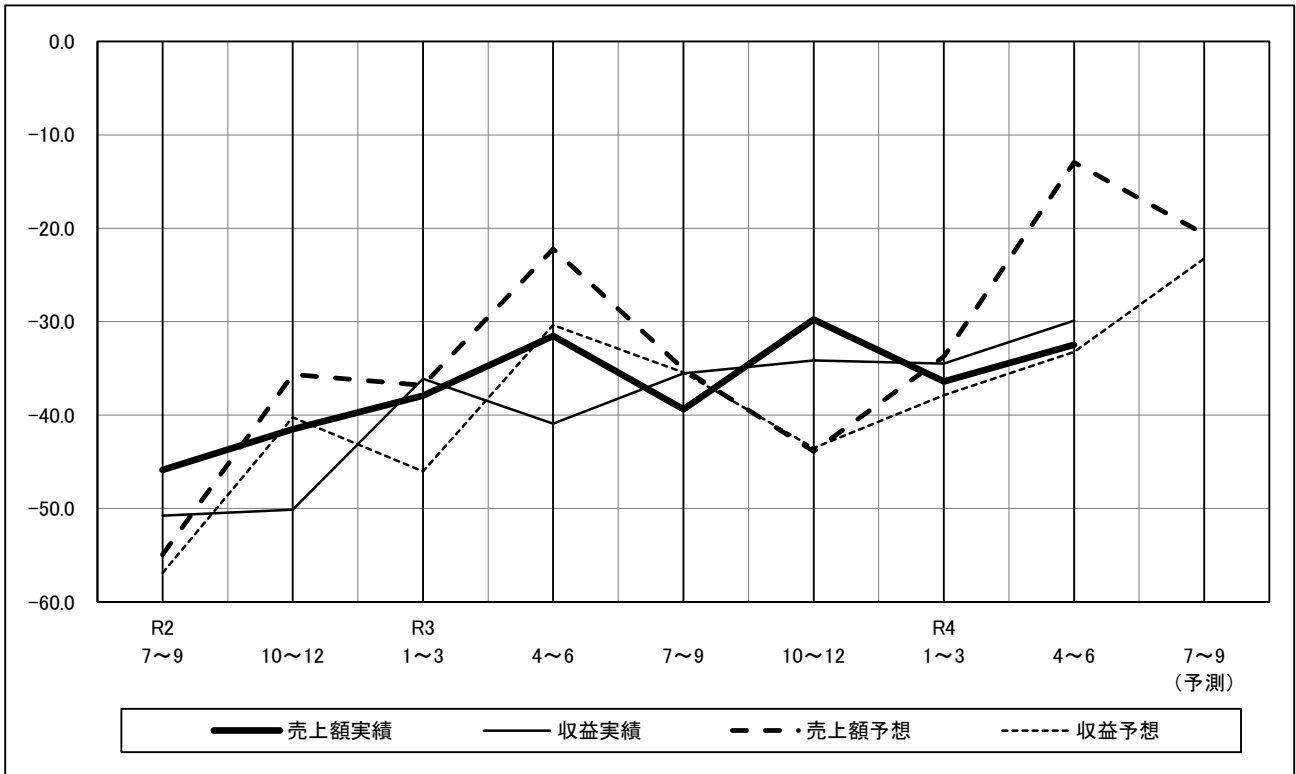
業況(△36→△18)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

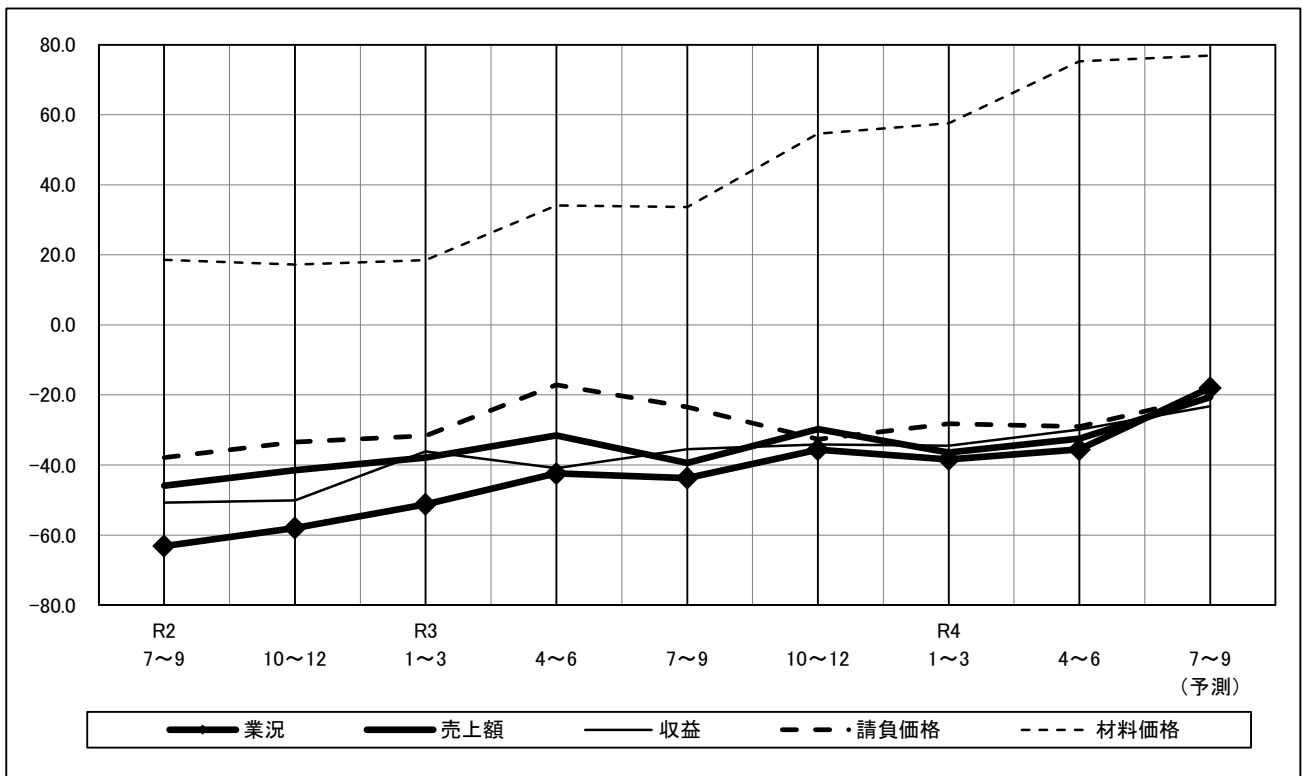


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

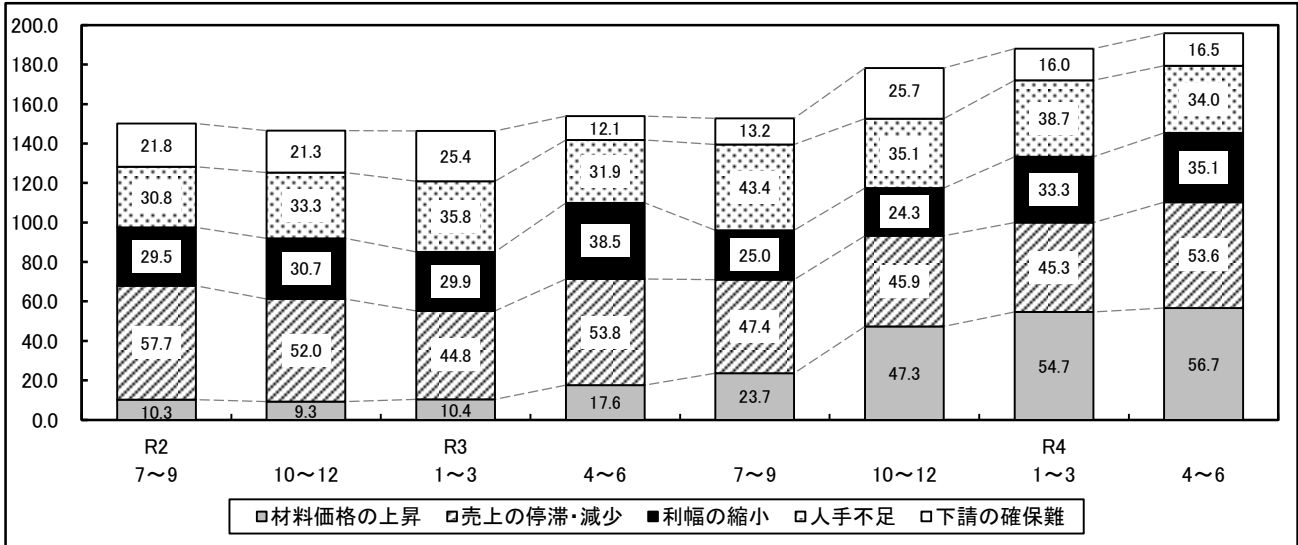
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

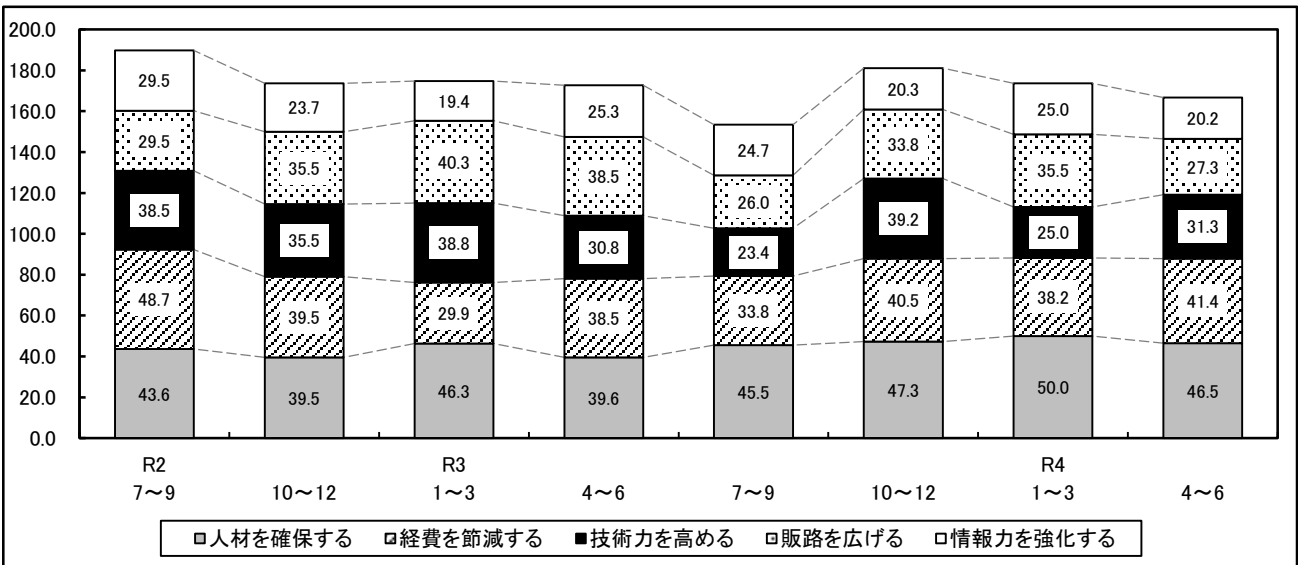


〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	47.4 %	材料価格の上昇	47.3 %	材料価格の上昇	54.7 %	材料価格の上昇	56.7 %
第2位	人手不足	43.4 %	売上の停滞・減少	45.9 %	売上の停滞・減少	45.3 %	売上の停滞・減少	53.6 %
第3位	利幅の縮小	25.0 %	人手不足	35.1 %	人手不足	38.7 %	利幅の縮小	35.1 %
第4位	材料価格の上昇	23.7 %	下請の確保難	25.7 %	利幅の縮小	33.3 %	人手不足	34.0 %
第5位	人件費の増加	14.5 %	利幅の縮小	24.3 %	同業者間の競争の激化	18.7 %	下請の確保難	16.5 %

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R3.7~9月期		R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期	
第1位	人材を確保する	45.5 %	人材を確保する	47.3 %	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	46.5 %
第2位	経費を節減する	33.8 %	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	38.2 %	経費を節減する	41.4 %
第3位	販路を広げる	26.0 %	技術力を高める	39.2 %	販路を広げる	35.5 %	技術力を高める	31.3 %
第4位	情報力を強化する	24.7 %	販路を広げる	33.8 %	情報力を強化する	25.0 %	販路を広げる	27.3 %
第5位	技術力を高める	23.4 %	情報力を強化する	20.3 %	教育訓練を強化する	14.5 %	情報力を強化する	20.2 %

建設業 業種別コメント

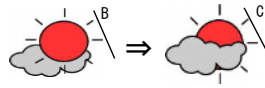
1. 発注が激減、入金減少のため、維持が厳しい。
2. 建設工事数の減少、また元請業者自体が取れない等、工事自体できないでいる。材料価格が不明な事も影響している。
3. 人手不足。
4. 大規模工事の受注が減少している。
5. 金融機関からの借入が難しく経営が悪化。
6. 高齢化による人手不足。
7. 新築増築はほとんどなく、最近では改修工事、リフォームが多い。
8. 需要は増えているが材料、人件費の高騰、人手不足が続いている。
9. 材料価格の上昇、不足が深刻である。
10. 受注額が非常に低い。
11. 本来の事業である大工、測量の事業は行っていない。スーパーゼネコンへ現場監督（工務管理）として派遣だけ行っている。
12. 本業部分での売上が厳しい。商品等も売上がないとキャッシュフローが厳しい。
13. 受注が思うように増加しない。
14. コロナ禍で営業に多大な影響があり受注減。
15. 受注高は増加してきたが、粗利が下がった。
16. 発注者の売上が減少し受注も減少している。
17. 世界情勢で先が分からない。
18. 材料が入らないので工期が定まらない。受注はしても納期が定まらず困っている。
19. とにかく人材不足で困っている。
20. 材料不足と価格高騰で受注に支障がでている。
21. 仕事の減少。
22. 資金繰りが大変。収益減。
23. 受注が増えている。
24. 前期の分が今期に来ただけ。
25. 今後受注が増え、工事高が増大し、収益増の見込み。
26. 予定の採用ができず人手不足が解消できず。
27. 仕入資材の高騰のため、利益率の大幅減少。
28. 材料の仕入が困難なため工事が進まない。
29. 人手不足のため、受注を増やせずにいる。
30. 発注者の保守体制による施工制限や発注者組織変更による発注停止により受注減が続いている。2~3 か月後から平常に戻ってゆく予定。
31. 受注量の減少でリース料金は変化なしで、このまま続けられるのかが不安。
32. 材料価格の上昇が不安。
33. 納期の遅れで受注残が増えています。仕事はありますが、人員不足です。
34. 前期と比べると売上利益とも減少している。新規現場も少ない。
35. 機材の遅れ、納入遅延のため予定納期が守れなくなっている。
36. 売上の低下も見られてきたが、引き続き安定を求めて営業活動を行っていく。
37. コロナ禍、ロシア・ウクライナ問題により資材の不足、遅延により売上減が続いている。
38. 外注費が上昇し親会社の請負額は上がらず利益率が下がる。社員を増やしたいが採用までに至らず。
39. 後継者もなくやっていくのが困難。
40. 需要は多いが材料費の上昇により利幅縮小。
41. 現場の着工が遅れたり、時には重なりや空いたりすることが、人件費がかかる要因だと考えている。うまくコンスタントに現場が流れていってくれればと思う。
42. 設備（空調機や給湯器等）機器の納品の遅れが目立つ。中国のロックダウンが大きく影響していると思われる。
43. 商品の不足に関してはかなり落ち着いてきたか、材料価格の上昇は続いており、先が見えない状況が続いている。
44. 材料費の高騰により売上減少。電気材料品不足により仕事が受けられない。
45. 求人を出さずも採用ができず人手不足。
46. 多くの工程が遅れ、受注の計画を立てるのが難しい。
47. 同業者間との競争。
48. 職方不足の解消ができれば売上は上がると予想される。技術力アップも強化していく。
49. 社員の能力向上のための教育を行い、少数精鋭な企業にし、労働効率を良くしたい。
50. 地域密着型を心がけて実働している。結果、実績も上がり必要な利益を確保している。
51. 細かい仕事が増え、売上減少。
52. 材料価格の上昇が続いている。材料確保の困難。工期延伸。

情報通信業

<<前期>>

<<今期>>

<<来期>>



売上・収益の動向と業況判断

業況は9であった。売上額は1、収益は3であった。

価格動向

システム提供価格は7、人件費は33であった。

資金繰り・借入金動向

資金繰りは△6、借入難易度は△13であった。今期借入れをした企業は33%であった。

経営上の問題点・重点経営施策

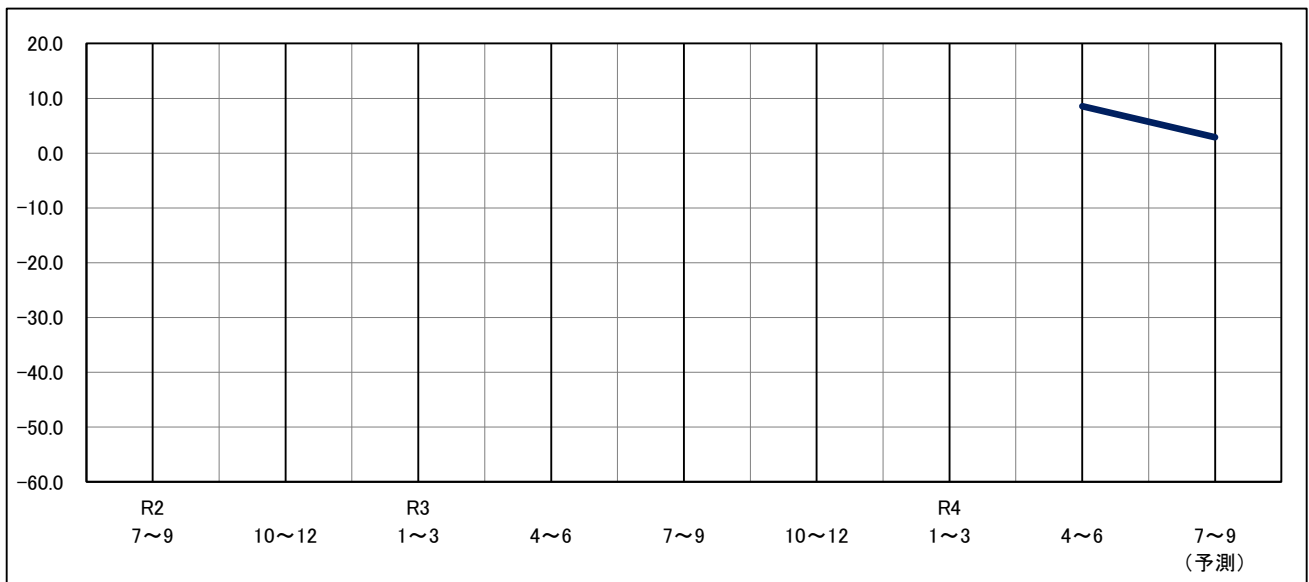
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が40%、2位は「売上の停滞・減少」が33%、3位は「技術力の不足」が27%となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が54%、2位は「販路を広げる」と「技術力を強化する」が50%、3位は「新しい事業を始める」が24%となった。

来期の見通し

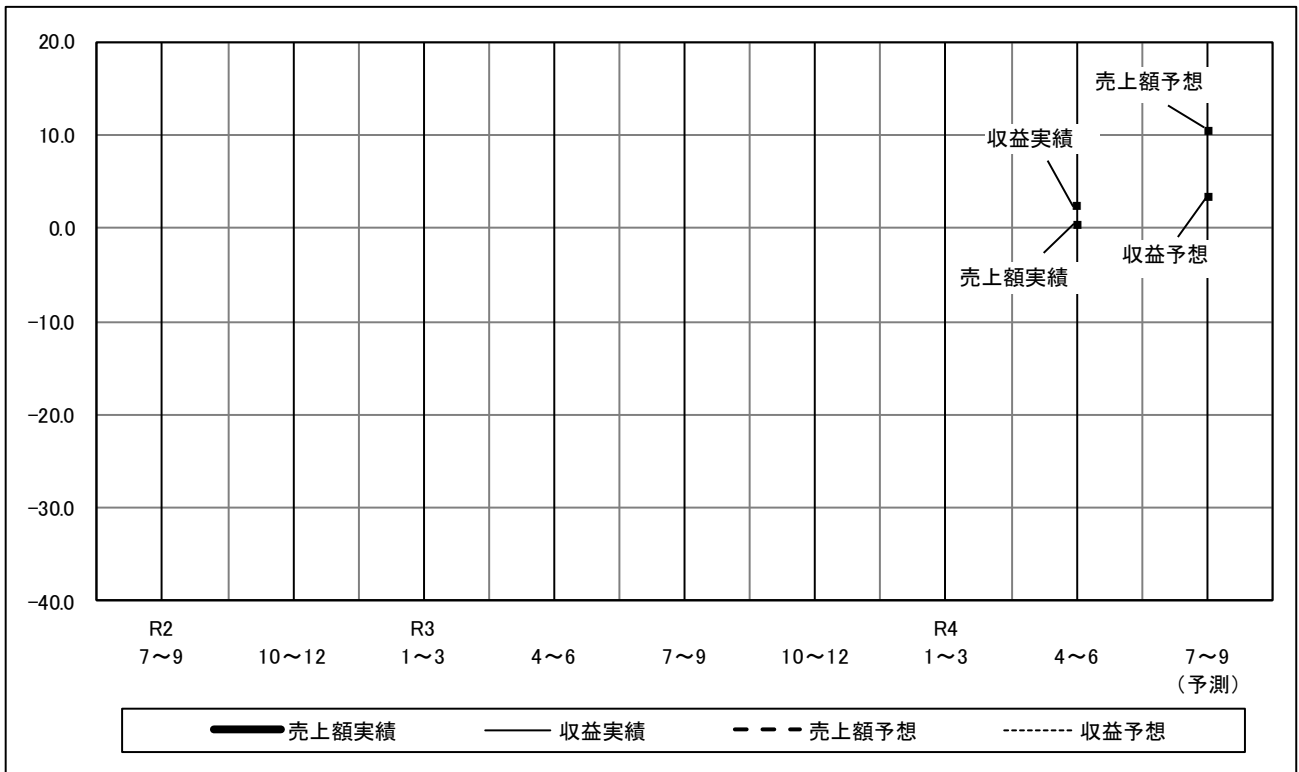
業況(9→3)は好調感がかなり後退する見込み。売上額は増加幅がかなり拡大し、収益は今期並になると予想されている。

<情報通信業> 品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

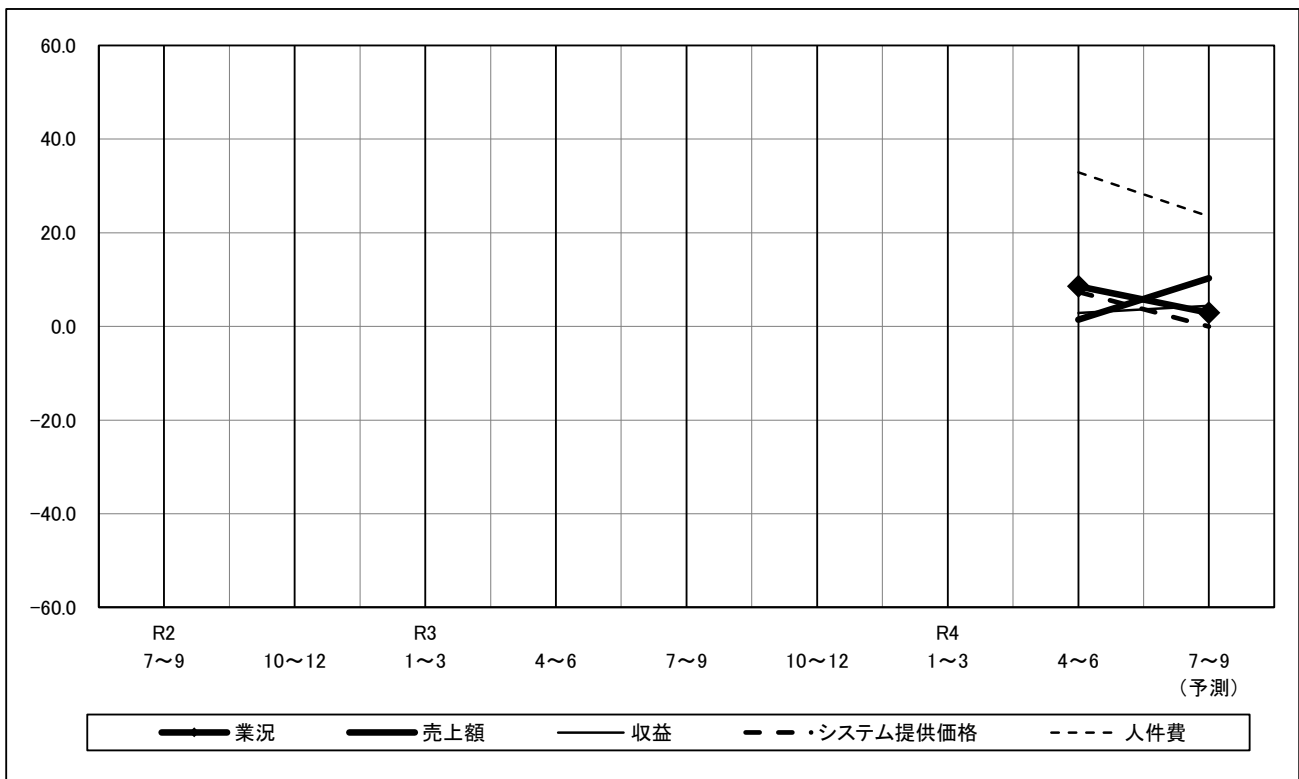


※ 東京都の景況調査では情報通信業の調査は実施されていないため、全都の情報通信業の業況は表示していない。

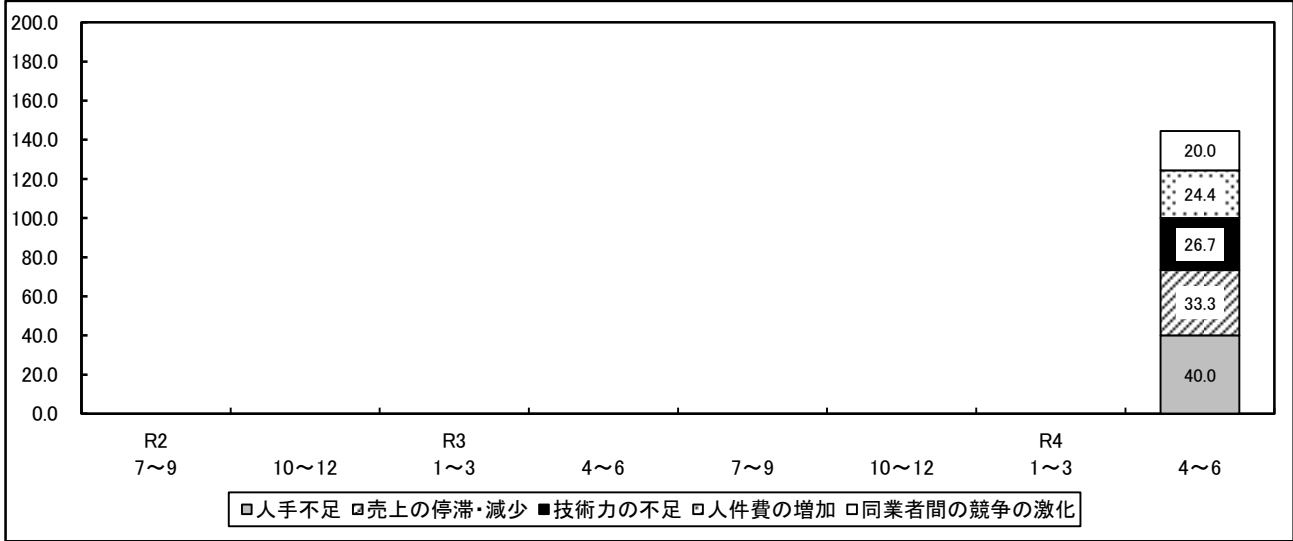
〈情報通信業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈情報通信業〉 業況と売上額、収益、システム提供価格、人件費の動き（実績）と来期の予測

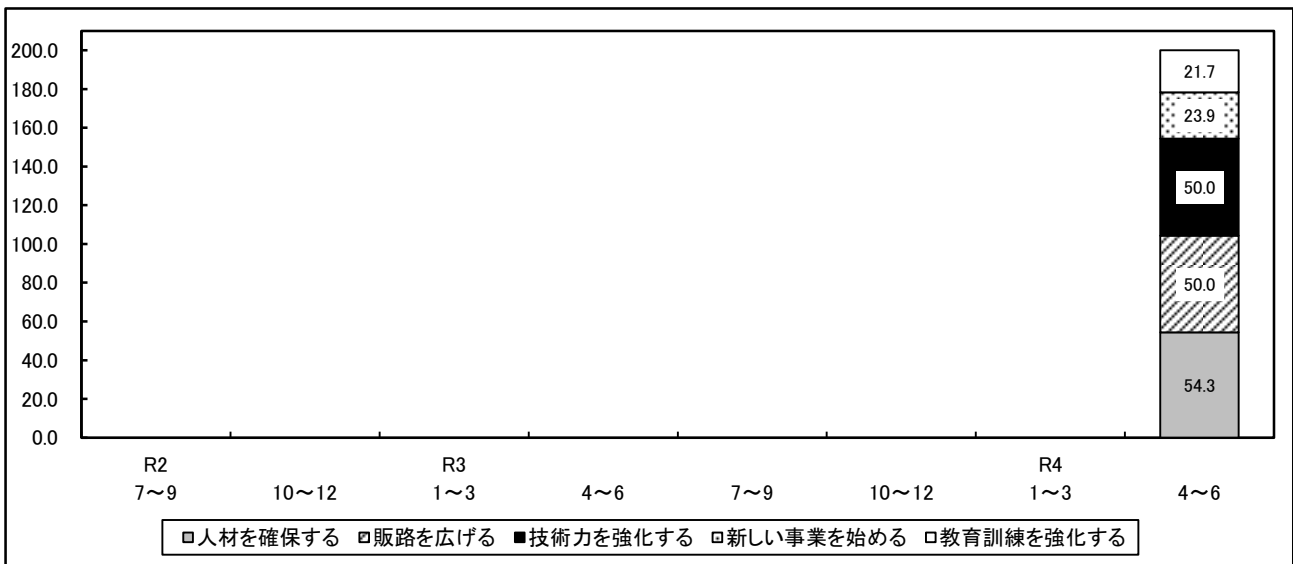


〈情報通信業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.7~9月期	R3.10~12月期	R4.1~3月期	R4.4~6月期
第1位				人手不足 40.0 %
第2位				売上の停滞・減少 33.3 %
第3位				技術力の不足 26.7 %
第4位				人件費の増加 24.4 %
第5位				同業者間の競争の激化 20.0 % 人件費以外の経費の増加 20.0 %

〈情報通信業〉 重点経営施策 (%)



	R3.7~9月期	R3.10~12月期	R4.1~3月期	R4.4~6月期
第1位				人材を確保する 54.3 %
第2位				販路を広げる 50.0 % 技術力を強化する 50.0 %
第3位				新しい事業を始める 23.9 %
第4位				教育訓練を強化する 21.7 %
第5位				経費を節減する 15.2 % 宣伝・広告を強化する 15.2 % 提携先を見つける 15.2 %

情報通信業 業種別コメント

1. 現状維持。
2. 一過性の需要があり、増収増益。
3. 需要は増えているが、採用できず人手不足になっている。
4. コロナ禍の影響で対面での営業活動ができず、売上現状維持に努めるしかなかったが、今期は面談の機会が増えるとともに商談の機会が増えた。人材不足を補うため、ベトナムでのオフショアに力を入れ始めているが、為替レートの変動による円安のためコストが上昇している。
5. イベントの中止や縮小が業績に影響。
6. 需要は多いが、人材と技術力不足により供給しきれていない。
7. テクノロジーの変化。
8. 受託がメインなので受託先の経営やビジネス状況に影響を受けてしまった。
9. 事業は堅調であるが、中・長期視点において競争力の向上が必要であり、現時点においては僅かな伸びにとどまっている。
10. 需要が増え、増収増益が続いている。
11. 人事単価の価格交渉の停滞、エンジニアの人材不足等。
12. 業務内容のレガシー化。安定雇用の難しさ。
13. ソフトウェア活用の需要は増しているが、エンジニア不足による対応難が続くと考えている。また、メンタル面でのケアは大きな課題となっている。
14. 事業転換するための基盤整備が完了し、2022年10月以降経営に寄与してくる予定。
15. テレワーク用のPCの購入等の設備投資は発生したが業務量は増える傾向にあり、売上も少しずつ伸びている。
16. 売上が変わらない状況で人件費(賃金)の増加により利幅の縮小が続く。世の中は賃金アップの考えが強いが、大手企業より仕事を請けている会社は単金が上がらないため売上も上がらず賃金ばかり上がり利幅が全くなっている。
17. 今年度は新卒・中途採用も更に難しくなってきたおり、人手不足が解消されない。
18. 中途採用が難しく、案件獲得が出来ないことがあった。顧客の事業の縮小のため、新規案件を獲得しなければならない。
19. ここ数年では1つの顧客からの売上で、少ない人員を保っている状況。新規開発の試作のような案件が少なくなったのが要因と考えられる。
20. スポンサー担当者の高齢化で受注案件が減少している。
21. 仕事が少数の会社に集中しており、今後のプロジェクトの状況の急転が懸念事項である。
22. 技術者の採用が難しい。
23. 人手不足(営業職と技術人材不足)。
24. 新しい商材を使って新しい事業を始めたがブランディング(マーケティング)が思ったより進まず、売上が上がらない。
25. コロナ禍による得意先での受注状況悪化により、下請業務減少の影響を受けている。販路の拡大を模索するも即効性は期待できず。資金繰り悪化に歯止めが効かない状況である。
26. 商品の輸送料金の高騰、円安でも顧客の不況で価格に転嫁できず減収減益が続いている。
27. 幼児教育分野のIT化やコロナ禍におけるソリューションの提供というビジネスモデルが今のところ時流に乗っていることもあり、増収が続いています。向こう1年程度は今後の成長に向けた人材採用や広告宣伝への積極的な投資を行う予定のため、利益自体は減少すると見込んでいます。
28. 一部職種で採用活動が思うようにできていない。
29. 需要に対する適正な人材確保ができず、成約数が伸び悩んでいる。経験者の採用ができずに社内体制の維持、強化ができない。
30. 顧客等の投資抑制に伴う売上の停滞。
31. テレワークを終了させ、事務所に従業員が全員戻り活気がある。

日 銀 矢 豆 雀 見

[調査対象企業数]

(2022年6月調査)

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,821社	5,492社	9,313社	99.3%
うち大企業	962社	859社	1,821社	99.3%
中堅企業	1,016社	1,580社	2,596社	99.3%
中小企業	1,843社	3,053社	4,896社	99.3%

		2021年度		2022年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	10.2	0.2	6.9	4.6
	国内	5.8	-0.7	6.9	3.5
	輸出	20.4	1.9	7.0	6.7
	非製造業	2.6	1.3	4.2	4.4
中堅企業	全産業	5.9	0.8	5.4	4.5
	製造業	9.5	-0.1	7.5	1.9
	非製造業	-1.8	-3.4	4.2	-2.4
中小企業	全産業	1.0	-2.6	5.1	-1.3
	製造業	7.6	0.8	2.8	0.9
	非製造業	3.0	0.7	1.4	1.1
全規模合計	全産業	4.0	0.7	1.7	1.0
	製造業	9.7	0.2	6.3	3.5
	非製造業	1.6	-0.1	3.3	1.6
	全産業	4.3	0.0	4.3	2.3

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2021年度			2022年度		
		上期	下期		上期	下期	
円/ドル	2022年3月調査	110.00	109.05	110.96	111.93	111.92	111.95
	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
円/ユーロ	2022年3月調査	128.01	128.11	127.92	128.18	128.17	128.20
	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65

(注)修正率・幅は、前回調査との対比。

[業況判断]

(「良い」-「悪い」%ポイント)

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

	2022年3月調査		2022年6月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
大企業						
製造業	14	9	9	-5	10	1
非製造業	9	7	13	4	13	0
全産業	11	8	11	0	11	0
中堅企業						
製造業	3	1	0	-3	-3	-3
非製造業	0	-3	6	6	1	-5
全産業	2	-1	3	1	0	-3
中小企業						
製造業	-4	-5	-4	0	-5	-1
非製造業	-6	-10	-1	5	-5	-4
全産業	-6	-8	-2	4	-5	-3
全規模合計						
製造業	2	0	1	-1	-1	-2
非製造業	-2	-5	4	6	0	-4
全産業	0	-3	2	2	-1	-3

		2022年3月調査		2022年6月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅			変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 〔「需要超過」-「供給超過」〕	製造業	-12	-12	-10	2	-11	-1
	うち素材業種	-17	-15	-16	1	-16	0
	加工業種	-9	-11	-7	2	-8	-1
海外での製商品需給判断 〔「需要超過」-「供給超過」〕	製造業	-3	-3	-2	1	-1	1
	うち素材業種	-9	-9	-8	1	-6	2
	加工業種	0	0	2	2	1	-1
製商品在庫水準判断 〔「過大」-「不足」〕	製造業	11	11	11	0		
	うち素材業種	12	14	14	2		
	加工業種	10	8	8	-2		
製商品流通在庫水準判断 〔「過大」-「不足」〕	製造業	4	2	2	-2		
	うち素材業種	9	11	11	2		
	加工業種	0	-3	-3			
販売価格判断 〔「上昇」-「下落」〕	製造業	23	32	35	12	43	8
	うち素材業種	33	44	45	12	50	5
	加工業種	16	25	29	13	40	11
	非製造業	12	20	21	9	27	6
仕入価格判断 〔「上昇」-「下落」〕	製造業	70	72	79	9	76	-3
	うち素材業種	71	72	78	7	72	-6
	加工業種	71	71	80	9	79	-1
	非製造業	48	55	58	10	60	2

東京都と品川区の企業倒産動向 (令和4年6月)

1. 東京都の倒産概況

	令和3年6月	令和4年5月	令和4年6月	(単位:件・億円)	
	件数	金額	前月比	前年同月比	
件数	102	100	116	▲16	14
金額	113	137	123	▲14	10

2. 原因別倒産動向

原因	件数	金額	前月比	前年同月比
放漫経営	7	14.0	2	1.1
過小資本	15	14.4	12	16.8
他社倒産の余波	12	16.8	76	74.8
既住のしわよせ	0	0.0	0	0.0
販売不振	0	0.0	2	1.4
売掛金回収難	1	0.9	1	0.2
信用性低下	0	0.0	0	0.0
在庫状態悪化	0	0.0	0	0.0
設備投資過大	0	0.0	2	1.4
その他	0	0.0	2	1.4

3. 業種別倒産動向

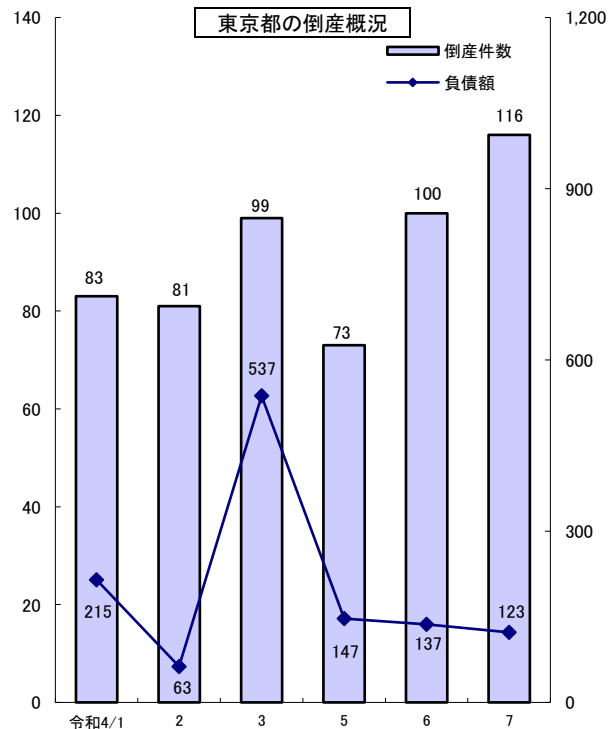
業種	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	6	7	8	29	22	6
卸売業	18	18	20	18	39	40
小売業	15	9	15	6	4	14
サービス業	8	22	33	4	22	35
建設業	15	10	12	19	13	13
不動産業	6	4	7	12	2	5
情報通信業・運輸業	15	11	12	14	3	6
宿泊業・飲食サービス業	12	9	6	10	3	3
その他	7	10	3	2	31	1
合計	102	100	116	113	137	123

4. 品川区内の令和4年3月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	1件	220百万円
小売業	1件	96百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	1件	50百万円
宿泊業・飲食サービス業	1件	25百万円
その他	0件	0百万円
合計	4件	391百万円

(件数)

(億円)



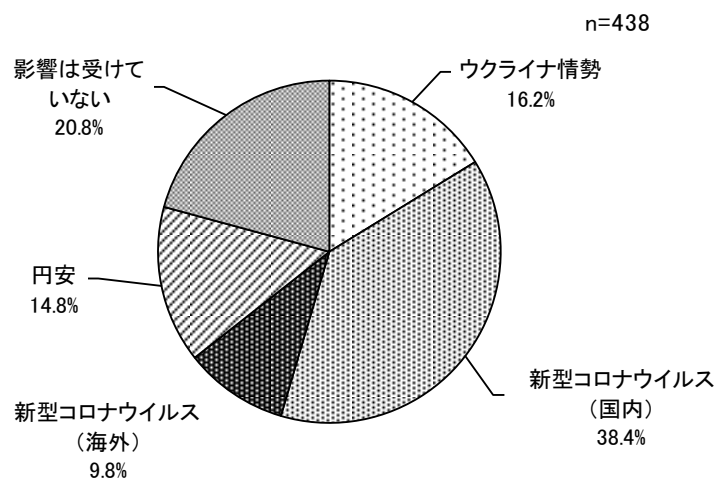
特別調査「企業活動への影響および円安・原材料価格変動による影響について」

- ① 企業活動に最もマイナスの影響を及ぼしている事象は「新型コロナウイルス（国内）」が38.4%で最多
- ② 具体的な影響については、「原油・原材料・仕入価格の高騰」が61.4%で最多
- ③ 行政に期待する支援は、「資金面での支援制度の拡充」が49.1%で最多
- ④ 円安・原材料価格変動の影響は『悪い影響を受けている』がそれぞれ6割超
- ⑤ 円安・原材料価格変動の対策は、「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が43.5%で最多

問1. 企業活動にマイナスの影響を及ぼしている事象

企業活動に最もマイナスの影響を及ぼしている事象は、「新型コロナウイルス（国内）」が38.4%と最も高く、次いで「ウクライナ情勢」が16.2%、「円安」が14.8%となっている。

業種別にみると、卸売業を除いた業種で「新型コロナウイルス（国内）」が最も高く、卸売業では「円安」が35.6%と最も高くなっている。また、情報通信業では「影響は受けていない」が50.0%と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



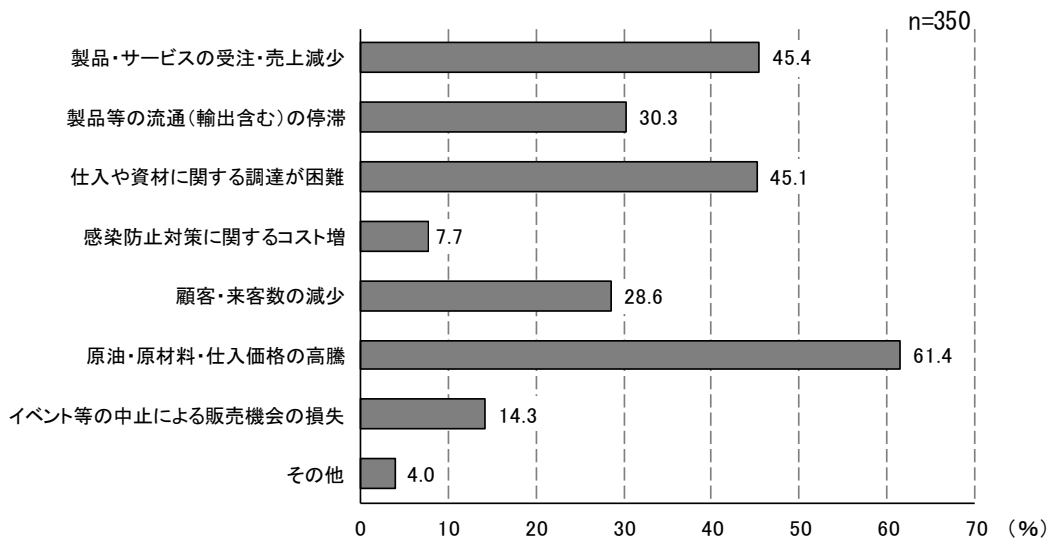
(単位：%)

	ウクライナ情勢	新型コロナウイルス（国内）	新型コロナウイルス（海外）	円安	影響は受けていない
全 体 (438) 件	16.2	38.4	9.8	14.8	20.8
製 造 業 (80) 件	25.0	37.5	15.0	10.0	12.5
卸 売 業 (90) 件	15.6	24.4	11.1	35.6	13.3
小 売 業 (47) 件	12.8	61.7	0.0	23.4	2.1
サービス業 (79) 件	15.2	44.3	6.3	6.3	27.8
建 設 業 (96) 件	18.8	36.5	15.6	5.2	24.0
情報通信業 (46) 件	2.2	37.0	2.2	8.7	50.0

問2. 具体的な影響

問1で「マイナスの影響が出ている」と回答した企業における具体的な影響については、全体では「原油・原材料・仕入価格の高騰」が61.4%と最も多く、次いで「製品・サービスの受注・売上減少」が45.4%、「仕入や資材に関する調達が困難」が45.1%となっている。

業種別では、製造業、卸売業、建設業では「原油・原材料・仕入価格の高騰」が最も高く、小売業では「顧客・来客数の減少」、サービス業と情報通信業では「製品・サービスの受注・売上減少」が最も高くなっている。また、製造業と建設業においては「仕入や資材に関する調達が困難」が5割を超え、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



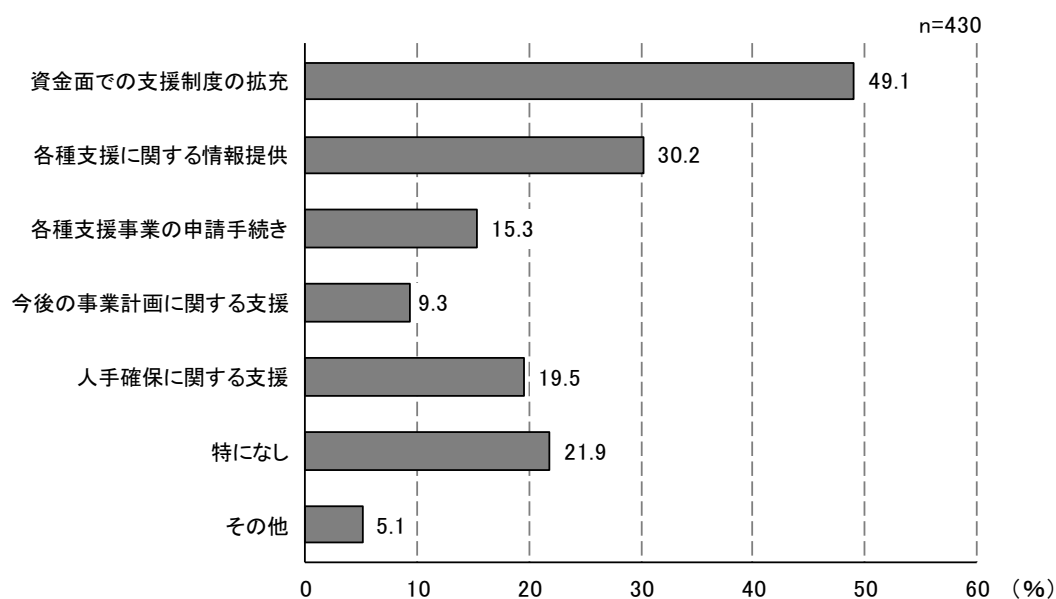
(単位: %)

	製品・サービスの受注・売上減少	製品等の流通(輸出含む)の停滞	仕入や資材に関する調達が困難	感染防止対策に関するコスト増	顧客・来客数の減少	原油・原材料・仕入価格の高騰	イベント等の中止による販売機会の損失	その他
全体 (350) 件	45.4	30.3	45.1	7.7	28.6	61.4	14.3	4.0
製造業 (71) 件	54.9	31.0	56.3	4.2	14.1	69.0	16.9	7.0
卸売業 (79) 件	44.3	40.5	44.3	1.3	25.3	74.7	16.5	1.3
小売業 (46) 件	43.5	21.7	30.4	10.9	65.2	56.5	19.6	4.3
サービス業 (57) 件	50.9	14.0	26.3	21.1	47.4	38.6	19.3	3.5
建設業 (74) 件	31.1	41.9	66.2	2.7	13.5	73.0	1.4	1.4
情報通信業 (23) 件	56.5	13.0	21.7	17.4	13.0	21.7	17.4	13.0

問3. 行政に期待する支援

行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が49.1%と最も多く、次いで「各種支援に関する情報提供」が30.2%、「人手確保に関する支援」が19.5%と続いた。また、「特になし」は21.9%となっている。

すべての業種において「資金面での支援制度の拡充」に回答が集中していることを示す結果となった。また、「人手確保に関する支援」は情報通信業が30.4%、小売業が28.9%、建設業が26.8%と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位：%)

	資金面での支援制度の拡充	各種支援に関する情報提供	各種支援事業の申請手続き	今後の事業計画に関する支援	人手確保に関する支援	特になし	その他
全体 (430) 件	49.1	30.2	15.3	9.3	19.5	21.9	5.1
製造業 (75) 件	54.7	30.7	17.3	8.0	13.3	21.3	8.0
卸売業 (89) 件	53.9	28.1	13.5	7.9	4.5	25.8	4.5
小売業 (45) 件	48.9	37.8	24.4	2.2	28.9	11.1	4.4
サービス業 (78) 件	48.7	33.3	10.3	15.4	21.8	23.1	3.8
建設業 (97) 件	47.4	25.8	13.4	12.4	26.8	23.7	2.1
情報通信業 (46) 件	34.8	30.4	19.6	4.3	30.4	19.6	10.9

問4. 円安・原材料価格変動の影響

円安の影響による収益の見込みについては、『悪い影響を受けている※1』が63.8%、「変わらない」が32.9%、『良い影響を受けている※2』が3.2%となっている。

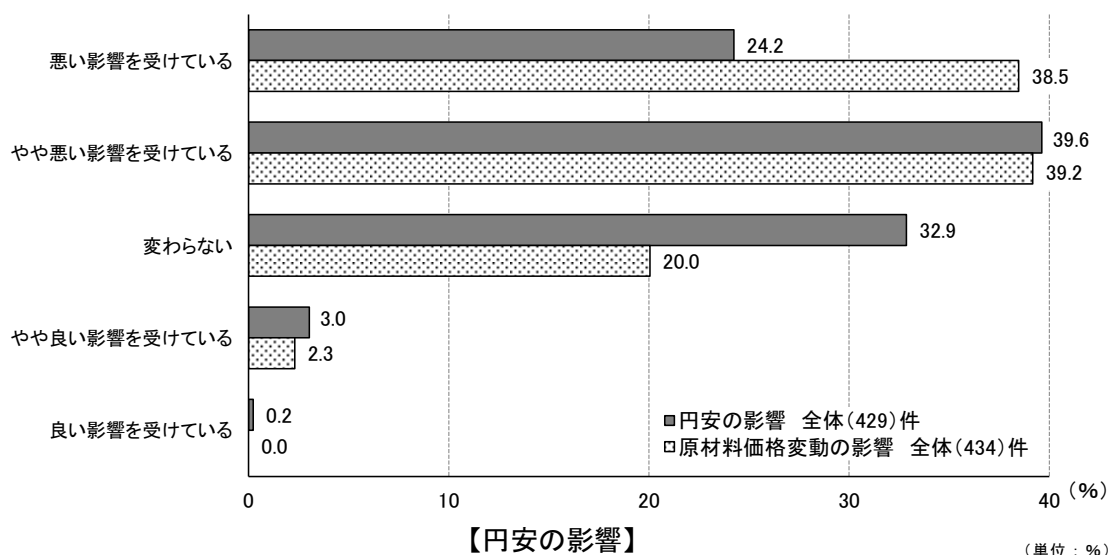
業種別にみると、卸売業と小売業では『悪い影響を受けている』が8割を超え、他の業種よりも回答割合が高くなっている。サービス業と情報通信業では「変わらない」5割を超え、他の業種よりも回答割合が高くなっている。

原材料価格変動の影響による収益の見込みについては、『悪い影響を受けている※1』が77.7%、「変わらない」が20.0%、『良い影響を受けている※2』が2.3%となっている。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業、建設業では『悪い影響を受けている』が8割を超え、サービス業、情報通信業よりも回答割合が高くなっている。情報通信業では「変わらない」6割を超え、他の業種よりも回答割合が高くなっている。

※1「悪い影響を受けている」と「やや悪い影響を受けている」を合算したもの。

※2「良い影響を受けている」と「やや良い影響を受けている」を合算したもの。



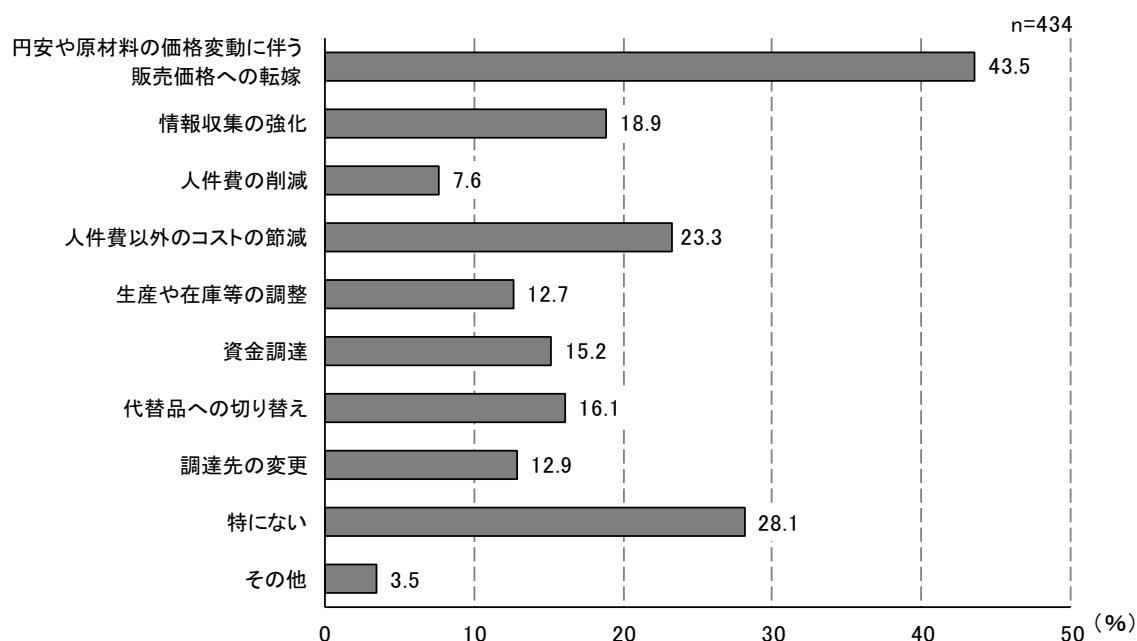
	悪い影響を受けている	やや悪い影響を受けている	変わらない	やや良い影響を受けている	良い影響を受けている
全 体 (429) 件	24.2	39.6	32.9	3.0	0.2
製 造 業 (73) 件	24.7	42.5	26.0	6.8	0.0
卸 売 業 (89) 件	44.9	37.1	14.6	3.4	0.0
小 売 業 (46) 件	43.5	39.1	15.2	0.0	2.2
サービス業 (79) 件	15.2	32.9	50.6	1.3	0.0
建 設 業 (97) 件	12.4	49.5	34.0	4.1	0.0
情報通信業 (45) 件	4.4	31.1	64.4	0.0	0.0

	悪い影響を受けている	やや悪い影響を受けている	変わらない	やや良い影響を受けている	良い影響を受けている
全 体 (434) 件	38.5	39.2	20.0	2.3	0.0
製 造 業 (78) 件	53.8	37.2	5.1	3.8	0.0
卸 売 業 (89) 件	48.3	44.9	6.7	0.0	0.0
小 売 業 (46) 件	58.7	30.4	10.9	0.0	0.0
サービス業 (80) 件	20.0	38.8	40.0	1.3	0.0
建 設 業 (97) 件	37.1	44.3	12.4	6.2	0.0
情報通信業 (44) 件	6.8	29.5	63.6	0.0	0.0

問5. 円安・原材料価格変動の対策

円安・原材料価格変動の対策については、「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が43.5%と最も高く、次いで「人件費以外のコストの節減」が23.3%「情報収集の強化」が18.9%となっている。また、「特にない」は28.1%となっている。

業種別にみると、サービス業と情報通信業を除いた業種で「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が最も高く、サービス業と情報通信業は「特にない」が最も高くなっている。また小売業では「人件費の削減」、「代替品への切り替え」、「調達先の変更」が、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位: %)

	円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁	情報収集の強化	人件費の削減	人件費以外のコストの節減	生産や在庫等の調整	資金調達	代替品への切り替え	調達先の変更	特にない	その他
全体 (434) 件	43.5	18.9	7.6	23.3	12.7	15.2	16.1	12.9	28.1	3.5
製造業 (79) 件	55.7	24.1	10.1	25.3	15.2	20.3	22.8	15.2	16.5	7.6
卸売業 (90) 件	66.7	17.8	3.3	23.3	22.2	22.2	15.6	10.0	14.4	4.4
小売業 (46) 件	56.5	13.0	21.7	19.6	17.4	8.7	34.8	23.9	23.9	6.5
サービス業 (77) 件	27.3	13.0	5.2	20.8	5.2	6.5	7.8	3.9	45.5	1.3
建設業 (98) 件	34.7	20.4	6.1	27.6	11.2	16.3	11.2	16.3	27.6	0.0
情報通信業 (44) 件	9.1	25.0	4.5	18.2	0.0	11.4	11.4	11.4	52.3	2.3

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和4年4月～6月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-48	-69	-26	-46	-83	-41
売上額		-30	-30	-1	-40	-72	-33
受注残		-27	-6	-10	-38	-66	-45
収益		-36	-47	-18	-39	-64	-30
販売価格		4	27	16	6	-36	2
原材料価格		80	93	81	80	56	94
原材料在庫		2	-19	7	9	5	0
資金繰り		-25	-13	-4	-40	-52	-34
雇用	残業時間	-27	-21	-4	-64	-40	-23
	人手	-7	7	-52	43	-7	8
同期比	売上額	-34	0	-12	-64	-67	-31
	収益	-44	-43	-19	-57	-87	-31
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	61	54	17	100	93	69
	②工場・機械の狭小・老朽化	13	15	22	0	7	15
	③利幅の縮小	11	0	13	23	0	15
	④同業者間の競争の激化	5	0	9	15	0	0
	⑤人手不足	13	8	35	0	7	0
重点経営施策	①経費を節減する	41	8	39	62	53	42
	②販路を広げる	53	54	30	77	67	50
	③情報力を強化する	13	15	17	8	13	8
	④新製品・技術を開発する	25	31	39	15	7	25
	⑤人材を確保する	20	23	35	15	13	0
借入の難易度		1	0	8	21	-33	8

[来期の景況見通し]

業況		-32	-39	2	-20	-83	-55
売上額		-6	-23	26	3	-52	-27
受注残		-22	-16	-10	-9	-42	-51
収益		-24	-39	7	-27	-62	-33
販売価格		13	22	24	22	-19	8
原材料価格		74	81	66	96	53	84
原材料在庫		-1	-6	-4	-4	9	-1
資金繰り		-18	-3	4	-20	-63	-32
雇用	残業時間	-19	-7	0	-50	-33	-15
	人手	-10	-7	-58	50	-7	8

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-32	-23	-39	-37
売上額		4	-20	17	-18
収益		-6	-17	2	-30
販売価格		28	13	39	15
仕入価格		72	61	88	54
在庫		9	10	3	19
資金繰り		-17	-29	-8	-23
雇用	残業時間	4	-11	11	0
	人手	-40	-56	-56	8
同期比	売上額	15	-33	39	0
	収益	0	-56	23	-8
	販売価格	41	33	54	18
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	57	56	42	92
	②商店街の集客力の低下	6	0	0	25
	③利幅の縮小	15	22	19	0
	④取引先の減少	6	11	8	0
	⑤人手不足	40	33	62	0
重点経営施策	①経費を節減する	56	56	58	50
	②品揃えを改善する	27	56	8	50
	③宣伝・広報を強化する	24	11	27	30
	④新しい事業を始める	24	56	19	10
	⑤商店街事業を活性化させる	7	11	4	10
借入の難易度		-9	0	-12	-9

[来期の景況見通し]

業況		-30	-11	-35	-42
売上額		-3	10	5	-28
収益		-14	-2	-9	-37
販売価格		34	16	44	17
仕入価格		71	62	78	60
在庫		5	6	-4	17
資金繰り		-21	-29	-12	-35
雇用	残業時間	0	-11	0	9
	人手	-42	-44	-63	8

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期		
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期						
業況	良い	5.3	3.5	10.0	4.1	16.7	5.1	8.3	10.3	10.1	11.1	9.9	13.2	18.9	8.7	11.0	8.1		16.3	
	普通	7.9	14.1	17.5	13.5	23.1	19.0	21.4	28.2	26.1	18.5	21.1	25.0	23.0	26.1	24.4	36.5		26.3	
	悪い	86.8	82.4	72.5	82.4	60.3	75.9	70.2	61.5	63.8	70.4	69.0	61.8	58.1	65.2	64.6	55.4		57.5	
	D・I	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9	-61.9	-51.3	-53.6	-59.3	-59.2	-48.5	-39.2	-56.5	-53.7	-47.3		-41.3	
	修正値	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	-59.1	-52.2	-44.8	-53.6	-61.4	-49.1	-48.5	-57.5	-48.2	-48.8	-2.0		-31.7
	傾向値	-54.6		-61.6		-64.3		-63.2		-58.9		-55.0		-54.0		-52.4				
売上額	増加	10.4	5.9	30.4	19.7	24.4	15.2	14.3	15.4	17.6	17.1	20.8	25.0	23.6	19.4	14.6	8.2		25.9	
	変らず	11.7	22.4	19.0	14.5	17.9	25.3	21.4	33.3	19.1	20.7	18.1	26.5	22.2	22.2	28.0	39.7		34.6	
	減少	77.9	71.8	50.6	65.8	57.7	59.5	64.3	51.3	63.2	62.2	61.1	48.5	54.2	58.3	57.3	52.1		39.5	
	D・I	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3	-50.0	-35.9	-45.6	-45.1	-40.3	-23.5	-30.6	-38.9	-42.7	-43.8		-13.6	
	修正値	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-38.5	-30.1	-37.6	-38.4	-50.4	-32.3	-34.6	-40.7	-29.6	-39.3	5.0		-6.3
	傾向値	-46.9		-49.1		-47.8		-45.0		-40.0		-39.8		-42.0		-40.7				
受注残	増加	9.2	5.9	18.8	16.0	21.8	10.1	13.3	11.5	8.7	18.1	14.1	16.2	12.5	11.3	15.9	9.6		17.3	
	変らず	23.7	23.5	30.0	28.0	21.8	32.9	32.5	34.6	29.0	26.5	39.4	36.8	38.9	43.7	36.6	43.8		38.3	
	減少	67.1	70.6	51.3	56.0	56.4	57.0	54.2	53.8	62.3	55.4	46.5	47.1	48.6	45.1	47.6	46.6		44.4	
	D・I	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8	-41.0	-42.3	-53.6	-37.3	-32.4	-30.9	-36.1	-33.8	-31.7	-37.0		-27.2	
	修正値	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-35.6	-43.5	-48.6	-33.0	-38.4	-34.2	-40.1	-32.4	-27.1	-37.2	13.0		-22.1
	傾向値	-46.4		-48.4		-47.5		-43.9		-41.0		-40.4		-40.6		-39.6				
収益	増加	10.4	8.3	23.8	18.4	17.9	14.1	14.3	11.5	13.0	13.3	23.6	17.6	18.9	18.1	15.9	5.5		17.3	
	変らず	18.2	17.9	16.3	15.8	20.5	25.6	23.8	21.8	24.6	21.7	16.7	25.0	29.7	25.0	19.5	39.7		32.1	
	減少	71.4	73.8	60.0	65.8	61.5	60.3	61.9	66.7	62.3	65.1	59.7	57.4	51.4	56.9	64.6	54.8		50.6	
	D・I	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2	-47.6	-55.1	-49.3	-51.8	-36.1	-39.7	-32.4	-38.9	-48.8	-49.3		-33.3	
	修正値	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-35.9	-52.7	-40.4	-44.7	-46.4	-45.1	-38.8	-41.3	-36.2	-45.8	3.0		-23.7
	傾向値	-51.8		-52.3		-52.1		-49.6		-45.7		-44.2		-42.8		-41.5				
価格動向	販売価格	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8	-20.2	-26.9	-15.9	-20.5	-7.0	-14.7	0.0	-9.9	3.7	8.1		13.6	
	〃 修正値	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-18.3	-27.9	-14.7	-19.2	-11.5	-15.4	-2.0	-10.3	4.3	3.3	6.0		12.9
	〃 傾向値	-14.2		-16.2		-19.0		-20.8		-20.1		-18.7		-14.3		-7.8				
	原材料価格	13.2	8.2	8.8	18.7	29.5	13.8	42.9	41.0	52.2	48.2	72.2	60.3	64.9	65.3	87.8	73.0		80.2	
	〃 修正値	14.3	7.7	10.1	17.3	22.7	17.6	38.7	34.0	49.8	42.0	71.4	53.2	58.2	69.8	80.4	67.6	22.0		73.7
	〃 傾向値	21.3		16.2		13.5		18.6		28.4		41.3		53.6		63.6				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	13.3	3.7	7.6	9.3	6.5	7.6	-2.4	6.5	-8.7	-2.4	-5.6	-10.3	-2.7	-8.5	2.4	-9.6		-1.2	
	〃 修正値	10.7	3.0	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.6	5.9	-9.8	-1.2	-2.9	-8.2	-1.1	-6.7	1.9	-9.9	3.0		-1.1
	資金繰り	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4	-40.0	-34.6	-31.4	-48.8	-38.9	-36.2	-27.4	-37.5	-28.0	-31.5		-22.2	
〃 修正値	-33.0	-49.7	-26.8	-36.7	-29.4	-36.1	-36.6	-36.1	-29.2	-43.7	-38.8	-34.4	-31.0	-39.7	-24.5	-34.1	7.0		-17.7	
前年同期比	売上額	-77.9		-73.9		-59.2		-32.1		-29.2		-37.3		-25.4		-34.1				
	収益	-76.6		-73.9		-60.6		-33.3		-40.0		-38.8		-31.7		-43.9				
雇用	残業時間	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6	-12.5	-29.4	-26.5	-22.2	-23.8	-23.8	-9.0	-10.9	-11.7	-10.6	-27.2	-33.3		-18.8	
	人手	15.6	10.8	7.4	16.9	-8.3	8.8	1.2	-1.4	9.5	2.4	-1.5	6.3	1.7	-6.1	-7.4	15.0		-10.0	
借入金	借入難易度	21.3		5.9		11.3		-7.3		-4.6		-3.0		1.6		1.2				
	借入をした(%)	46.1	36.0	38.8	26.9	36.2	26.2	40.5	34.3	29.0	21.1	24.2	11.7	27.0	17.2	24.7	18.3		24.4	
	借入をしな(%)	53.9	64.0	61.2	73.1	63.8	73.8	59.5	65.7	71.0	78.9	75.8	88.3	73.0	82.8	75.3	81.7		75.6	
有効回答事業所数		77		80		78		85		70		73		74		83				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期				
設備投資動向（％）	現在の設備	7.9	-4.9	-1.5	5.3	-4.2	-1.5	-2.4	-2.8	-7.8	-1.2	-13.8	-8.1	-24.2	-14.1	-7.4	-21.0			-8.8
	実施した	30.3	15.0	19.7	25.0	22.9	26.9	23.5	31.0	31.7	26.6	12.3	21.0	25.8	26.2	29.1	29.5			30.9
	投資内容																			
	事業用地・建物	1.3	2.5	4.5	0.0	4.3	3.0	3.7	2.8	1.6	2.5	1.5	3.2	1.6	4.6	3.8	1.6			3.7
	機械・設備の新・増設	9.2	6.3	1.5	6.6	4.3	6.0	9.9	9.9	12.7	8.9	4.6	6.5	12.9	9.2	15.2	13.1			12.3
	機械・設備の更改	6.6	3.8	9.1	9.2	5.7	11.9	8.6	11.3	17.5	10.1	7.7	6.5	4.8	10.8	10.1	9.8			16.0
	事務機器	11.8	6.3	13.6	9.2	12.9	9.0	8.6	12.7	6.3	7.6	7.7	8.1	11.3	9.2	11.4	9.8			8.6
	車両	9.2	3.8	3.0	7.9	10.0	6.0	4.9	7.0	6.3	6.3	3.1	9.7	12.9	7.7	2.5	11.5			2.5
	その他	1.3	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0	2.5	1.4	0.0	1.3	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0			0.0
	実施しない	69.7	85.0	80.3	75.0	77.1	73.1	76.5	69.0	68.3	73.4	87.7	79.0	74.2	73.8	70.9	70.5			69.1
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	83.1		76.1		70.8		80.2		71.9		69.7		68.3		60.5				
	人手不足	6.5		11.9		12.5		11.1		9.4		12.1		11.7		13.2				
	大手企業との競争の激化	2.6		3.0		0.0		3.7		3.1		1.5		0.0		0.0				
	同業者間の競争の激化	6.5		16.4		16.7		8.6		9.4		9.1		5.0		5.3				
	親企業による選別の強化	2.6		3.0		0.0		1.2		4.7		1.5		3.3		0.0				
	輸入製品との競争の激化	2.6		0.0		1.4		4.9		3.1		1.5		1.7		0.0				
	合理化の不足	10.4		7.5		6.9		4.9		7.8		6.1		5.0		7.9				
	利幅の縮小	20.8		23.9		20.8		28.4		15.6		16.7		13.3		10.5				
	原材料高	9.1		10.4		15.3		38.3		31.3		50.0		51.7		63.2				
	販売納入先からの値下げ要請	5.2		4.5		9.7		4.9		1.6		0.0		1.7		2.6				
	仕入先からの値上げ要請	3.9		3.0		4.2		12.3		15.6		15.2		25.0		30.3				
	人件費の増加	3.9		9.0		9.7		8.6		9.4		3.0		5.0		3.9				
	人件費以外の経費増加	9.1		7.5		8.3		2.5		3.1		9.1		13.3		11.8				
	工場・機械の狭小・老朽化	18.2		28.4		25.0		18.5		15.6		28.8		13.3		13.2				
	生産能力の不足	3.9		6.0		6.9		3.7		1.6		6.1		5.0		7.9				
	下請の確保難	3.9		10.4		6.9		1.2		4.7		4.5		0.0		2.6				
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		1.3				
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
	地場産業の衰退	2.6		3.0		2.8		1.2		1.6		1.5		0.0		1.3				
大手企業・工場の縮小・撤退	10.4		11.9		6.9		0.0		1.6		1.5		1.7		2.6					
為替レートの変動	3.9		3.0		4.2		1.2		0.0		1.5		1.7		3.9					
その他	7.8		6.0		4.2		3.7		4.7		3.0		3.3		10.5					
問題なし	3.9		1.5		0.0		1.2		4.7		3.0		3.3		0.0					
重点経営施策（％）	販路を広げる	56.0		53.6		59.2		56.0		56.5		53.0		48.3		52.6				
	経費を削減する	48.0		55.1		47.9		50.0		40.3		42.4		50.0		40.8				
	情報力を強化する	24.0		21.7		21.1		19.0		17.7		13.6		23.3		13.2				
	新製品・技術を開発する	26.7		21.7		21.1		26.2		21.0		19.7		21.7		25.0				
	不採算部門を整理・縮小する	4.0		7.2		4.2		9.5		6.5		7.6		0.0		6.6				
	提携先を見つける	9.3		5.8		12.7		9.5		6.5		15.2		13.3		10.5				
	機械化を推進する	5.3		2.9		12.7		4.8		4.8		7.6		10.0		10.5				
	人材を確保する	18.7		18.8		19.7		22.6		12.9		18.2		18.3		19.7				
	パート化を図る	4.0		2.9		1.4		1.2		1.6		1.5		3.3		3.9				
	教育訓練を強化する	9.3		11.6		18.3		10.7		12.9		13.6		16.7		13.2				
	労働条件を改善する	2.7		1.4		2.8		7.1		4.8		1.5		8.3		3.9				
	工場・機械を増設・移転する	4.0		5.8		5.6		3.6		6.5		4.5		6.7		7.9				
	不動産の有効活用を図る	4.0		4.3		7.0		3.6		8.1		4.5		5.0		3.9				
その他	1.3		2.9		0.0		2.4		1.6		1.5		1.7		1.3					
特になし	9.3		8.7		4.2		4.8		6.5		12.1		5.0		6.6					
有効回答事業所数		77		80		78		85		70		73		74		83				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期	
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期					
業況	良い	7.7	2.5	10.5	9.0	10.8	6.7	19.1	11.0	15.0	16.0	13.9	20.5	8.2	10.1	11.7	12.2		12.9
	普通	14.1	11.4	19.7	16.7	16.2	21.3	21.3	24.7	21.3	33.0	17.7	24.4	17.8	32.9	24.5	28.4		28.0
	悪い	78.2	86.1	69.7	74.4	73.0	72.0	59.6	64.4	63.8	51.1	68.4	55.1	74.0	57.0	63.8	59.5		59.1
	D・I	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3	-40.4	-53.4	-48.8	-35.1	-54.4	-34.6	-65.8	-46.8	-52.1	-47.3		-46.2
	修正値	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	-38.8	-50.4	-49.3	-36.2	-56.6	-39.2	-58.7	-45.5	-49.7	-38.4	9.0	-43.8
	傾向値	-61.5		-67.9		-69.7		-63.8		-55.4		-52.0		-51.9		-53.8			
売上額	増加	15.4	10.1	25.0	15.2	12.2	13.2	29.8	21.9	18.5	29.0	25.6	28.8	17.6	19.2	30.9	24.7		30.1
	変らず	14.1	19.0	17.1	21.5	24.3	28.9	24.5	30.1	22.2	31.2	17.9	25.0	16.2	33.3	13.8	32.9		26.9
	減少	70.5	70.9	57.9	63.3	63.5	57.9	45.7	47.9	59.3	39.8	56.4	46.3	66.2	47.4	55.3	42.5		43.0
	D・I	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7	-16.0	-26.0	-40.7	-10.8	-30.8	-17.5	-48.6	-28.2	-24.5	-17.8		-12.9
	修正値	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-6.9	-24.5	-40.6	-14.5	-39.8	-24.0	-42.6	-22.2	-19.8	-12.2	23.0	-16.5
	傾向値	-52.3		-54.4		-54.7		-47.3		-37.0		-35.0		-34.4		-35.1			
収益	増加	16.7	10.1	21.1	15.2	12.3	11.8	28.7	24.7	16.0	26.6	24.4	22.5	13.5	21.8	24.5	17.6		23.7
	変らず	11.5	16.5	22.4	19.0	21.9	28.9	24.5	24.7	18.5	34.0	17.9	31.3	18.9	25.6	21.3	32.4		30.1
	減少	71.8	73.4	56.6	65.8	65.8	59.2	46.8	50.7	65.4	39.4	57.7	46.3	67.6	52.6	54.3	50.0		46.2
	D・I	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4	-18.1	-26.0	-49.4	-12.8	-33.3	-23.8	-54.1	-30.8	-29.8	-32.4		-22.6
	修正値	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-12.1	-26.4	-49.0	-17.4	-41.7	-27.3	-46.4	-25.2	-27.9	-27.7	19.0	-26.0
	傾向値	-53.7		-55.4		-55.8		-48.6		-39.8		-38.8		-38.6		-40.2			
価格動向	販売価格	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5	6.4	0.0	3.7	10.6	12.7	13.8	18.7	6.3	38.3	33.8		40.4
	修正値	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	7.9	-6.7	1.4	12.1	10.7	13.2	14.6	5.7	34.6	24.2	20.0	37.8
	傾向値	-16.5		-19.3		-19.7		-14.8		-7.5		-1.1		6.5		14.3			
	仕入価格	16.9	-1.3	18.4	12.8	17.6	22.4	37.2	31.1	39.5	31.9	57.0	44.3	58.7	50.6	77.7	68.0		76.3
	修正値	17.8	1.8	16.1	12.1	17.7	20.8	32.8	26.6	35.4	31.6	53.8	39.6	57.9	49.8	68.7	60.9	11.0	72.9
	傾向値	11.4		10.0		12.6		18.3		25.4		33.0		43.0		53.1			
在庫・資金繰り	在庫数量	15.8	26.7	6.7	13.0	16.7	12.0	13.0	6.9	11.3	13.0	5.1	3.8	8.2	6.4	9.6	5.4		4.3
	修正値	15.6	29.4	10.7	12.3	14.3	11.1	12.8	7.7	11.3	14.2	8.7	4.7	6.1	5.6	8.3	6.6	2.0	3.4
	資金繰り	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9	-13.8	-13.3	-25.9	-21.3	-30.4	-37.5	-40.0	-29.1	-20.2	-26.7		-17.0
修正値	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.3	-13.3	-21.9	-17.4	-32.3	-33.9	-37.8	-32.1	-17.5	-26.1	20.0	-13.9	
前年同期比	売上額	-66.7		-50.0		-43.1		6.5		-16.0		-27.8		-44.0		-8.7			
	収益	-70.5		-58.6		-47.2		-1.1		-28.4		-38.0		-48.0		-25.8			
	販売価格	-31.2		-22.9		-8.3		12.1		6.3		7.6		22.7		53.3			
雇用	残業時間	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1	-23.4	-13.9	-11.3	-13.8	-5.1	-2.5	-2.7	-3.8	-21.3	0.0		-10.6
	人手	2.6	15.4	-2.9	0.0	1.4	-1.4	-6.5	-2.8	-8.6	-8.6	-16.5	-12.5	-13.5	-16.5	-19.1	-13.5		-17.0
借入金	借入難易度	2.6		10.1		0.0		-6.6		-11.3		-10.3		-10.8		-2.2			
	借入をした(%)	46.2	42.3	46.4	29.2	40.3	22.4	34.0	18.8	34.2	19.1	34.2	15.8	31.1	18.4	30.9	24.3		26.6
	借入をしな(%)	53.8	57.7	53.6	70.8	59.7	77.6	66.0	81.2	65.8	80.9	65.8	84.2	68.9	81.6	69.1	75.7		73.4
有効回答事業所数		79		76		75		94		81		80		76		94			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期	
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-8.3	-7.0	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-3.4	-2.9	-5.2	-2.3	-9.3	-3.9	-4.1	-12.0	-8.6	-2.8			-10.8	
	実施した	36.4	31.0	38.6	30.4	29.2	31.3	27.9	28.2	18.5	31.0	29.3	27.5	35.2	34.2	30.1	25.0			27.5	
	投資内容																				
	事業用地・建物	5.2	4.2	7.1	2.9	2.8	3.0	1.2	1.4	1.2	2.4	2.7	3.8	1.4	4.1	0.0	0.0			1.1	
	機械・設備の新・増設	5.2	7.0	5.7	2.9	1.4	7.5	5.8	0.0	2.5	4.8	4.0	1.3	2.8	4.1	4.3	2.8			6.6	
	機械・設備の更改	6.5	2.8	2.9	8.7	4.2	10.4	3.5	5.6	0.0	7.1	6.7	1.3	7.0	11.0	3.2	4.2			6.6	
	事務機器	20.8	18.3	24.3	17.4	16.7	14.9	19.8	22.5	11.1	14.3	13.3	13.8	21.1	16.4	20.4	19.4			14.3	
	車両	13.0	7.0	12.9	10.1	11.1	10.4	4.7	5.6	7.4	9.5	10.7	7.5	11.3	9.6	11.8	8.3			7.7	
	その他	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	2.5	1.4	0.0	0.0	0.0			4.4	
	実施しない	63.6	69.0	61.4	69.6	70.8	68.7	72.1	71.8	81.5	69.0	70.7	72.5	64.8	65.8	69.9	75.0			72.5	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	66.7		69.1		66.2		61.3		66.2		65.3		67.6		59.3					
	人手不足	14.1		11.8		19.7		12.9		9.1		14.7		8.1		11.6					
	同業者間の競争の激化	17.9		19.1		21.1		21.5		18.2		9.3		23.0		15.1					
	輸入製品との競争の激化	1.3		0.0		0.0		1.1		3.9		1.3		0.0		3.5					
	流通経路の変化による競争の激化	3.8		7.4		2.8		9.7		6.5		5.3		2.7		3.5					
	合理化の不足	7.7		11.8		4.2		5.4		6.5		2.7		2.7		1.2					
	小口注文・多頻度配送の増加	12.8		14.7		9.9		6.5		2.6		6.7		8.1		2.3					
	利幅の縮小	30.8		19.1		32.4		23.7		29.9		36.0		29.7		26.7					
	取扱商品の陳腐化	3.8		5.9		4.2		5.4		7.8		5.3		6.8		5.8					
	販売商品の不足	5.1		7.4		4.2		7.5		7.8		5.3		4.1		9.3					
	販売納入先からの値下げ要請	3.8		4.4		4.2		1.1		1.3		6.7		1.4		3.5					
	仕入先からの値上げ要請	6.4		10.3		12.7		18.3		16.9		30.7		36.5		39.5					
	人件費の増加	9.0		7.4		9.9		8.6		7.8		2.7		8.1		5.8					
	人件費以外の経費の増加	7.7		5.9		1.4		5.4		6.5		6.7		9.5		4.7					
	取引先の減少	26.9		26.5		18.3		23.7		26.0		22.7		18.9		11.6					
	店舗の狭小・老朽化	1.3		4.4		0.0		1.1		0.0		0.0		0.0		1.2					
	代金回収の悪化	1.3		1.5		2.8		2.2		2.6		5.3		4.1		1.2					
	地価の高騰	0.0		1.5		4.2		1.1		0.0		2.7		1.4		1.2					
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.4		2.3					
	天候の不順	5.1		1.5		4.2		1.1		3.9		1.3		0.0		1.2					
地場産業の衰退	2.6		0.0		5.6		2.2		0.0		1.3		1.4		1.2						
為替レートの変動	12.8		7.4		11.3		16.1		11.7		25.3		18.9		32.6						
大手企業・工場の縮小・撤退	9.0		2.9		4.2		4.3		2.6		1.3		4.1		5.8						
その他	3.8		2.9		4.2		2.2		7.8		4.0		6.8		2.3						
問題なし	2.6		4.4		4.2		4.3		5.2		1.3		4.1		3.5						
重点経営施策（％）	販路を広げる	59.0		69.1		59.2		67.4		69.6		64.9		64.9		63.4					
	経費を削減する	48.7		41.2		43.7		42.4		45.6		37.7		40.5		44.1					
	品揃えを充実する	10.3		13.2		21.1		13.0		8.9		13.0		20.3		15.1					
	情報力を強化する	35.9		27.9		22.5		32.6		31.6		29.9		27.0		33.3					
	新しい事業を始める	9.0		11.8		14.1		15.2		11.4		14.3		17.6		16.1					
	提携先を見つける	6.4		2.9		4.2		9.8		2.5		10.4		14.9		10.8					
	機械化を推進する	2.6		4.4		2.8		1.1		2.5		1.3		2.7		2.2					
	人材を確保する	19.2		23.5		19.7		22.8		12.7		23.4		17.6		14.0					
	パート化を図る	1.3		1.5		1.4		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0					
	教育訓練を強化する	10.3		16.2		7.0		8.7		10.1		7.8		9.5		7.5					
	流通経路の見直しをする	2.6		2.9		11.3		5.4		10.1		3.9		6.8		4.3					
	取引先を支援する	5.1		2.9		1.4		2.2		1.3		0.0		5.4		1.1					
	輸入品の取扱いを増やす	2.6		1.5		2.8		6.5		3.8		1.3		4.1		1.1					
	労働条件を改善する	3.8		5.9		7.0		1.1		2.5		1.3		2.7		2.2					
	不動産の有効活用を図る	3.8		7.4		2.8		2.2		5.1		3.9		2.7		2.2					
	その他	1.3		1.5		2.8		2.2		3.8		2.6		1.4		3.2					
特になし	9.0		7.4		9.9		4.3		6.3		7.8		5.4		7.5						
有効回答事業所数		79		76		75		94		81		80		76		94					

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期		
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期						
業況	良い	8.3	4.8	12.1	11.3	11.6	12.1	6.5	14.3	9.5	8.2	23.9	19.0	1.5	13.6	17.6	19.1		18.8	
	普通	6.9	14.3	13.8	15.5	14.5	3.4	14.5	15.7	12.7	21.3	17.9	15.9	22.1	24.2	29.4	20.6		29.4	
	悪い	84.7	81.0	74.1	73.2	73.9	84.5	79.0	70.0	77.8	70.5	58.2	65.1	76.5	62.1	52.9	60.3		51.8	
	D・I	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4	-72.6	-55.7	-68.3	-62.3	-34.3	-46.0	-75.0	-48.5	-35.3	-41.2		-32.9	
	修正値	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	-69.4	-52.4	-65.5	-58.5	-43.7	-51.4	-71.8	-48.3	-32.3	-37.2	39.0		-29.5
	傾向値	-68.7		-75.6		-74.6		-70.0		-67.3		-62.8		-61.0		-57.9				
売上額	増加	41.7	12.7	29.3	30.6	8.6	7.1	9.7	20.0	7.9	19.4	35.8	23.8	8.8	6.1	41.7	35.3		33.3	
	変らず	9.7	20.6	10.3	31.9	18.6	8.9	17.7	24.3	19.0	27.4	20.9	30.2	17.6	36.4	26.2	26.5		28.6	
	減少	48.6	66.7	60.3	37.5	72.9	83.9	72.6	55.7	73.0	53.2	43.3	46.0	73.5	57.6	32.1	38.2		38.1	
	D・I	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8	-62.9	-35.7	-65.1	-33.9	-7.5	-22.2	-64.7	-51.5	9.5	-2.9		-4.8	
	修正値	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-60.0	-33.8	-66.6	-28.4	-27.0	-37.9	-50.0	-41.5	4.3	-4.0	54.0		-3.2
	傾向値	-54.6		-49.2		-47.1		-43.2		-48.6		-52.9		-50.0		-41.0				
収益	増加	33.3	11.1	20.7	27.8	4.3	3.5	9.8	21.4	9.5	11.5	29.9	22.6	1.5	1.5	31.8	17.9		28.2	
	変らず	15.3	20.6	15.5	30.6	17.1	15.8	18.0	21.4	23.8	34.4	29.9	33.9	25.0	39.4	37.6	35.8		29.4	
	減少	51.4	68.3	63.8	41.7	78.6	80.7	72.1	57.1	66.7	54.1	40.3	43.5	73.5	59.1	30.6	46.3		42.4	
	D・I	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2	-62.3	-35.7	-57.1	-42.6	-10.4	-21.0	-72.1	-57.6	1.2	-28.4		-14.1	
	修正値	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-60.7	-34.1	-61.4	-39.2	-27.9	-35.5	-56.7	-48.0	-5.7	-26.8	51.0		-14.0
	傾向値	-61.2		-57.4		-55.6		-51.6		-54.3		-55.1		-50.8		-42.6				
価格動向	販売価格	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7	-9.7	-8.7	-19.4	-9.7	4.5	-8.1	7.4	0.0	31.8	13.4		34.1	
	〃 修正値	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-7.1	-12.4	-19.7	-2.0	-1.4	-11.4	8.7	0.4	27.8	6.6	19.0	34.0	
	〃 傾向値	-10.5		-11.7		-12.1		-10.4		-11.3		-11.9		-7.4		0.9				
	仕入価格	19.4	4.8	12.1	15.3	0.0	3.4	29.0	-4.3	17.7	32.3	58.2	24.2	64.7	43.9	82.4	59.7		80.0	
	〃 修正値	23.7	9.3	10.1	12.9	3.7	4.9	27.2	-0.8	19.3	32.1	50.6	19.1	65.3	41.9	72.4	61.5	7.0	70.7	
	〃 傾向値	14.3		10.9		9.0		11.9		14.9		20.5		34.3		49.1				
在庫・資金繰り	在庫数量	4.2	6.5	10.3	2.8	4.3	10.3	21.0	4.3	3.2	17.7	23.9	1.6	1.5	9.1	10.6	0.0		4.7	
	〃 修正値	4.1	9.6	10.4	2.9	3.7	9.4	18.5	1.8	4.9	17.8	21.6	3.4	3.9	7.8	8.7	0.4	5.0	4.5	
	資金繰り	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0	-30.6	-37.3	-36.5	-29.0	-27.9	-31.7	-32.4	-35.8	-14.1	-29.4		-20.0	
〃 修正値	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	-31.1	-34.2	-38.1	-28.1	-30.0	-34.5	-25.1	-34.7	-16.8	-25.5	8.0		-21.0	
前年同期比	売上額	-80.4		-90.9		-78.3		-27.7		-64.3		-5.1		-63.2		15.2				
	収益	-80.4		-88.6		-71.7		-34.0		-61.9		-23.7		-62.2		0.0				
	販売価格	-17.6		-22.7		-26.1		-6.4		-16.7		7.9		-8.1		41.3				
雇用	残業時間	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6	-34.0	-40.9	-21.4	-27.7	-5.3	-11.9	-24.3	-13.2	4.3	-8.1		0.0	
	人手	11.8	-1.7	0.0	11.8	-13.0	0.0	0.0	-19.6	-7.0	2.1	-33.3	-7.0	-24.3	-30.8	-39.6	-27.0		-41.7	
借入金	借入難易度	10.4		12.2		7.1		-13.0		-9.5		-8.1		-16.2		-8.9				
	借入をした(%)	64.0	29.5	59.1	23.8	62.2	29.7	45.7	23.7	45.5	20.5	54.1	15.0	21.6	24.3	17.0	9.1		15.6	
	借入をしない(%)	36.0	70.5	40.9	76.2	37.8	70.3	54.3	76.3	54.5	79.5	45.9	85.0	78.4	75.7	83.0	90.9		84.4	
有効回答事業所数		72		58		70		62		63		68		68		85				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期	
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-10.9	-15.9	-14.6	-13.3	-16.2	-12.2	-13.5	-13.5	-12.8	-13.5		-4.3
	実施した	23.9	20.8	31.0	20.9	28.6	15.0	21.4	31.0	22.0	21.4	24.3	25.6	27.8	29.7	42.6	28.6		43.2
	事業用地・建物	4.3	5.7	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	4.8	2.4	4.8	2.7	5.1	0.0	8.1	4.3	5.7		6.8
	機械・設備の新・増設	13.0	11.3	14.3	7.0	16.7	10.0	11.9	16.7	9.8	4.8	13.5	10.3	11.1	10.8	31.9	2.9		31.8
	機械・設備の更改	15.2	15.1	7.1	14.0	9.5	2.5	4.8	16.7	4.9	9.5	13.5	5.1	13.9	13.5	23.4	17.1		18.2
	事務機器	4.3	1.9	14.3	7.0	4.8	7.5	7.1	4.8	7.3	4.8	5.4	7.7	2.8	13.5	2.1	5.7		0.0
	車両	4.3	3.8	7.1	4.7	2.4	2.5	7.1	2.4	7.3	4.8	2.7	10.3	13.9	10.8	6.4	8.6		9.1
	その他	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9		4.5
	実施しない	76.1	79.2	69.0	79.1	71.4	85.0	78.6	69.0	78.0	78.6	75.7	74.4	72.2	70.3	57.4	71.4		56.8
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	88.0		88.1		86.0		81.8		86.0		70.3		86.1		57.4		
人手不足		12.0		14.3		18.6		13.6		14.0		18.9		27.8		40.4			
同業者間の競争の激化		12.0		7.1		11.6		15.9		11.6		10.8		5.6		6.4			
大型店との競争の激化		4.0		4.8		9.3		0.0		2.3		8.1		0.0		2.1			
輸入製品との競争の激化		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.1			
利幅の縮小		32.0		23.8		25.6		11.4		16.3		10.8		16.7		14.9			
取扱商品の陳腐化		2.0		2.4		7.0		6.8		7.0		13.5		5.6		4.3			
販売商品の不足		2.0		2.4		0.0		2.3		2.3		8.1		2.8		4.3			
販売納入先からの値下げ要請		0.0		2.4		2.3		0.0		0.0		0.0		2.8		0.0			
仕入先からの値上げ要請		2.0		2.4		4.7		13.6		16.3		21.6		38.9		48.9			
人件費の増加		12.0		9.5		16.3		15.9		16.3		24.3		11.1		25.5			
人件費以外の経費の増加		6.0		9.5		7.0		6.8		0.0		8.1		11.1		17.0			
取引先の減少		10.0		16.7		11.6		13.6		14.0		10.8		5.6		6.4			
商圏人口の減少		18.0		7.1		7.0		2.3		2.3		2.7		5.6		4.3			
商店街の集客力の低下		18.0		31.0		11.6		9.1		14.0		16.2		11.1		6.4			
店舗の狭小・老朽化		4.0		2.4		4.7		6.8		4.7		8.1		8.3		2.1			
代金回収の悪化		2.0		0.0		2.3		0.0		2.3		2.7		5.6		2.1			
地価の高騰		2.0		0.0		4.7		4.5		4.7		0.0		0.0		0.0			
駐車場の確保難		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
天候の不順		10.0		9.5		7.0		9.1		18.6		10.8		2.8		10.6			
地場産業の衰退	0.0		4.8		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0				
大手企業・工場の縮小・撤退	2.0		0.0		2.3		2.3		0.0		2.7		0.0		0.0				
その他	8.0		7.1		9.3		20.5		16.3		5.4		2.8		4.3				
問題なし	2.0		2.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.1				
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	28.6		31.7		26.2		34.0		25.6		26.3		37.8		26.7			
	経費を節減する	67.3		73.2		54.8		53.2		48.8		60.5		64.9		55.6			
	宣伝・広報を強化する	22.4		22.0		23.8		29.8		23.3		23.7		16.2		24.4			
	新しい事業を始める	20.4		19.5		21.4		27.7		16.3		15.8		18.9		24.4			
	店舗・設備を改装する	10.2		9.8		14.3		14.9		9.3		15.8		10.8		8.9			
	仕入先を開拓・選別する	8.2		4.9		4.8		17.0		20.9		28.9		13.5		15.6			
	営業時間を延長する	2.0		2.4		14.3		4.3		7.0		5.3		10.8		4.4			
	売れ筋商品を取扱う	24.5		14.6		14.3		23.4		14.0		15.8		18.9		8.9			
	商店街事業を活性化させる	6.1		17.1		11.9		6.4		2.3		2.6		2.7		6.7			
	機械化を推進する	4.1		2.4		0.0		6.4		4.7		5.3		0.0		8.9			
	人材を確保する	12.2		9.8		11.9		8.5		16.3		26.3		29.7		33.3			
	パート化を図る	4.1		4.9		9.5		4.3		2.3		2.6		5.4		4.4			
	教育訓練を強化する	8.2		7.3		9.5		4.3		7.0		2.6		0.0		4.4			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		2.6		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	2.0		0.0		4.8		2.1		0.0		5.3		2.7		0.0			
	その他	0.0		7.3		2.4		4.3		0.0		0.0		5.4		4.4			
特になし	10.2		7.3		2.4		6.4		9.3		5.3		2.7		4.4				
有効回答事業所数		72		58		70		62		63		68		68		85			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		
業況	良い	7.0	8.9	4.1	4.2	8.2	2.7	12.3	4.1	14.5	8.8	18.9	14.7	22.4	12.3	18.3	14.7		19.5	
	普通	15.5	24.1	23.0	25.0	23.3	29.7	16.0	28.8	23.2	31.3	29.7	26.5	31.6	41.1	31.7	38.7		40.2	
	悪い	77.5	67.1	73.0	70.8	68.5	67.6	71.6	67.1	62.3	60.0	51.4	58.8	46.1	46.6	50.0	46.7		40.2	
	D・I	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9	-59.3	-63.0	-47.8	-51.3	-32.4	-44.1	-23.7	-34.2	-31.7	-32.0		-20.7	
	修正値	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	-56.8	-60.6	-45.7	-48.7	-35.4	-44.2	-21.8	-38.2	-25.7	-26.4	-4.0		-18.8
	傾向値	-47.9		-62.0		-68.2		-66.2		-61.9		-54.5		-45.4		-37.4				
売上額	増加	20.8	21.8	16.2	14.1	11.0	5.4	19.8	12.3	15.9	22.5	31.1	14.7	27.3	16.2	29.3	25.0		28.4	
	変らず	22.2	25.6	24.3	39.4	31.5	33.8	19.8	37.0	26.1	32.5	28.4	36.8	29.9	43.2	30.5	35.5		39.5	
	減少	56.9	52.6	59.5	46.5	57.5	60.8	60.5	50.7	58.0	45.0	40.5	48.5	42.9	40.5	40.2	39.5		32.1	
	D・I	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4	-40.7	-38.4	-42.0	-22.5	-9.5	-33.8	-15.6	-24.3	-11.0	-14.5		-3.7	
	修正値	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	-38.3	-36.6	-38.6	-23.5	-20.7	-35.2	-9.3	-20.6	-8.4	-10.2	1.0		-9.4
	傾向値	-46.2		-49.2		-50.4		-45.0		-42.4		-38.9		-30.8		-23.2				
収益	増加	16.7	16.7	16.2	15.5	8.2	8.1	14.8	9.6	15.9	20.0	25.7	11.8	28.6	13.5	27.2	23.7		24.4	
	変らず	22.2	26.9	24.3	36.6	32.9	36.5	23.5	38.4	27.5	33.8	32.4	39.7	28.6	44.6	29.6	42.1		40.2	
	減少	61.1	56.4	59.5	47.9	58.9	55.4	61.7	52.1	56.5	46.3	41.9	48.5	42.9	41.9	43.2	34.2		35.4	
	D・I	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3	-46.9	-42.5	-40.6	-26.3	-16.2	-36.8	-14.3	-28.4	-16.0	-10.5		-11.0	
	修正値	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-42.3	-38.2	-38.4	-27.6	-26.3	-37.5	-12.3	-28.3	-9.3	-4.5	3.0		-14.8
	傾向値	-44.6		-49.2		-52.1		-49.0		-45.8		-42.0		-34.0		-25.6				
価格動向	料金価格	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2	-11.3	-4.1	-4.4	-5.1	-2.7	3.0	6.6	-1.4	15.9	9.3		7.3	
	修正値	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	-10.1	-5.1	-4.1	-4.5	-4.3	0.5	4.2	-1.2	14.8	7.0	11.0	8.2	
	傾向値	-13.6		-17.0		-18.0		-16.0		-13.0		-9.6		-5.3		0.4				
	材料価格	0.0	2.7	4.2	0.0	12.5	4.2	14.3	13.9	16.2	15.8	25.0	17.9	41.9	22.2	53.1	39.2		48.1	
	修正値	2.9	5.1	5.5	2.0	10.3	4.2	13.4	12.3	19.4	16.3	24.3	19.3	35.5	20.4	47.0	33.4	11.0	45.1	
	傾向値	14.6		9.8		7.4		7.1		9.8		14.4		20.7		29.2				
在庫・資金繰り	資金繰り	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4	-28.4	-31.5	-21.7	-21.3	-12.2	-20.6	-13.0	-20.3	-11.0	-18.4		-17.1	
	修正値	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	-24.9	-29.1	-23.3	-18.9	-16.1	-20.8	-9.4	-23.9	-6.4	-14.2	3.0	-14.3	
前年同期比	売上額	-53.3		-50.0		-43.8		-12.5		-26.9		-11.6		-12.9		3.7				
	収益	-56.7		-48.4		-45.3		-20.0		-19.7		-13.0		-16.1		-7.2				
雇用	残業時間	-26.7	-38.4	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9	-28.8	-20.3	-18.8	-17.7	-17.4	-17.4	-12.9	-10.1	-8.4	-11.5		-4.8	
	人手	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7	-27.5	-21.9	-37.7	-26.6	-49.3	-36.2	-41.9	-49.3	-43.9	-32.8		-46.3	
借入金	借入難易度	-9.8		-5.1		-1.6		1.3		1.5		9.1		5.0		0.0				
	借入をした(%)	32.3	23.9	37.1	16.9	34.4	12.5	31.6	20.7	28.4	8.1	22.1	10.8	35.0	7.7	22.5	20.7		17.9	
	借入をしない(%)	67.7	76.1	62.9	83.1	65.6	87.5	68.4	79.3	71.6	91.9	77.9	89.2	65.0	92.3	77.5	79.3		82.1	
有効回答事業所数		72		74		74		81		69		75		77		83				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期				
設備投資動向（％）	現在の設備	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-9.0	-15.6	-2.9	-7.8	-16.2	-1.5	-19.7	-16.2	-15.7	-13.3	-18.3
	実施した	25.0	20.9	26.7	17.5	34.4	22.4	24.4	35.5	28.8	25.7	27.9	25.8	36.1	31.3	33.8	33.9	32.5
	投資内容																	
	事業用地・建物	3.3	6.0	3.3	1.8	4.7	5.2	0.0	6.5	1.5	4.1	1.5	1.5	4.9	6.0	3.8	6.8	2.5
	機械・設備の新・増設	13.3	6.0	3.3	7.0	7.8	3.4	3.8	3.2	4.5	6.8	4.4	1.5	9.8	10.4	6.3	13.6	6.3
	機械・設備の更改	8.3	7.5	10.0	5.3	10.9	13.8	6.4	16.1	10.6	8.1	11.8	15.2	9.8	13.4	16.3	11.9	13.8
	事務機器	8.3	6.0	8.3	5.3	9.4	5.2	10.3	8.1	12.1	10.8	10.3	7.6	21.3	9.0	15.0	15.3	12.5
	車両	10.0	10.4	13.3	10.5	15.6	5.2	16.7	16.1	16.7	13.5	14.7	12.1	14.8	11.9	16.3	10.2	18.8
	その他	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6	1.7	1.3	3.2	0.0	1.4	1.5	0.0	1.6	1.5	2.5	3.4	1.3
	実施しない	75.0	79.1	73.3	82.5	65.6	77.6	75.6	64.5	71.2	74.3	72.1	74.2	63.9	68.7	66.3	66.1	67.5
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	67.2		62.3		58.7		60.3		58.2		51.5		63.8		45.7		
	人手不足	31.1		34.4		34.9		30.8		32.8		42.6		37.9		43.2		
	同業者間の競争の激化	14.8		16.4		12.7		15.4		29.9		22.1		17.2		19.8		
	大手企業との競争の激化	1.6		1.6		3.2		2.6		3.0		4.4		3.4		1.2		
	合理化の不足	4.9		8.2		7.9		9.0		4.5		2.9		6.9		3.7		
	利幅の縮小	19.7		18.0		22.2		14.1		10.4		16.2		19.0		18.5		
	取扱事務の陳腐化	1.6		0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		1.7		0.0		
	材料価格の上昇	1.6		4.9		7.9		7.7		13.4		11.8		22.4		22.2		
	料金の値下げ要請	3.3		4.9		3.2		3.8		4.5		2.9		3.4		3.7		
	人件費の増加	19.7		19.7		25.4		20.5		25.4		29.4		22.4		19.8		
	人件費以外の経費の増加	3.3		8.2		9.5		5.1		7.5		2.9		1.7		11.1		
	技術力の不足	4.9		11.5		7.9		12.8		11.9		19.1		10.3		7.4		
	取引先の減少	13.1		13.1		17.5		12.8		10.4		14.7		15.5		12.3		
	商圏人口の減少	0.0		1.6		0.0		1.3		3.0		2.9		0.0		0.0		
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		0.0		0.0		
	駐車場の確保難	1.6		3.3		4.8		0.0		3.0		0.0		0.0		1.2		
	店舗・設備の狭小・老朽化	3.3		1.6		4.8		5.1		4.5		5.9		0.0		4.9		
	代金回収の悪化	1.6		1.6		1.6		1.3		1.5		2.9		0.0		1.2		
	天候の不順	0.0		3.3		1.6		2.6		4.5		2.9		3.4		4.9		
	地場産業の衰退	0.0		1.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
大手企業・工場の縮小・撤退	3.3		4.9		1.6		0.0		0.0		2.9		1.7		0.0			
その他	6.6		4.9		6.3		9.0		6.0		4.4		10.3		2.5			
問題なし	1.6		3.3		3.2		2.6		3.0		2.9		5.2		7.4			
重点経営施策（％）	販路を広げる	44.1		36.2		44.4		37.2		45.6		39.7		34.4		41.0		
	経費を削減する	55.9		48.3		41.3		44.9		33.8		36.8		41.0		48.2		
	宣伝・広告を強化する	8.5		8.6		9.5		9.0		17.6		16.2		8.2		13.3		
	新しい事業を始める	20.3		15.5		15.9		19.2		22.1		23.5		21.3		13.3		
	店舗・設備を改装する	1.7		3.4		6.3		3.8		4.4		5.9		3.3		8.4		
	提携先を見つける	5.1		12.1		6.3		6.4		7.4		8.8		11.5		9.6		
	技術力を強化する	15.3		17.2		20.6		17.9		20.6		20.6		19.7		15.7		
	機械化を促進する	1.7		1.7		4.8		3.8		2.9		4.4		8.2		8.4		
	人材を確保する	32.2		32.8		39.7		35.9		44.1		41.2		39.3		44.6		
	パート化を図る	0.0		1.7		3.2		3.8		0.0		2.9		3.3		0.0		
	教育訓練を強化する	13.6		15.5		14.3		19.2		13.2		14.7		14.8		20.5		
	労働条件を改善する	13.6		8.6		9.5		11.5		2.9		13.2		11.5		13.3		
	不動産の有効活用を図る	3.4		3.4		3.2		1.3		2.9		4.4		3.3		2.4		
	その他	1.7		5.2		1.6		1.3		2.9		2.9		1.6		1.2		
特になし	3.4		3.4		3.2		5.1		5.9		1.5		6.6		2.4			
有効回答事業所数		72		74		74		81		69		75		77		83		

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		
業況	良い	2.5	3.2	3.9	12.7	9.3	6.5	8.6	8.1	12.7	12.0	18.9	10.1	18.4	14.9	10.8	10.7			19.6
	普通	26.6	17.2	37.7	27.8	36.0	39.0	29.0	39.2	24.1	22.8	33.8	35.4	32.9	40.5	29.4	34.7			31.4
	悪い	70.9	79.6	58.4	59.5	54.7	54.5	62.4	52.7	63.3	65.2	47.3	54.4	48.7	44.6	59.8	54.7			49.0
	D・I	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1	-53.8	-44.6	-50.6	-53.3	-28.4	-44.3	-30.3	-29.7	-49.0	-44.0			-29.4
	修正値	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	-42.4	-37.3	-43.7	-46.4	-35.6	-47.5	-38.4	-37.0	-35.6	-38.3	3.0		-17.9
	傾向値	-37.6		-49.8		-57.9		-57.9		-53.3		-47.8		-42.6		-40.2				
売上額	増加	13.9	14.0	15.6	29.1	17.1	16.9	11.8	14.9	17.7	18.5	28.4	17.7	18.2	20.3	9.8	14.7			23.5
	変らず	22.8	17.2	35.1	16.5	35.5	32.5	25.8	27.0	21.5	27.2	25.7	30.4	36.4	31.1	28.4	36.0			29.4
	減少	63.3	68.8	49.4	54.4	47.4	50.6	62.4	58.1	60.8	54.3	45.9	51.9	45.5	48.6	61.8	49.3			47.1
	D・I	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8	-50.5	-43.2	-43.0	-35.9	-17.6	-34.2	-27.3	-28.4	-52.0	-34.7			-23.5
	修正値	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	-31.5	-22.2	-39.4	-35.1	-29.8	-43.9	-36.4	-33.7	-32.5	-12.9	4.0		-20.6
	傾向値	-36.9		-43.3		-45.9		-43.4		-40.2		-37.4		-35.0		-34.8				
受注残	増加	6.3	14.3	7.8	26.6	14.5	14.3	8.7	13.5	18.2	12.2	24.7	15.6	10.5	13.7	9.9	10.7			19.8
	変らず	35.4	23.1	53.2	24.1	38.2	41.6	38.0	35.1	33.8	34.4	37.0	44.2	48.7	43.8	36.6	40.0			33.7
	減少	58.2	62.6	39.0	49.4	47.4	44.2	53.3	51.4	48.1	53.3	38.4	40.3	40.8	42.5	53.5	49.3			46.5
	D・I	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9	-44.6	-37.8	-29.9	-41.1	-13.7	-24.7	-30.3	-28.8	-43.6	-38.7			-26.7
	修正値	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	-33.7	-23.0	-27.0	-40.7	-26.4	-32.9	-32.0	-31.8	-29.7	-25.6	2.0		-24.5
	傾向値	-38.1		-43.1		-45.5		-43.1		-37.4		-32.4		-29.9		-29.5				
施工高	増加	11.8	14.3	14.3	28.9	20.3	14.5	9.9	13.5	17.9	20.9	23.3	21.8	18.2	19.2	11.0	10.5			25.0
	変らず	25.0	17.6	40.3	18.4	37.8	32.9	26.4	25.7	21.8	27.5	35.6	28.2	35.1	32.9	26.0	34.2			31.0
	減少	63.2	68.1	45.5	52.6	41.9	52.6	63.7	60.8	60.3	51.6	41.1	50.0	46.8	47.9	63.0	55.3			44.0
	D・I	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2	-53.8	-47.3	-42.3	-30.8	-17.8	-28.2	-28.6	-28.8	-52.0	-44.7			-19.0
	修正値	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	-35.5	-29.6	-36.7	-30.8	-30.7	-37.5	-39.2	-32.7	-30.9	-26.5	8.0		-19.0
	傾向値	-36.7		-42.2		-44.6		-42.1		-38.4		-35.6		-34.8		-35.4				
収益	増加	7.6	14.0	9.1	20.3	18.4	10.4	6.5	12.0	16.7	17.4	23.0	15.4	23.4	16.2	12.7	13.2			20.6
	変らず	30.4	14.0	40.3	27.8	32.9	36.4	31.2	29.3	26.9	28.3	33.8	34.6	27.3	33.8	26.5	25.0			33.3
	減少	62.0	72.0	50.6	51.9	48.7	53.2	62.4	58.7	56.4	54.3	43.2	50.0	49.4	50.0	60.8	61.8			46.1
	D・I	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9	-55.9	-46.7	-39.7	-37.0	-20.3	-34.6	-26.0	-33.8	-48.0	-48.7			-25.5
	修正値	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	-40.9	-30.3	-35.5	-35.4	-34.2	-43.5	-34.5	-37.9	-29.9	-33.2	5.0		-23.3
	傾向値	-40.2		-46.5		-49.5		-47.3		-43.7		-39.2		-36.0		-34.5				
価格動向	請負価格	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3	-23.7	-32.0	-28.2	-31.5	-28.4	-29.9	-23.4	-24.3	-34.7	-27.6			-23.8
	// 修正値	-37.9	-41.0	-33.4	-29.7	-31.6	-30.9	-17.1	-25.8	-23.4	-29.1	-32.7	-32.7	-28.2	-28.0	-29.0	-21.1	-1.0		-20.3
	// 傾向値	-31.3		-35.2		-36.5		-33.6		-28.7		-27.0		-26.4		-27.3				
	材料価格	18.7	21.6	16.0	16.0	20.3	16.0	34.4	23.3	37.3	37.1	58.3	38.7	61.6	58.3	80.6	68.5			81.6
	// 修正値	18.6	26.2	17.2	16.2	18.5	16.3	34.2	21.5	33.6	37.0	54.6	35.6	57.6	53.8	75.3	62.8	18.0		76.9
	// 傾向値	34.0		26.6		20.7		20.4		24.7		32.3		42.8		53.7				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	9.5	-2.3	5.4	6.8	-2.7	5.4	5.6	-5.6	5.3	2.3	-7.0	1.3	-2.8	-7.0	-18.3	-5.6			-18.3
	// 修正値	7.1	0.4	3.7	5.2	0.0	3.9	6.8	-4.8	3.4	4.4	-7.1	-0.1	1.1	-7.1	-15.9	-3.6	-17.0		-15.0
	資金繰り	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7	-30.1	-22.7	-27.8	-26.1	-29.7	-34.2	-30.3	-28.4	-27.0	-30.7			-27.0
// 修正値	-27.6	-39.9	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	-26.2	-18.4	-29.4	-22.9	-28.5	-36.8	-30.0	-29.1	-23.9	-27.1	6.0		-24.8	
前年同期比	売上額	-71.8		-52.6		-40.9		-40.2		-38.0		-29.7		-22.4		-34.3				
	収益	-70.5		-55.3		-38.8		-49.5		-43.0		-37.8		-29.7		-39.0				
雇用	残業時間	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1	-26.9	-29.9	-25.3	-19.6	-13.5	-19.0	-14.7	-21.6	-28.7	-27.0			-15.8
	人手	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2	-25.8	-20.6	-25.3	-30.4	-36.5	-32.9	-35.5	-37.8	-29.4	-28.0			-40.2
借入金	借入難易度	2.9		4.1		-6.0		-3.4		-5.3		-8.2		-2.8		2.0				
	借入をした(%)	37.7	35.3	30.7	18.3	34.3	13.3	36.3	25.0	31.2	17.2	35.6	21.9	33.3	22.9	31.3	12.7			25.3
	借入をしない(%)	62.3	64.7	69.3	81.7	65.7	86.7	63.7	75.0	68.8	82.8	64.4	78.1	66.7	77.1	68.7	87.3			74.7
有効回答事業所数		79		77		76		93		79		74		77		102				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		対 前期比	R4 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期				
設備投資動向（％）	現在の設備	-3.9	-9.0	-6.8	-1.3	-10.4	-6.8	-13.6	-7.5	-11.8	-16.1	-11.3	-13.2	-10.8	-14.1	-17.3	-8.0	-12.4
	実施した	31.1	22.9	35.1	26.0	36.4	36.1	23.5	24.2	26.4	18.4	31.4	26.8	25.0	28.4	39.0	25.4	29.8
	事業用地・建物	4.1	3.6	4.1	4.1	3.0	2.8	3.5	1.5	1.4	3.4	4.3	4.2	5.6	3.0	4.0	4.2	3.2
	機械・設備の新・増設	8.1	7.2	6.8	8.2	9.1	6.9	4.7	6.1	4.2	4.6	5.7	1.4	5.6	4.5	9.0	4.2	6.4
	機械・設備の更改	6.8	4.8	6.8	5.5	6.1	9.7	2.4	4.5	2.8	4.6	5.7	7.0	2.8	6.0	7.0	2.8	6.4
	事務機器	13.5	10.8	24.3	15.1	24.2	23.6	11.8	12.1	13.9	10.3	15.7	11.3	12.5	14.9	13.0	12.7	11.7
	車両	20.3	8.4	18.9	12.3	15.2	18.1	11.8	15.2	16.7	4.6	11.4	14.1	11.1	11.9	23.0	9.9	18.1
	その他	1.4	0.0	1.4	0.0	3.0	1.4	1.2	0.0	1.4	1.1	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
	実施しない	68.9	77.1	64.9	74.0	63.6	63.9	76.5	75.8	73.6	81.6	68.6	73.2	75.0	71.6	61.0	74.6	70.2
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	57.7		52.0		44.8		53.8		47.4		45.9		45.3		53.6		
	人手不足	30.8		33.3		35.8		31.9		43.4		35.1		38.7		34.0		
	大手企業との競争の激化	3.8		5.3		3.0		1.1		2.6		1.4		1.3		0.0		
	同業者間の競争の激化	17.9		10.7		16.4		15.4		11.8		14.9		18.7		13.4		
	親企業による選別の強化	5.1		2.7		1.5		1.1		1.3		1.4		5.3		4.1		
	合理化の不足	2.6		2.7		6.0		6.6		2.6		4.1		0.0		1.0		
	利幅の縮小	29.5		30.7		29.9		38.5		25.0		24.3		33.3		35.1		
	材料価格の上昇	10.3		9.3		10.4		17.6		23.7		47.3		54.7		56.7		
	下請の確保難	21.8		21.3		25.4		12.1		13.2		25.7		16.0		16.5		
	駐車場・資材置場の確保難	5.1		8.0		6.0		6.6		2.6		5.4		2.7		2.1		
	人件費の増加	11.5		12.0		17.9		11.0		14.5		12.2		6.7		4.1		
	人件費以外の経費の増加	6.4		12.0		9.0		5.5		6.6		9.5		9.3		8.2		
	技術力の不足	12.8		18.7		13.4		6.6		9.2		16.2		4.0		8.2		
	代金回収の悪化	0.0		1.3		0.0		2.2		0.0		0.0		1.3		0.0		
	天候の不順	7.7		1.3		0.0		7.7		7.9		1.4		1.3		4.1		
	地場産業の衰退	1.3		0.0		0.0		2.2		2.6		1.4		1.3		2.1		
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.6		0.0		1.5		0.0		0.0		0.0		2.7		2.1		
その他	5.1		0.0		6.0		1.1		6.6		4.1		1.3		2.1			
問題なし	6.4		8.0		4.5		5.5		5.3		1.4		2.7		1.0			
重点経営施策（％）	販路を広げる	29.5		35.5		40.3		38.5		26.0		33.8		35.5		27.3		
	経費を節減する	48.7		39.5		29.9		38.5		33.8		40.5		38.2		41.4		
	情報力を強化する	29.5		23.7		19.4		25.3		24.7		20.3		25.0		20.2		
	新しい工法を導入する	6.4		5.3		6.0		2.2		5.2		6.8		3.9		4.0		
	新しい事業を始める	3.8		11.8		6.0		7.7		3.9		5.4		6.6		7.1		
	技術力を高める	38.5		35.5		38.8		30.8		23.4		39.2		25.0		31.3		
	人材を確保する	43.6		39.5		46.3		39.6		45.5		47.3		50.0		46.5		
	パート化を図る	1.3		1.3		0.0		1.1		1.3		0.0		0.0		2.0		
	教育訓練を強化する	11.5		10.5		16.4		9.9		10.4		9.5		14.5		12.1		
	労働条件を改善する	12.8		11.8		13.4		8.8		9.1		16.2		7.9		9.1		
	不動産の有効活用を図る	2.6		2.6		4.5		3.3		3.9		1.4		1.3		2.0		
その他	0.0		1.3		1.5		0.0		0.0		0.0		2.6		0.0			
特になし	10.3		10.5		6.0		9.9		9.1		8.1		7.9		10.1			
有効回答事業所数		79		77		76		93		79		74		77		102		

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R2 7～9月期	R2 10～12月期	R3 1～3月期	R3 4～6月期	R3 7～9月期	R3 10～12月期	R4 1～3月期	R4 4～6月期	対 前期比	R4 7～9月期
業況	良い								30.0		24.3
	普通								48.6		54.3
	悪い								21.4		21.4
	D・I								8.6		2.9
	修正値								8.6		2.9
	傾向値										
売上額	増加								30.4		36.8
	変らず								40.6		36.8
	減少								29.0		26.5
	D・I								1.4		10.3
	修正値								1.4		10.3
	傾向値										
収益	増加								31.4		32.4
	変らず								40.0		39.7
	減少								28.6		27.9
	D・I								2.9		4.4
	修正値								2.9		4.4
	傾向値										
価格動向	システム提供価格								7.4		0.0
	〃 修正値								7.4		0.0
	〃 傾向値										
	人件費								32.9		23.5
	〃 修正値								32.9		23.5
	〃 傾向値										
在庫・資金繰り	資金繰り								-5.7		-8.8
	〃 修正値								-5.7		-8.8
前年同期比	売上額								16.7		
	収益								12.5		
雇用	残業時間								-2.1		0.0
	人手								-40.4		-44.7
借入金	借入難易度								-13.0		
	借入をした(%)								33.3		16.7
	借入をしな(%)								66.7		83.3
有効回答事業所数										71	

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R2 7～9月期	R2 10～12月期	R3 1～3月期	R3 4～6月期	R3 7～9月期	R3 10～12月期	R4 1～3月期	R4 4～6月期	対 前期比	R4 7～9月期		
設備投資動向（％）	現在の設備										-14.9	-17.0	
	実施した										42.2	43.5	
	事業用地・建物										8.9	13.0	
	機械・設備の新・増設										8.9	17.4	
	機械・設備の更改										13.3	13.0	
	事務機器										26.7	26.1	
	車両										4.4	2.2	
	その他										4.4	2.2	
	実施しない											57.8	56.5
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少										33.3	
人手不足											40.0		
同業者間の競争の激化											20.0		
大手企業との競争の激化											2.2		
利幅の縮小											17.8		
取扱サービスの陳腐化											15.6		
合理化の不足											0.0		
料金の値下げ要請											0.0		
人件費の増加											24.4		
通信価格の上昇											0.0		
技術力の不足											26.7		
取引先の減少											8.9		
人件費以外の経費の増加											20.0		
地価の高騰											0.0		
駐車場の確保難											2.2		
代金回収の悪化											2.2		
設備の狭小・老朽化											4.4		
大手企業の縮小・撤退											6.7		
為替レートの変動											8.9		
その他											0.0		
問題なし										4.4			
重点経営施策（％）	販路を広げる										50.0		
	経費を削減する										15.2		
	宣伝・広告を強化する										15.2		
	新しい事業を始める										23.9		
	設備を改装する										4.3		
	提携先を見つける										15.2		
	技術力を強化する										50.0		
	人材を確保する										54.3		
	パート化を図る										0.0		
	教育訓練を強化する										21.7		
	労働条件を改善する										6.5		
	不動産の有効活用を図る										0.0		
	その他										0.0		
	特になし										2.2		
有効回答事業所数											71		

調査の概要

1. 調査時期 令和4年4～6月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	83
卸売業	102	94
小売業	102	85
サービス業	102	83
建設業	102	102
情報通信業	102	71
合計	612	518